伊藤
圭介稿

植物圖説雑纂

○ □

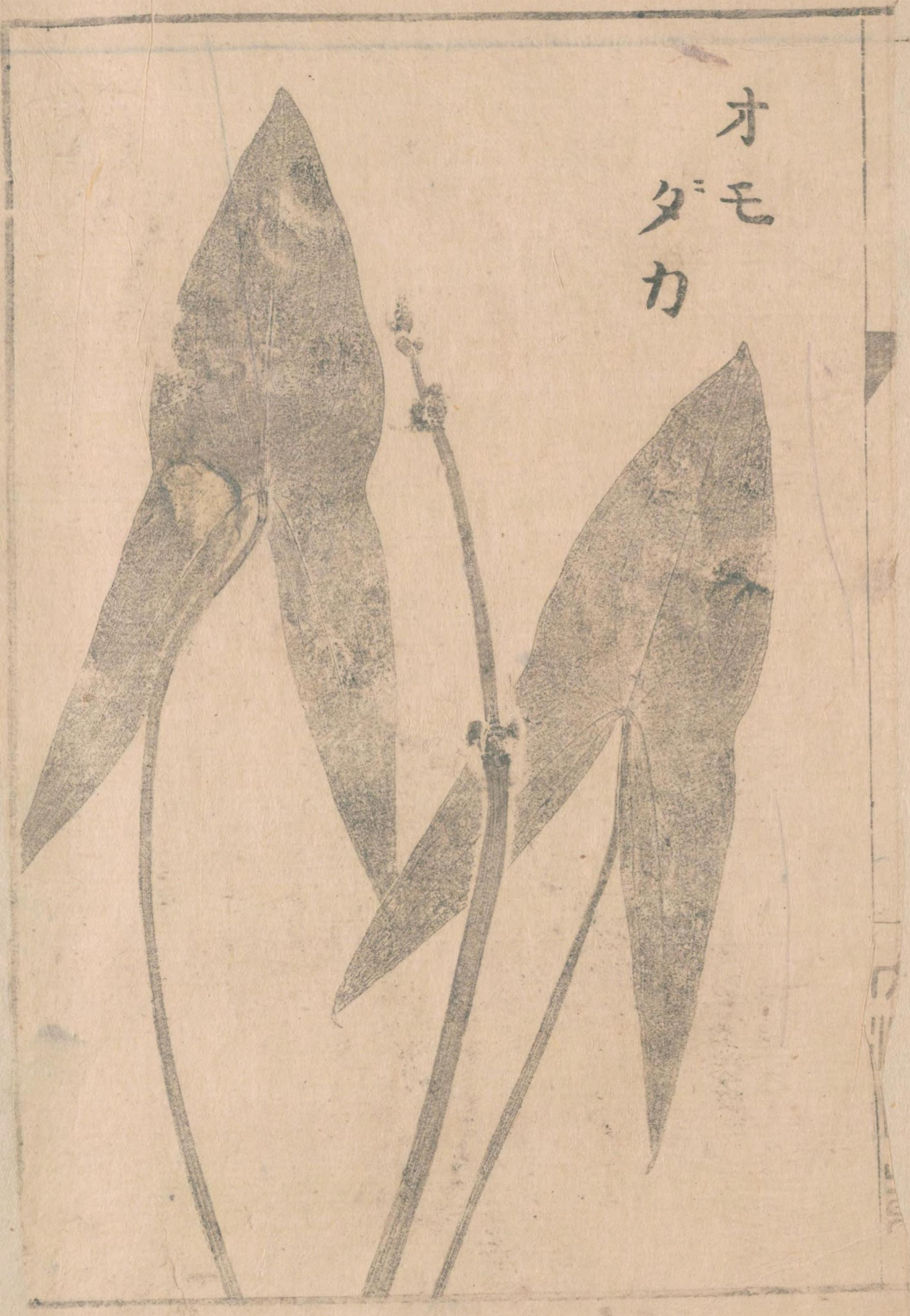
別 6
9
136

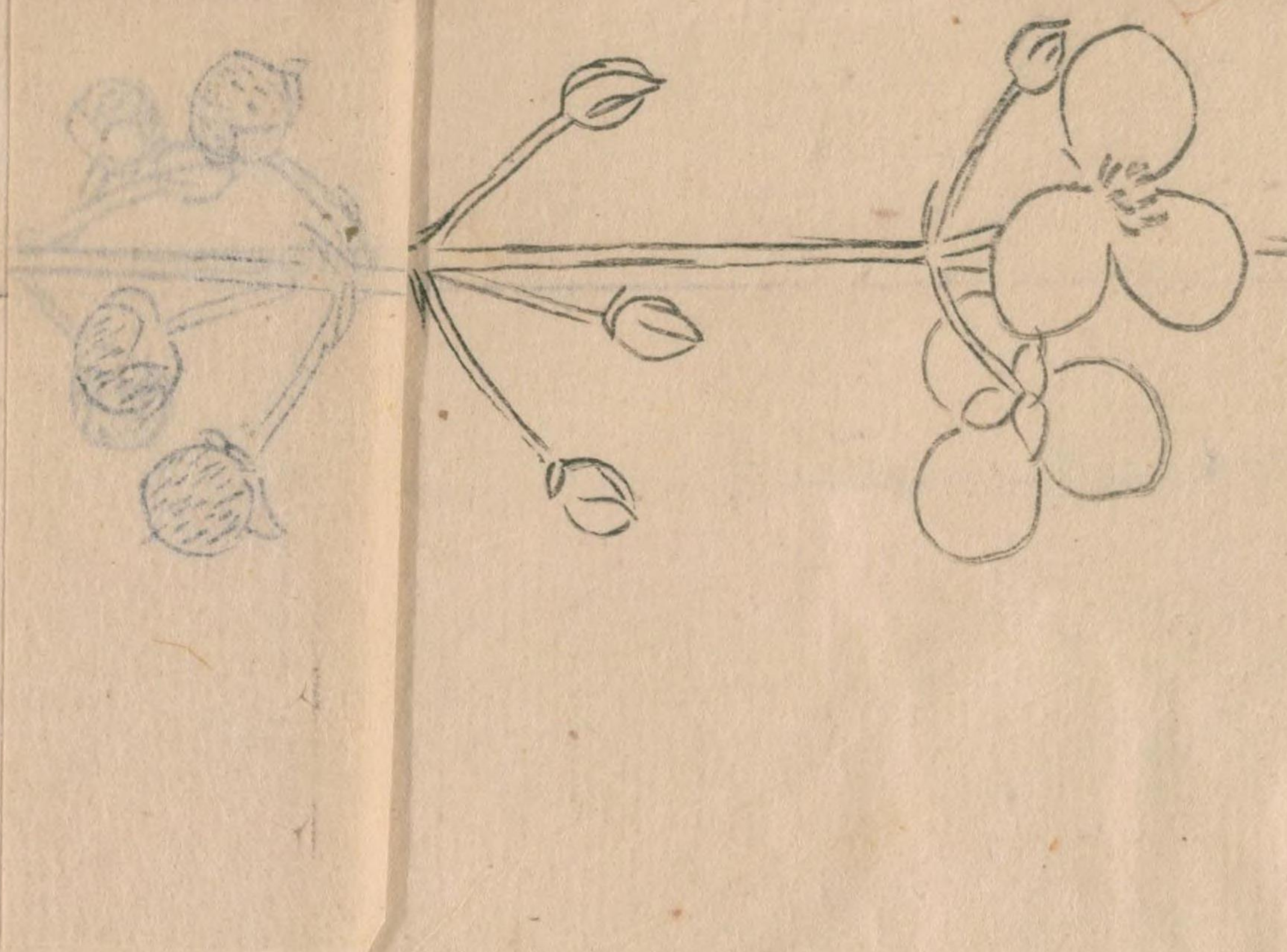
ガラス使用

74
二

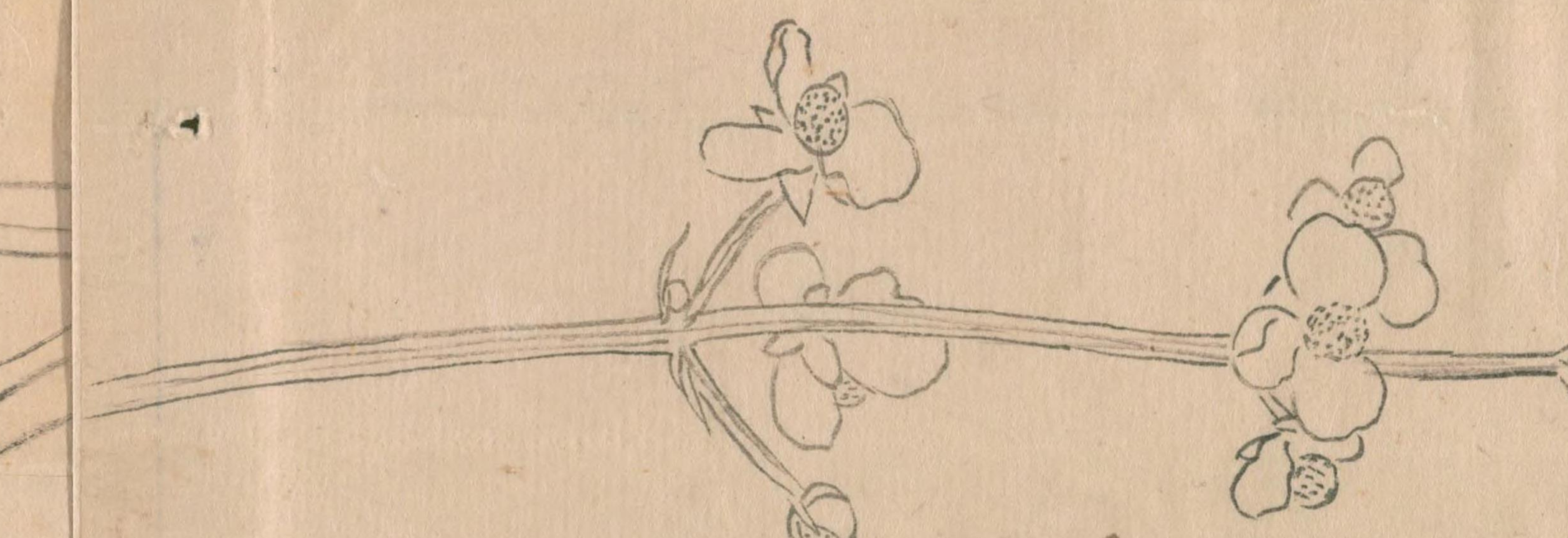
ノ卅四

オモダカ

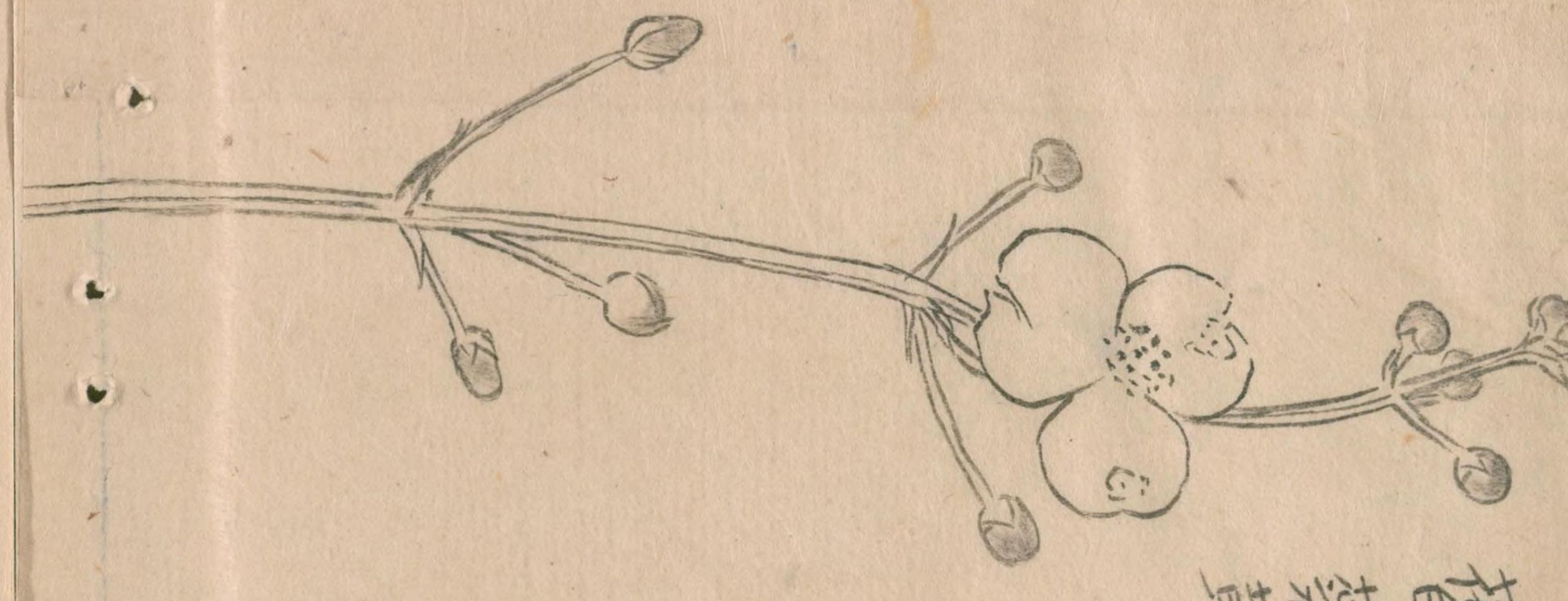




野（ヤ）慈（ジ）姑（コ）ヲモダカノ花



ヲモダカノ花



野（ヤ）慈（ジ）姑（コ）ヲモダカ花白ク葉黄

Zonne wendende of Zonne volgende, 澤瀉
Wolfs melk,

蘭山

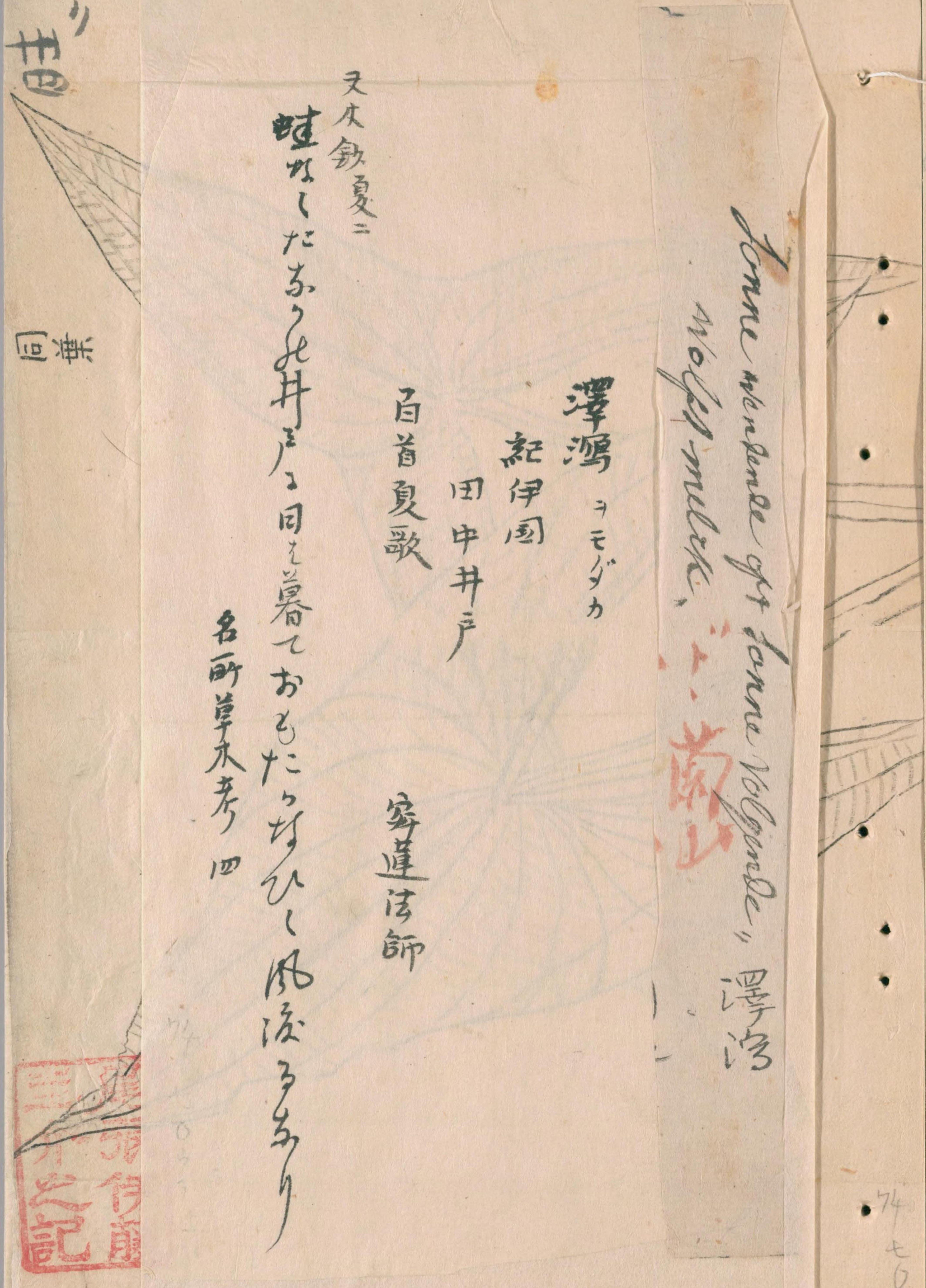
澤瀉 ヲモダカ
紀伊国 田中井戸
百首夏歌 寂蓮法師

夫木鈔夏二
蛙なくたなかの井戸に日を暮ておもたかなひく風涼しかり

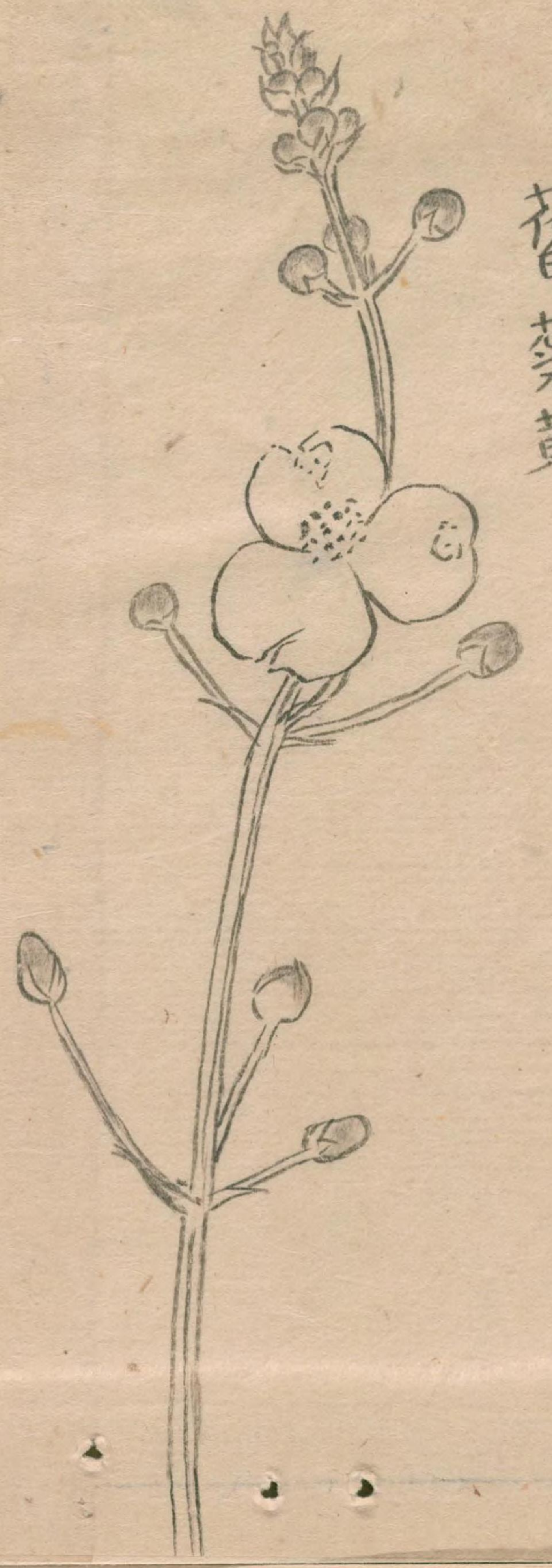
名所草木考 四

リ [illegible]

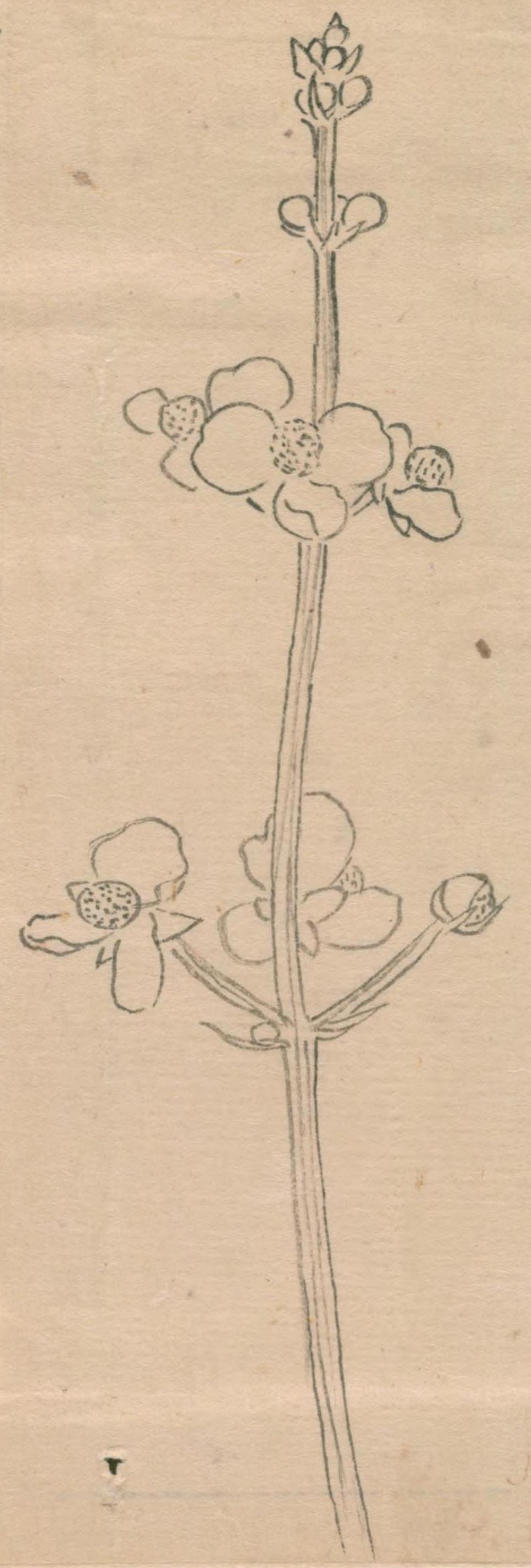
葉同



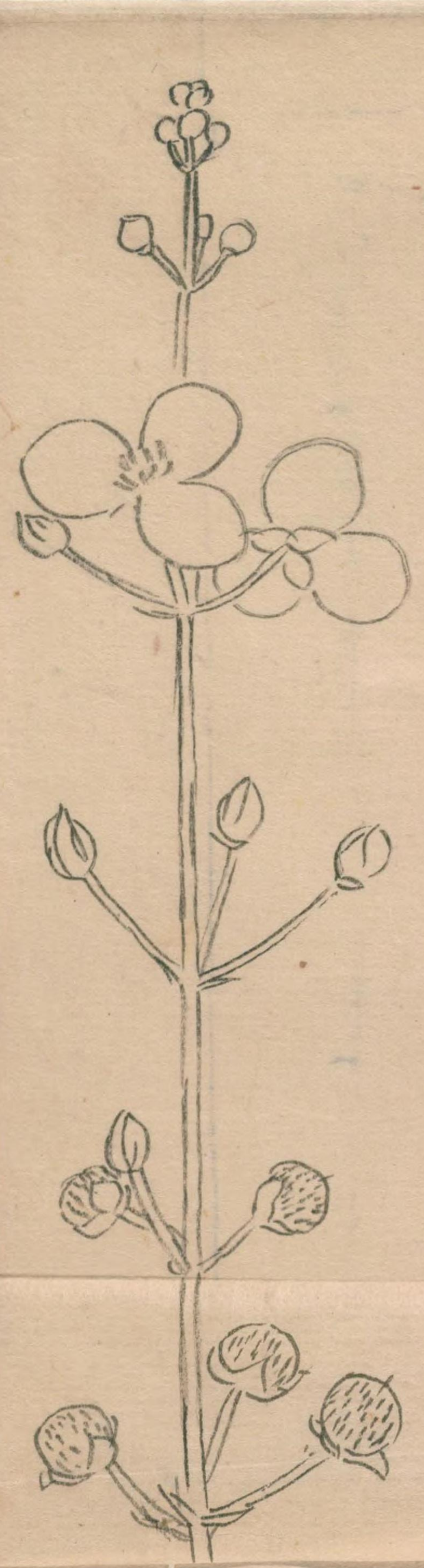
野慈姑（ヤジコ）ヲモダカ
花白ク蘂黄

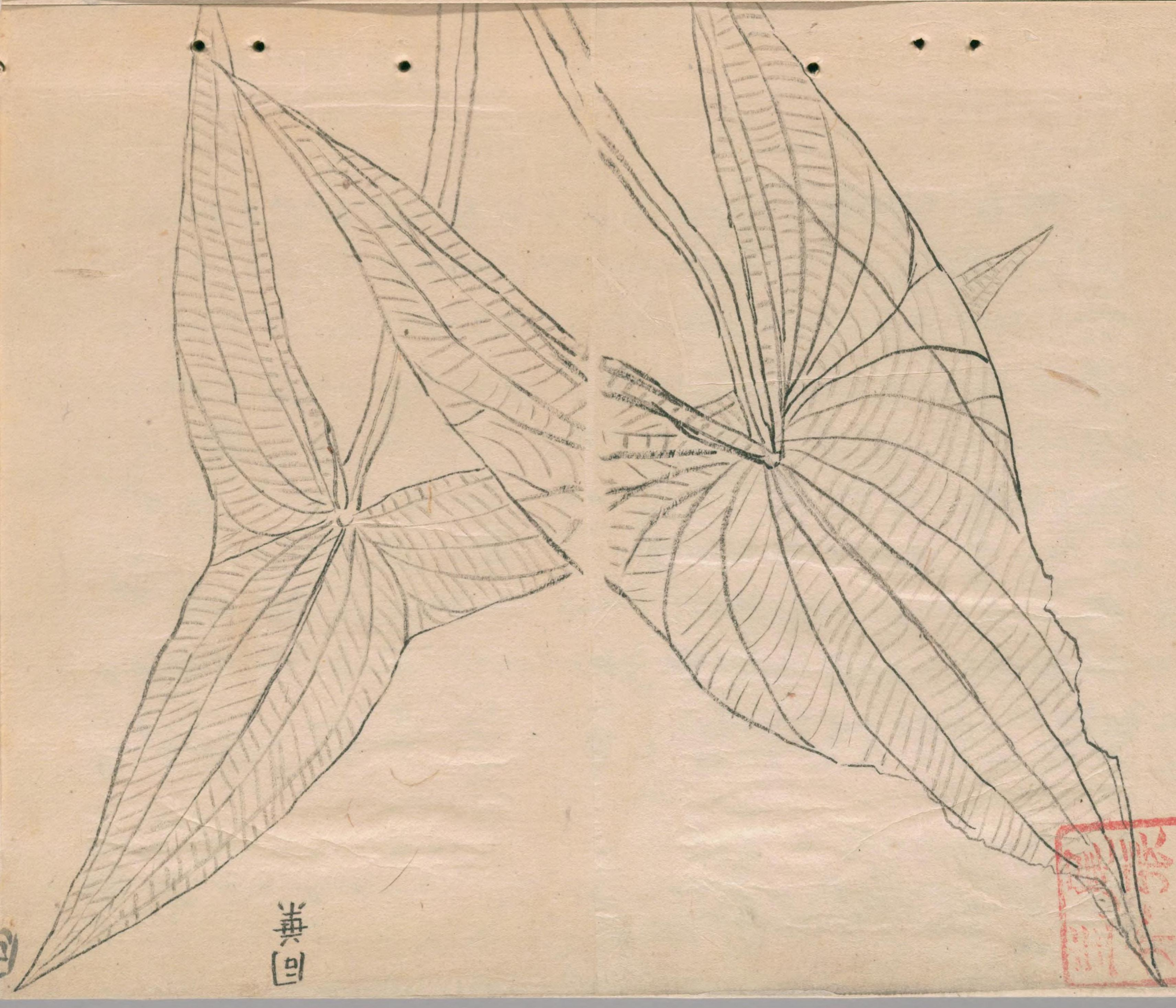


ヲモダカノ花



野慈姑（ヤジコ）ヲモダカノ花





畦ニ

同葉

尾張伊藤圭介之記

74
七0

問　澤瀉をおもだかと訓ミ正字にや俳諧

答　正字にあらん誤なりされど用ひきたる久しきまゝハ如何ともしがたし沢瀉といふものハ葉異にして和名さじおもだかといふものにて其葉ハ車前の葉のごとく厚くして匕（サジ）の如し根塊りありて其まゝを薬用となすもの也水沢の中に生じ奥州仙臺より出るものを真物とせし俗によ自生するものの根至て小さくして軽虚なり本草原始に載る所の水澤瀉と云ものにして下品なりされハ沢瀉とおもだかと訓ずるハあたらんおもだかハ東医宝鑑に野茨菰といふ草花譜の慈菰花と云もの是之俗通に用ひ来りけれどつとめて假名に書ん事を名に庵し又按るにおもだかのごとくくわゐの一種にして根の小さきものなりくわゐハ花咲るゝ稀也おもだかハ茎毎に花を咲ものなり因て花くわゐとも云之又まめくわゐすいだくわゐなど云名あり摂州吸田村にて多く種て出せる故に名づく京師にて二三月頃くわゐと称して賣ものハ皆此おもだかの根之と云くわゐハ漢名慈姑之又鳥羽絵くわゐ一名あきれしと云品類あり俳に用ゆるざれハ畧す

（）オモダカ同今出枕冊子為面高之義曰葉形也其名肪于斯物遂轉爲同類汎稱乎深奈麻井久比井倶稱於毛多加雖如可疑古俗可見也以今所擧オモダカ俗稱クワ井者以根類久比井爾日華稱慈姑

オモダカ

細[illegible]

ノ[illegible]件

水澤瀉　左井

[illegible]雅巻十三　二

[illegible]部

トウキナ（按ニトウハ沼ナリキナハ草ナリ此水草ノ總稱名ナリ）エトモニテイフハ水芭蕉

即水蕉（一統志）シコツニテ云ハナヽ井（本草和名）即澤瀉（本草。按ニ夷中ニ是ヲウクルキナト云玉簪モ同称ナリ蓋シ其状相似ル故ニ辨別セズ）コンブムイニテイフハヒル

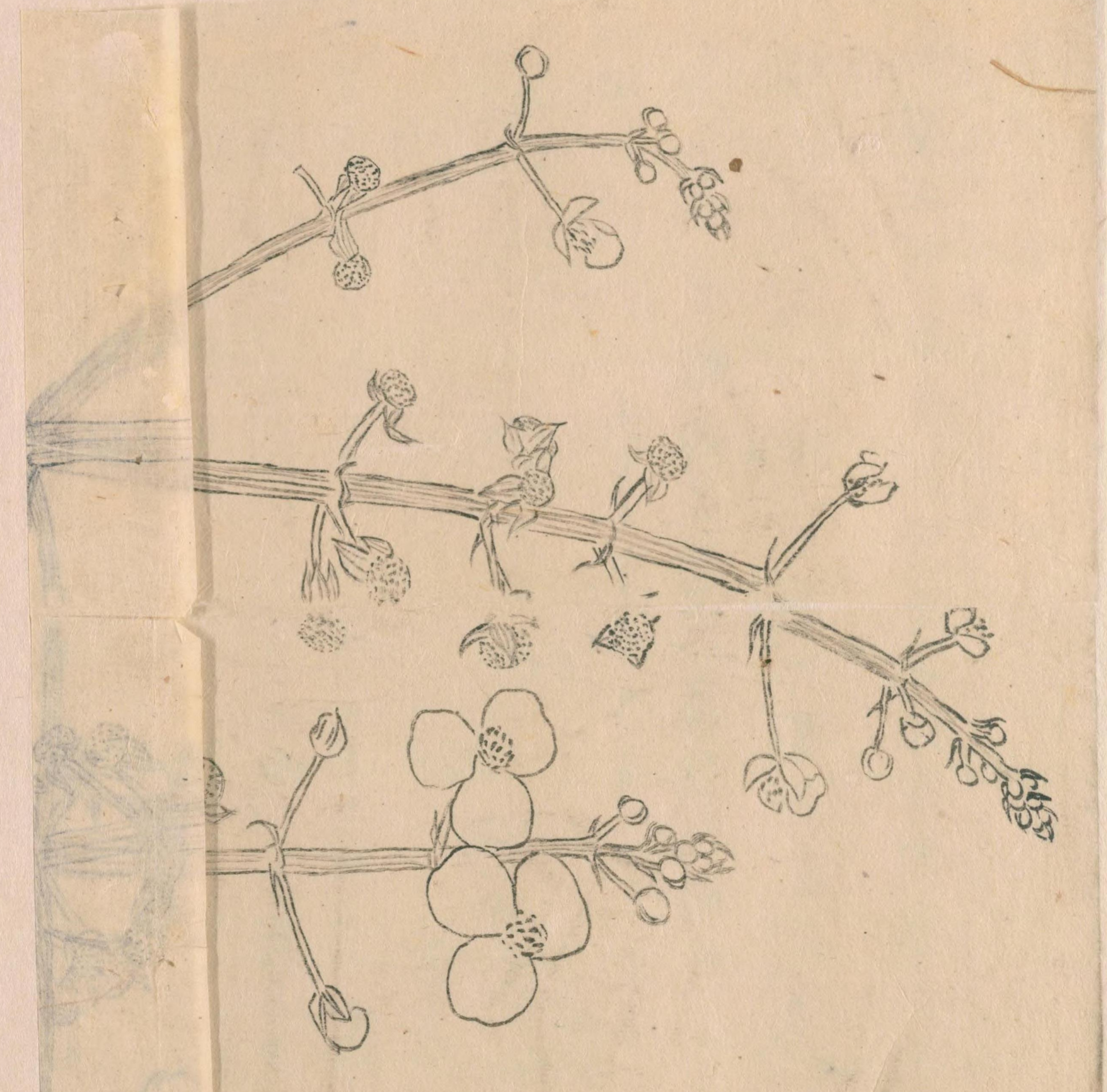
ムシロ即眼子菜（野菜譜）

[illegible]

○野茨菰ハオモダカ　蠻名サギツタ羅旬　スラングントンク和蘭

凡コノ類通シテ呼ブ

[illegible]



野慈姑

オモダカノ花

花白シ蕊黄色

ガラス使用

ヲモダカ

細綱多識篇ニ出

ノ剪作

以写　左井

東雅巻十三

オモダカ　郁

トウキナ（按ニトウハ沼ナリキナハ草ナリ此水草ノ總称名ナリ）エトモニテイフハ水芭蕉

即水蕉（一統志）シコツニテ云ハ十々井（本草和名）即澤瀉（本草。按ニ契中ニ星ヲウクルキナト云玉簪モ同称ナリ蓋モ其状相似ル故ニ辨別セズ）

コンブムイニテイフハヒル

ソ　思作

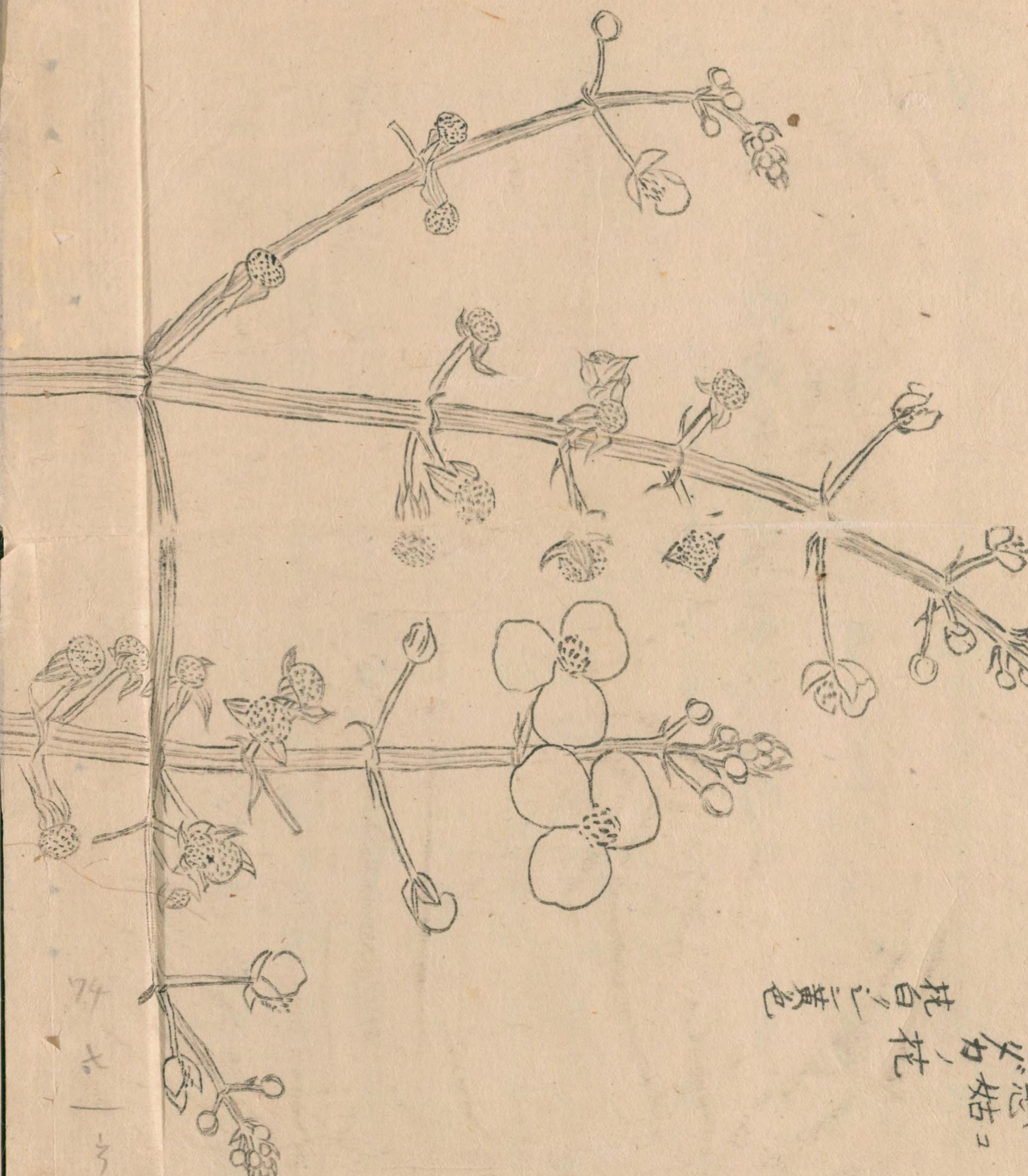
ムシロ即眼子菜（野菜譜）

附美中本者掛

〇野茨菰ハ　オモダカ　蠻名サギツタ羅句　スラングントンク　和蘭

凡コノ類通ニテ呼ブ

綱牧外つこ



野慈姑（ヤジコ）ヲモダカ

花白シ蘂黄色

ガラス使用

問　澤瀉をおもたかと訓す　正字なや　紃細紐[illegible]

荅　正字にあらん誤なりされと用ひきたる事久しけれは如何とも

すへからん沢瀉といふものハ葉によりて和名さしおもだかと

いふ物にして其葉車前（オホバコ）の葉のごとく厚くして匕（サジ）の如し

根塊りありて抜きしを薬用となせるものなり水沢中に生

ず奥州仙臺より出るものを真物とし[illegible]に自生

するもあれ根至て小さくして軽虚なり本草原始に

載る所の水澤瀉と云ものにして下品なりされハ沢瀉

をおもだかと訓するハあたらんおもだかハ東医宝鑑

に野茨菰と云草花譜の慈菰花と云ものの是之俗通に

用ひならはれてつとめて假名に書ん事をあやまりに

趣し又按するにおもだかハくわゐの一種にして根の小さきも

のゝくわゐハ花咲る稀之おもだかハ茎毎に花咲もの

なり因て花くわゐともいふ又まめくわゐすいたくわ

ゐなと云名あり摂州吸田村にて多く種て出す故に

名づく京師にて二三月斗りくわゐと称して賣ものハ皆

此おもだかの根之と云くわゐは漢名慈姑なり又鳥羽（ドハ）絵（ヱ）

くわゐ一名あきれしと云品類あり俳にかゝりされて

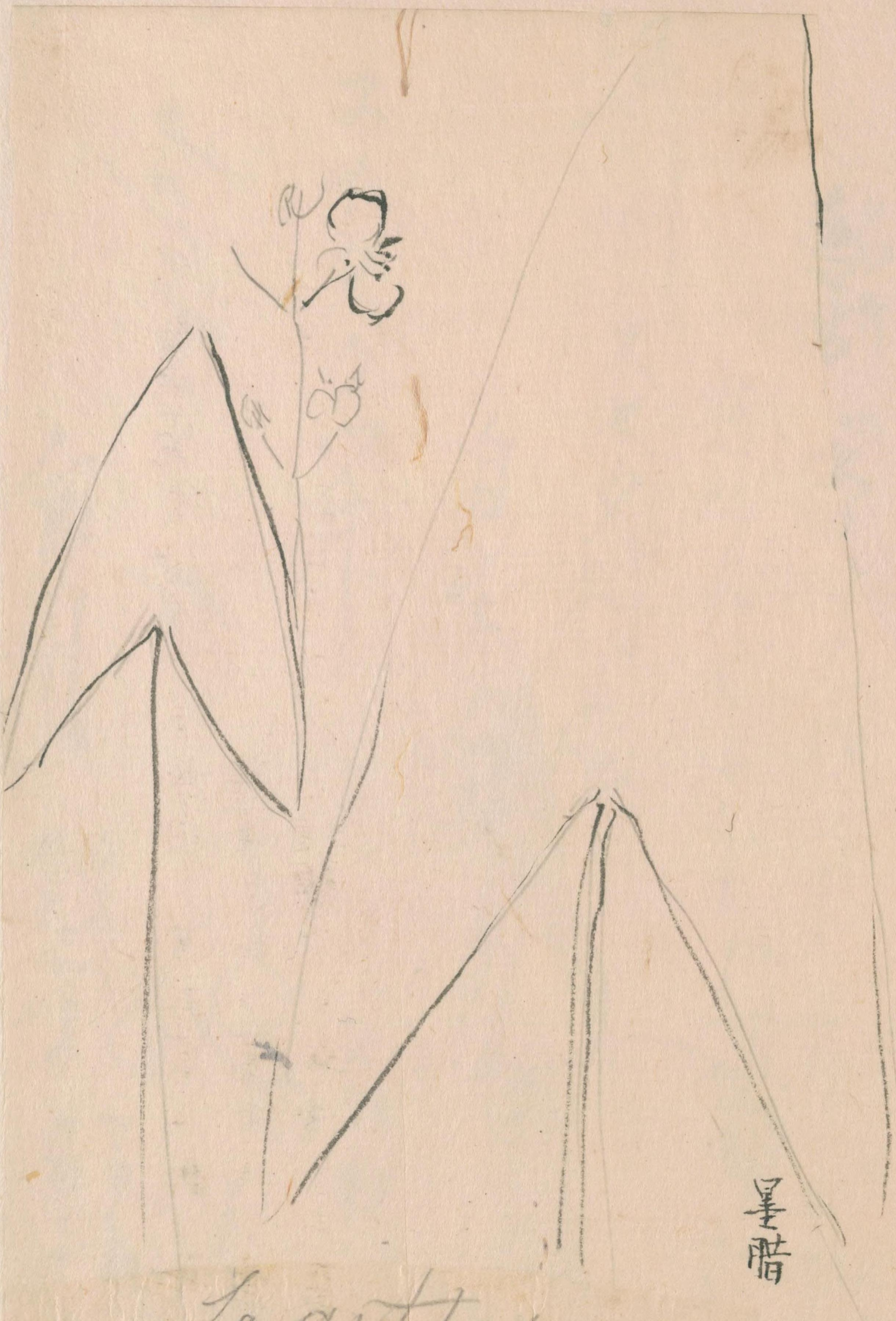
略す

[illegible]

一種莖花実皆同シテ葉円ニメ浮薔ニ似テ微シ
長ク初生水上ニ浮テ荇菜ノ如ク葉ヲ抽テ葉モ
亦直上スル者又沢瀉ノ種類ニメ根塊ナシ舊根
ハ枯ル甦子自生ス　圖沢瀉（ヲモダカ）ノ条

ヲモダカ　　自生池ニアリクワ井ト同ジ形シ痩セタル物
シ一通ハ花三弁ノ単シ千葉アリ別シ花ビラ沢山重ル
此根ニクワ井生ズレ氏食用ニナラズ慈姑（クワ井）ト雌雄ニメ
此ハ雄ノヿシ花鏡ナドニ慈姑花トアルハヲモダカノ
ヿシ○沢瀉ヲヲモダカト訓ズルハ非シサジヲモダカ
ト訓ズベシ○睡菜ハミヅハンゲノヿシ此ニ充テアル
ハ非シ花戸デ睡菜ヲ唐ヲモダカト云 菩薩（ミゾロ）池ニ多シ

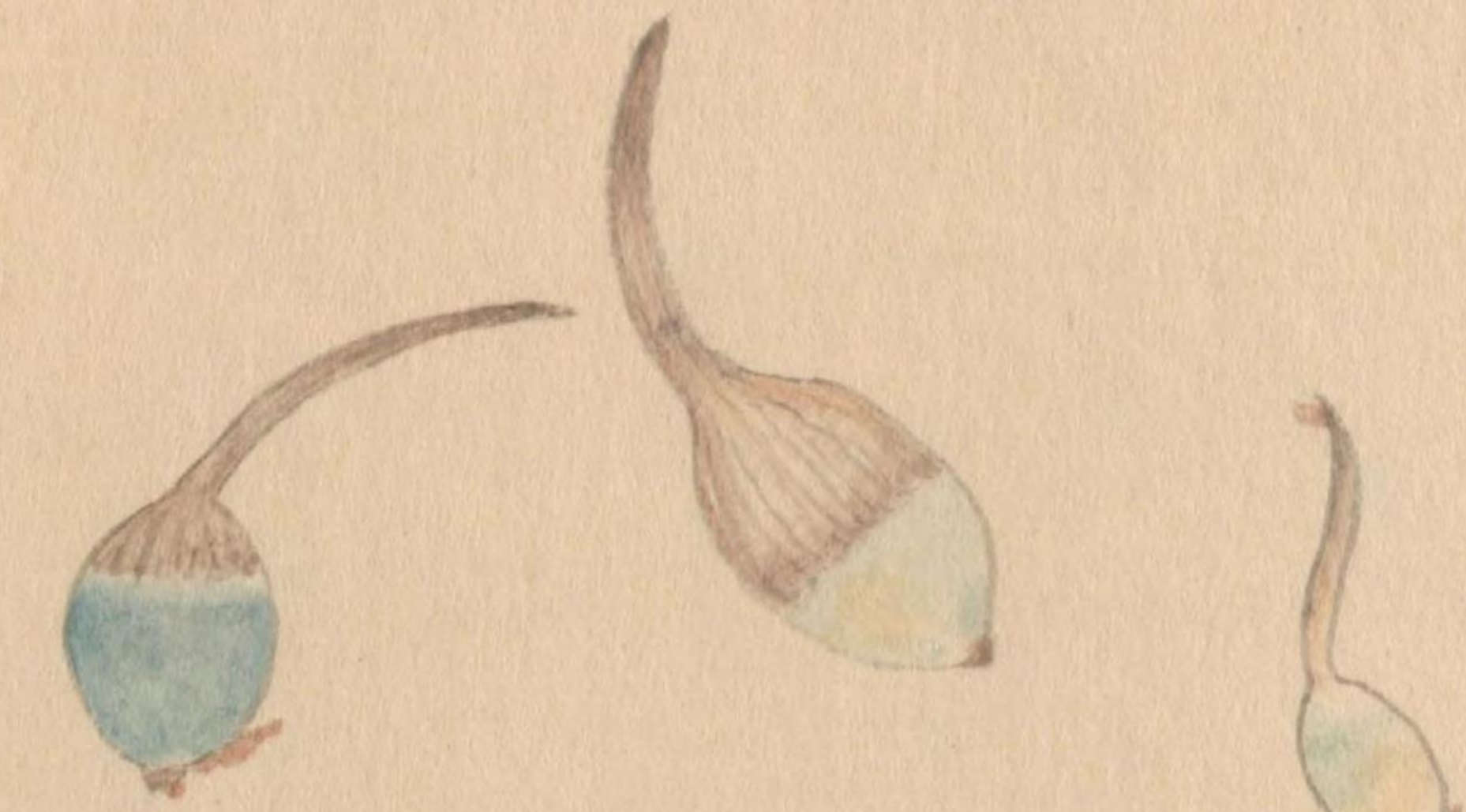
方和本二[illegible]



墨階

Sagittaria heterophylla

ゴワイ　大垣ヨリ東ニ寄リテ
田中タ採　竹川手写



74
七四ヲ

慈姑（クワヰ）　吹（吸）田村ヨリ出ス（シュツ）スイタクワヰト云　根葉（苗形同シ）
又マメクワヰ
慈姑（クワヰ）ニ似テ小ナリ　味佳シ
根ノ塊大サ指頭ノ如シ円ナリ又
指長キモアリ

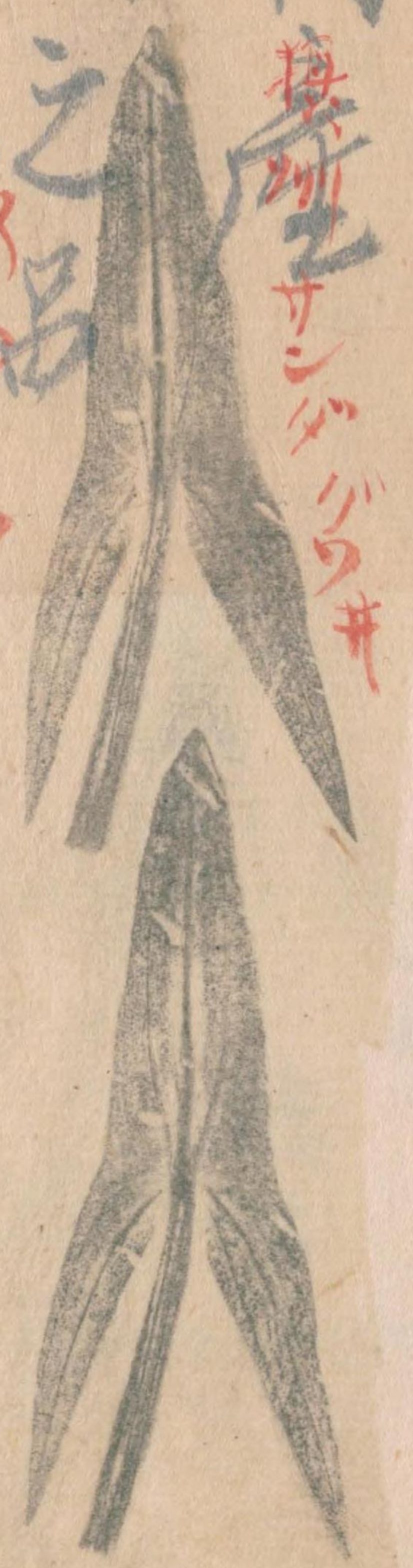
マカテノイつ冬

摂州　スヰタ村　自生之品
摂州産サンダグワヰ
大坂ニ於テ如何参

スヰタグワヰ

Sagittaria fr.

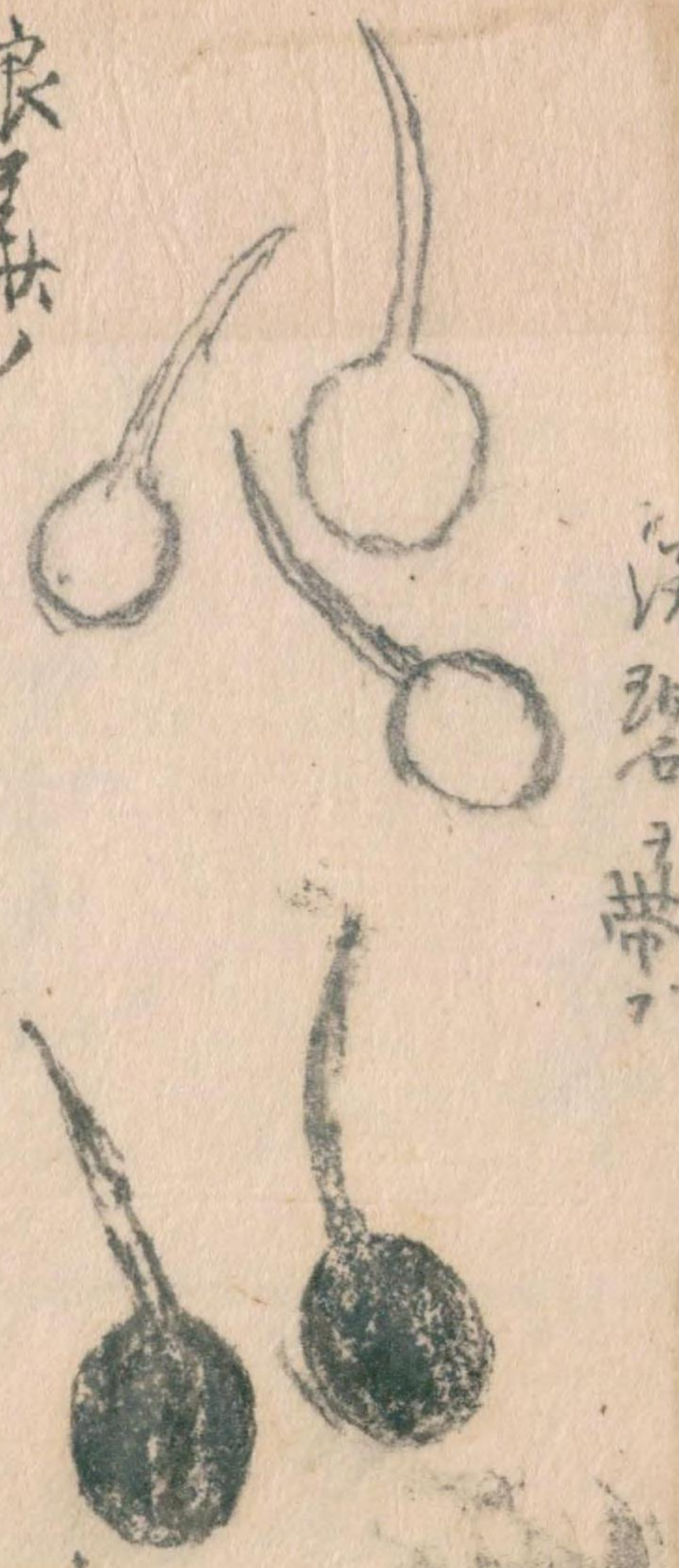
食用



浪華ノ鑓中龍介画

此ハ大小アリ

淡碧ヲ帯ブ



Sagittaria Sagitta. Linn. [illegible]
(Sagittaria ~~gmitio~~ edulis. Lieb)

相~~[illegible]~~ Sagittaria

Sagittaria Sagittata. L. グワ井
v. Edulis. 慈姑

Sagittaria Sagittata ゴワ井
スイタグワ井

Sagittaris Sagittata. L. アギナシ
v. Sinensis.

澤瀉（ナマヰ）

烏芋（クワヰ）倭名抄ニ澤瀉一名芒芋（ナマヰ）トイフ

烏芋ハクワヰ生水中沢写ノ類ナリト注セリナマヰトイヒクワヰトイフ義不詳（ヰトイフハイモトイフ詞ノ畧ナルナリ二物並ニ芋ノ名アリテ倭名抄マタ芋類ニ収）載セシ御氏ナリナマトハ生ナリクワトハ鍬ナリソノ茎葉ヲソラ子見ルニ鍬ノ形ニ似タル故ナリ説鍪ノ飾ニ鍬形トイフモノヲ古語相傳ヘテ（クモタカノ義ヒラケタルニカタトレルナトイフモ此義ナルナリ）後俗澤写ノ字遣テヲモタカトイフハシカルヘカラスヲモタカトイフモノハ慈姑草ナリ澤写ニハ異ナルモノナリ（古俗ヲモタカトイヒシモノ今俗ニシロクワ井トイフ也シロクワ井ハ閩列畧カイヒシ）

慈姑生水田中葉有椏状如澤写其根黄似芋而小煮之可啖トイフモノニシテ則慈姑一名河鳧茈一名白地栗一名水萍ヲ剪刀草箭搭草張ニ草ナトイフノ是ナリソレヲシロクワ井トイヘハ倭名抄ニ見ヘシ烏芋彼俗ニ勃臍ナトノシ紫クワ井トイフモノニ紫黒二種アルニ對シイフナリ

ソノ慈姑ハ三瓣ノ小白花ヲ開クナリ慈姑ノコトクニシテ深藍色ノ花ヲ開チヌルヲハ而久花トイフナリ

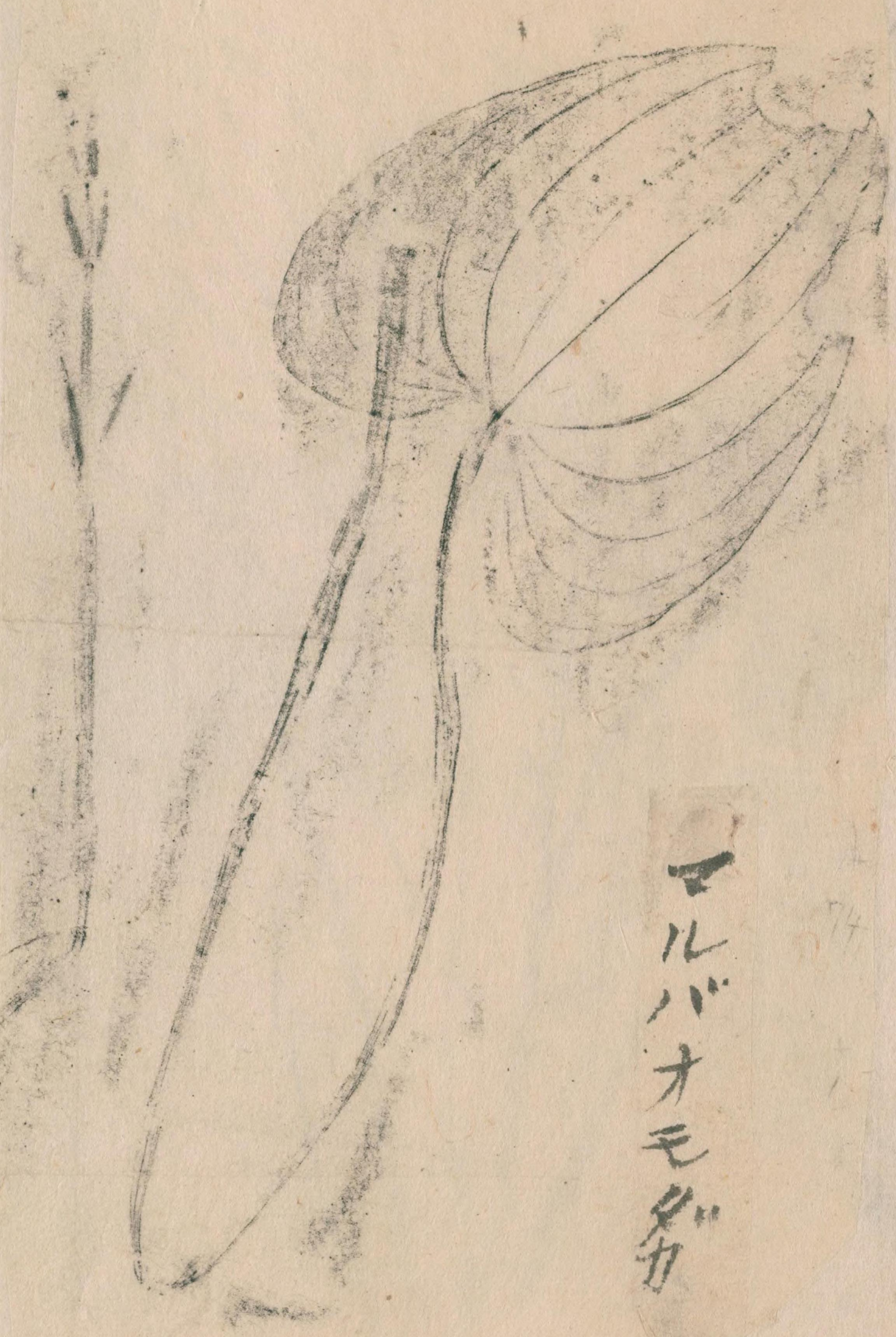
東雅　七

葧薺

即鳧茈産水田中有紅鐵黒二種紅者味鮮美黒者次之其性可軟銅

元和縣志　十六

ガラス使用



マルバオモダカ

九

Sagittaria pygmaea, mig

サバ之大
俗説ウリカハ

沢茨菰

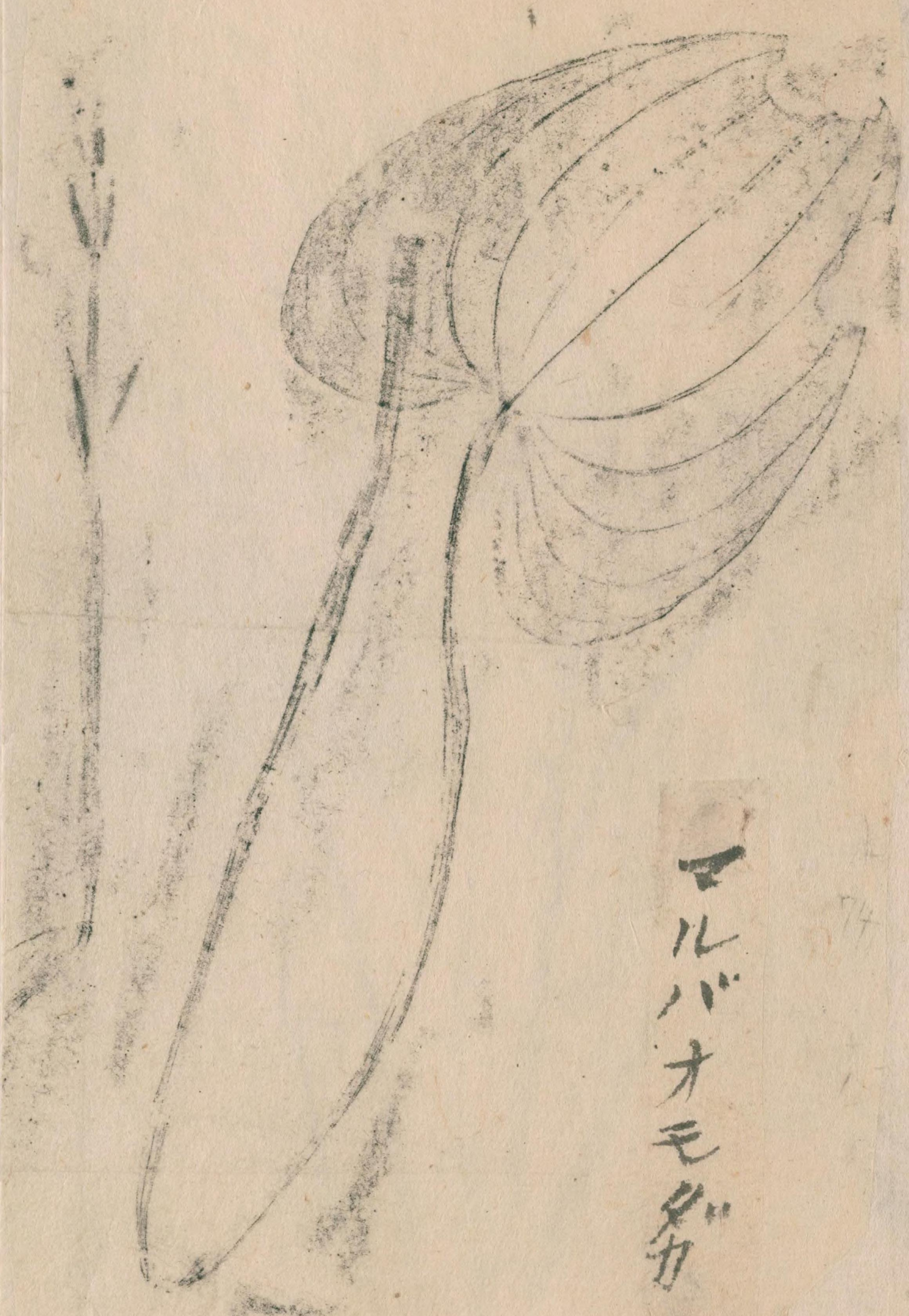
擬スイタガ
ツチタニ自生ス

市

本綱目拾遺曰野荸薺生山土中春有苗三葉似韭而細葉上有光其根如荸薺大其文則食之入藥用根一名山荸薺

按マメグワ井ナラン

ガラス使用



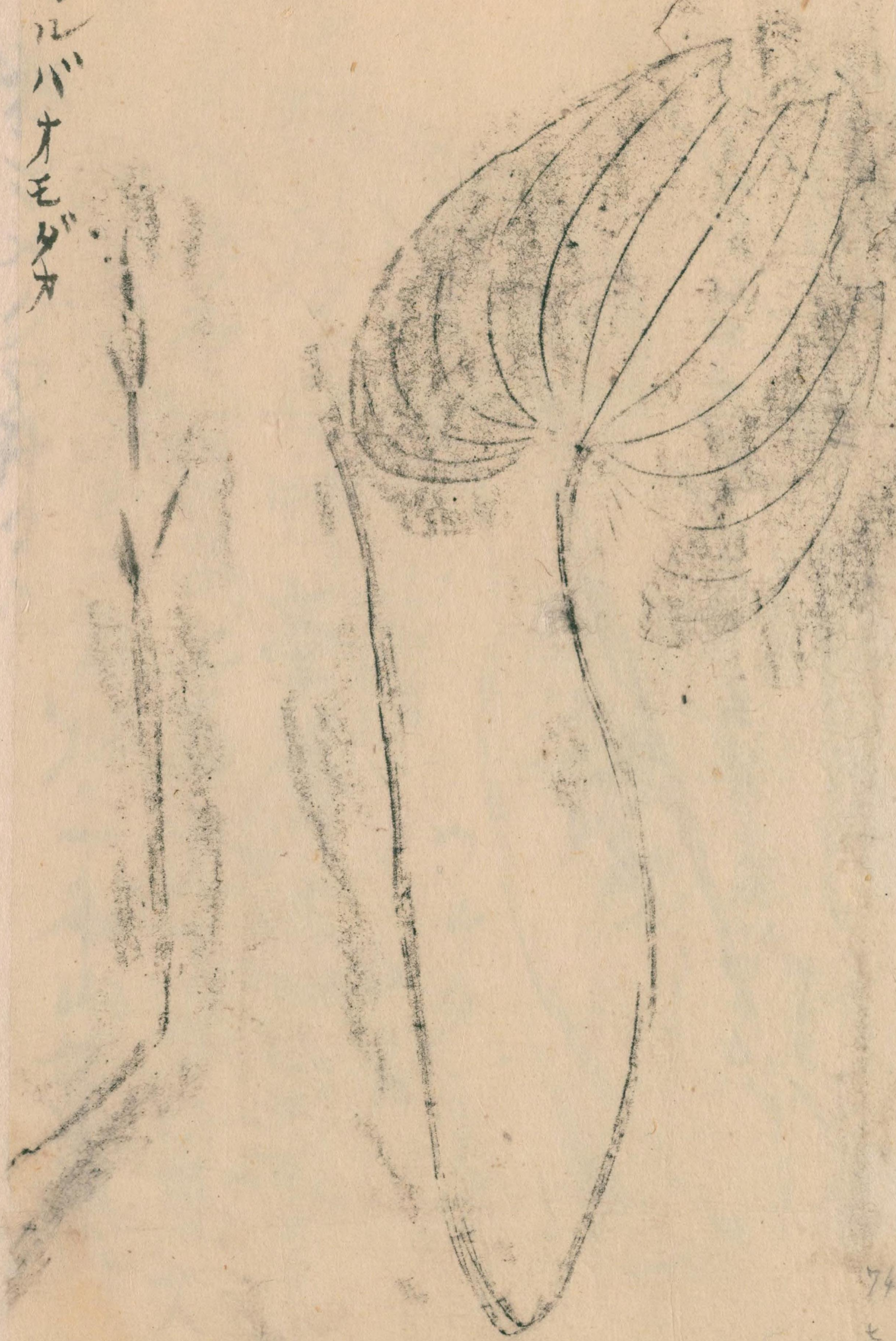
マルバオモダカ

Sagittaria pygmaea, miq

[illegible]

サバ之大
従之ウリカハ
従補治
撥ノガタ
吻田
フチタニ自生ス
右
又チガヘニ石館
此処ニ館ハ椰久

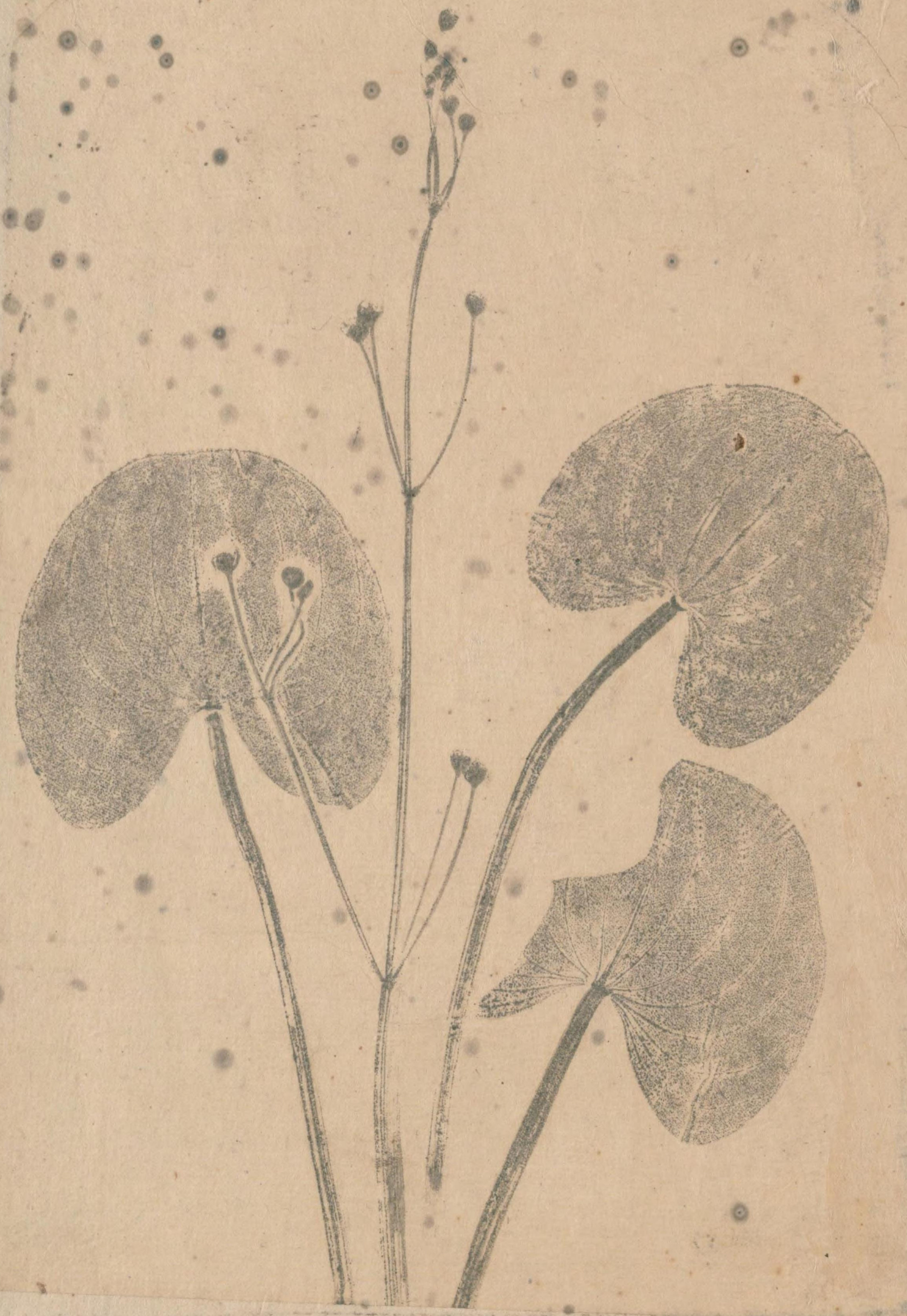
マルバオモダカ



サ七十五

マルハオモダカ

サジオモダカ



マルハオモダカ

ガラス使用

澤

一種　マルバヲモダカ

澤瀉　ナマイ（本草和名）　ナヽト（新校正）　カラオモダカ

サジオモダカ　澤芝（正誤）　水蕕菜（救荒本草）

奥州ノ水澤中ニ生ス葉ハ車前（ヲホバコ）ニ似テ圓ク茎長ク横脈アリ秋一茎ヲ抽テ枝ノ末盡ク三岐ヲナス花白色三瓣形野茨菰（ヲモダカ）ニ似テ極テ小ナル實ハ蜀葵（ハナアフイ）ニ似テ小シ葉ノ味ヒ淡苦シ根ハ別ニ小塊ヲ生スルニアラス根株ヲ用ユ毛多ク味ヒ鹹シ仙臺ヨリ出ル物上品ナリ又唐種ヲ植テ生スルヿアリ形状此ト同シ

図ノ水廿九

撰品

澤瀉　邦産形如㆓芋奶㆒而多㆓白毛㆒凡肥大肉白新者為㆓上品㆒薬舗此呼㆓仙臺㆒出奥州羽州及佐州者為㆑勝生㆓丹州伊州薩州等㆒者同㆑上而瘠小次㆑之又有㆓船来形扁圓肌不㆑粗與㆓佐州産㆒不㆑異此物甚易㆑蠹或陳久変㆓黄赤色㆒者不㆑堪㆑用又有㆓美豆澤瀉（苗葉相似而葉狭根不㆑結㆑塊者）　又澤瀉字訓㆓於毛陀加㆒者誤（オモダカ即剪刀草）

○澤瀉生㆓澤水㆒春生㆑苗葉似㆓車前㆒而圓頭（尖）高七八寸叢生夏抽㆑茎一二尺毎㆓枝岐㆒六椏㆑開㆓細白花㆒後結㆓青子㆒秋苗枯根結㆑塊大若㆓慈姑㆒多㆑毛

古方薬品考

ガラス使用

一種　マルバヲモダカ
池澤ニ芾ニ生ス葉ハ浮薔（ミヅアヒ）ニ似テ硬ク光澤ア
リ又薯蕷（ヤマイモ）ニ似テ深緑色花ハ澤瀉ト同シ　図ア円

一種　武州落合辺ノ流水中ニアリ葉叢生シ
燈心草ノ如クニテ短ク二三寸軟アリ根株塊アリ　図ア円

〔澤瀉〕おもたか〇北國にてあくと云長門にてさしおもたかと稱ス是茨菜なり　物類稱呼

一種慈姑に似て花さく物ともおもだかと云同名異物なり

瀉ハ本草ニ出ツ上品ナリ又唐種ヲ植テ生
小塊ヲ生ス[illegible]根株ヲ用ユ白色多シ[illegible]
實ハ蜀葵子ニ似テ小シ葉ハ[illegible]根ハ[illegible]
十九花白色三瓣形野茨菰（說）ニ似テ極テ小ナル
長ク横脈アリ秋一莖ヲ抽テ枝ハ末盡ク三岐ヲ
奧州ノ水澤中ニ生ス葉ハ車前（說）ニ似テ圓ク莖
サジオモダカ　澤芝（證）　水蕃　菜（本經）草
澤瀉　[illegible]（本草）　十ノ十（正新）　カラヲモダカ

〔撰品〕澤瀉邦產形如ニ芋嬭一而多ニ白毛一凡肥大肉白新者爲ニ上品一
舖此呼ニ仙臺一出ニ奧州羽州及佐州一者爲レ勝生ニ丹州伊州薩州等一
者同レ上而瘠小次レ之又有ニ舶來形扁圓肌不レ粗與ニ佐州產一不レ異
此物甚易レ蠹蝕或陳久變ニ黃赤色一者不レ堪レ用又有ニ美豆澤瀉（苗葉）
相似而葉狭根不レ結レ塊者　又澤瀉字訓ニ於毛陀加一者誤（オモダカ　即剪刀草）
〇澤瀉生ニ澤水一春生ニ苗葉一似ニ車前一而圓頭尖高七八寸叢生夏
抽ニ莖一二尺一毎ニ枝岐一六椏ニ開ニ細白花一後結ニ青子一秋苗枯根結ニ塊
大若ニ慈姑一多ニ毛

古方藥品考ニ

ガラス使用

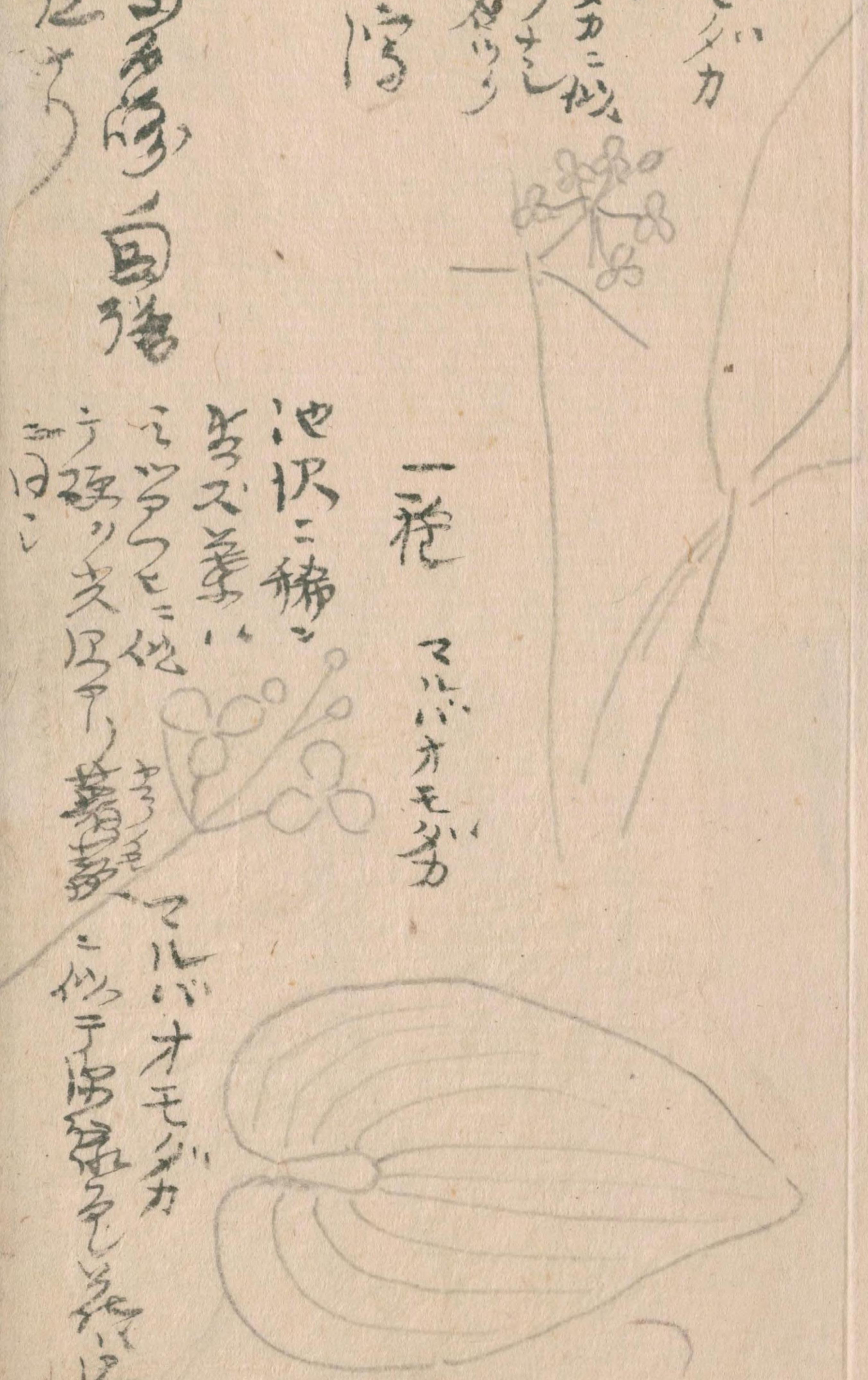
○マルバヲモダカ

沢浮ノ一種
水中ニ生ス葉ノ形杜衡ノ如ニシテウスク縦理アリ
花モ沢浮ノ如

蕢 澤瀉也○詩言采其蕢（音續）爾雅蕢牛唇 毛氏曰水蕮陸璣
曰今澤瀉也 本艸又以蕍蕮爲澤瀉 通雅

マルバオモダカ 京
勢州亀山ノ邉山近キ潘川或ハ水田中ニモ生ス葉茎円ク中空
テ花ハ三弁ニシテ沢瀉ト同シ沢瀉ノ類ナレ尾根ニ毘土云尾州海西郡
松田村邉由澤ニモ在ルヨシ

綱校外ニシ



ヒラヲモダカ
アギナシ
オモダカニ似テアリナシ
秋ニ盛ツツ

水沢瀉

一種 マルバオモダカ

池沢ニ稀ニ生ズ葉ハミヅアフヒニ似テ強ク支ヘアリ蕎麦（キヤウヤ）マルバオモダカニ似テ深緑色花ハ沢瀉ニ同シ

本草啓蒙ノ図譜
ノ説ナリ

○マルバヲモダカ

沢瀉ノ一種

水中ニ生ス葉ノ形杜衡ノ如ニシテウスク縦理アリ

花モ沢瀉ノ如

藚澤瀉也○詩言釆其藚（音續）爾雅藚牛脣毛氏曰水蕮陸璣

曰今澤瀉也本艸又以二蕍蕮一爲二澤瀉一　通雅

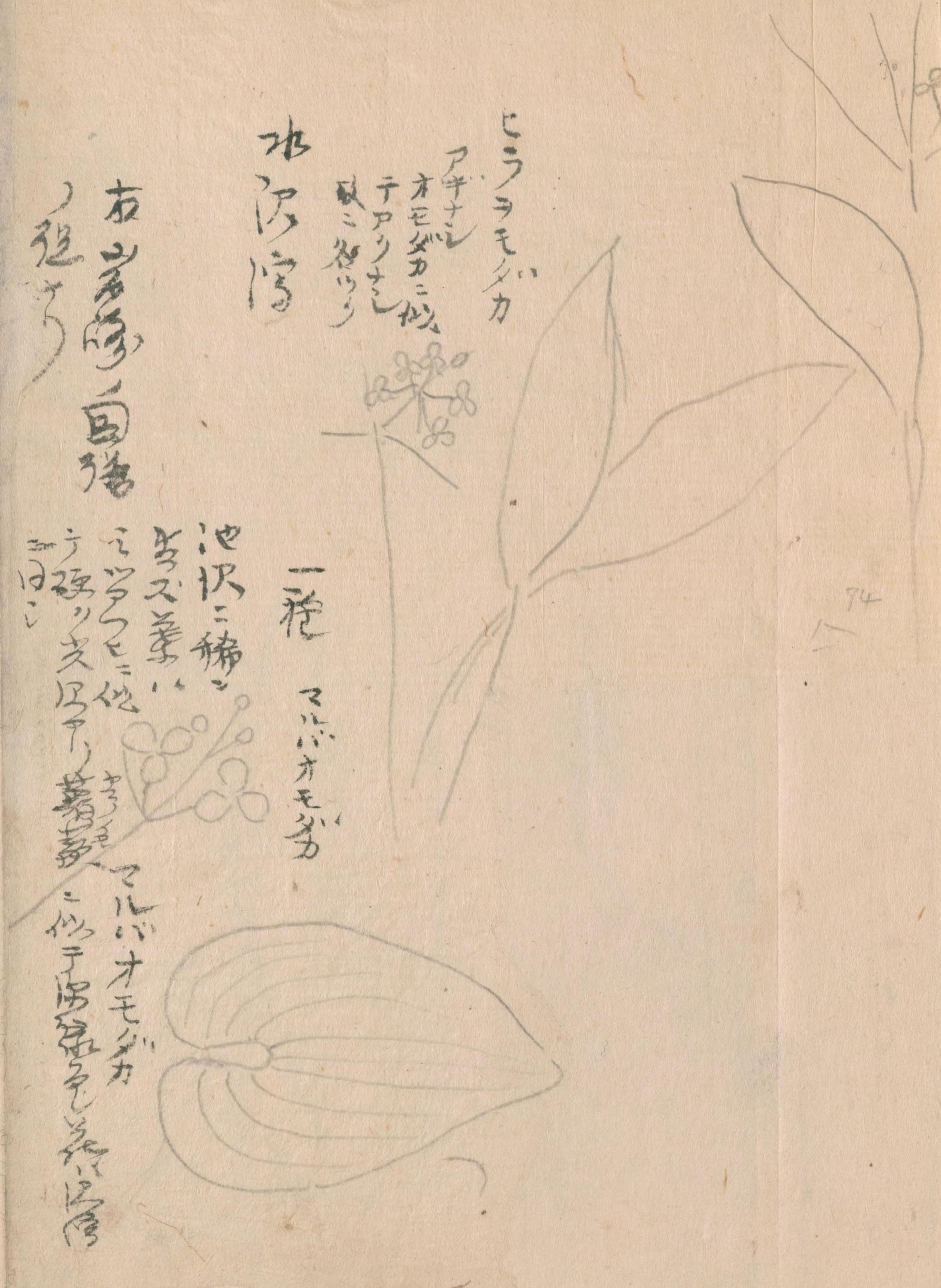
マルバオモダカ　京

勢州亀山ノ邉山近キ溝川或ハ水田中ニモ生ス葉茎円ク中空ニ

テ花ハ三弁ニシテ沢瀉ト同シ沢瀉ノ類ナレ𪜈根ニ鬼ナシ尾州海西郡

松田村邉ノ田澤ニモ在ルヨシ

綱校外ニシ



ヒラヲモダカ

アギナシ

オモダカニ似

テアギナシ

故ニ名ツク

水沢瀉

本草綱目ノ圖譜

ノ説ナリ

一種　マルバオモダカ

池沢ニ稀ニ

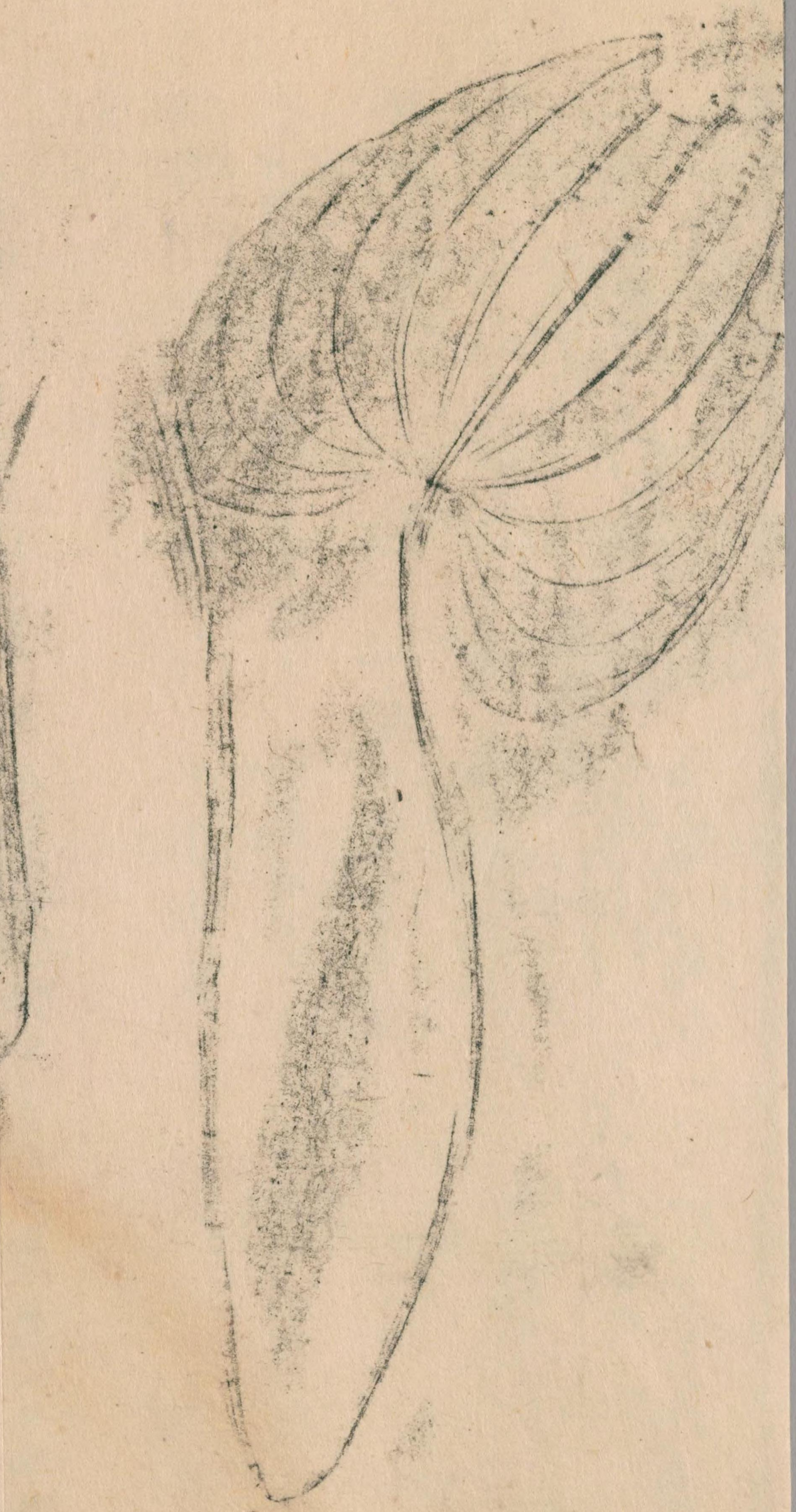
生ズ葉ハ

ミヅアフヒニ似

テ強ク丈尺アリ蕕蕮ニ似テ深緑色花ハ沢瀉

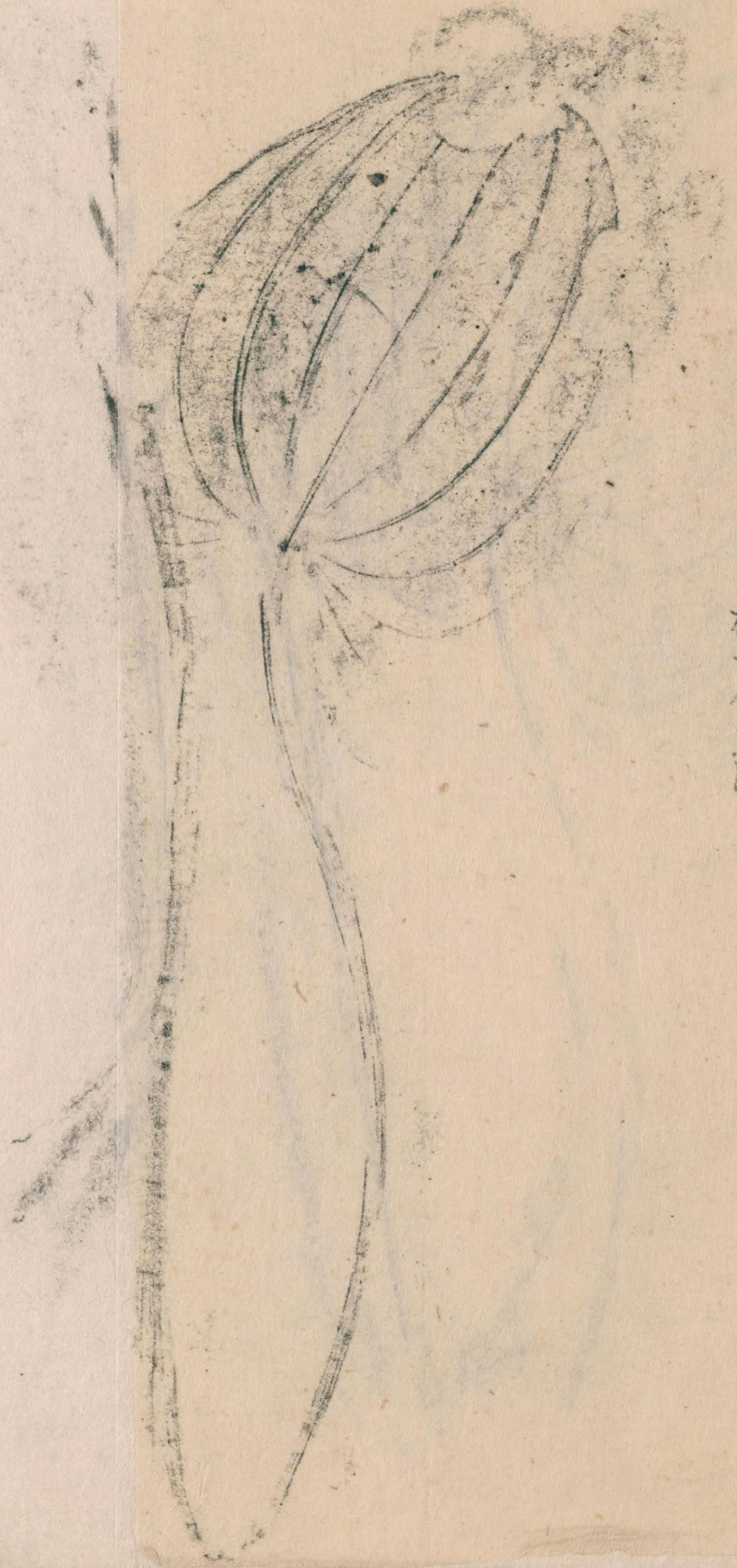
細白シ

マルバオモダカ



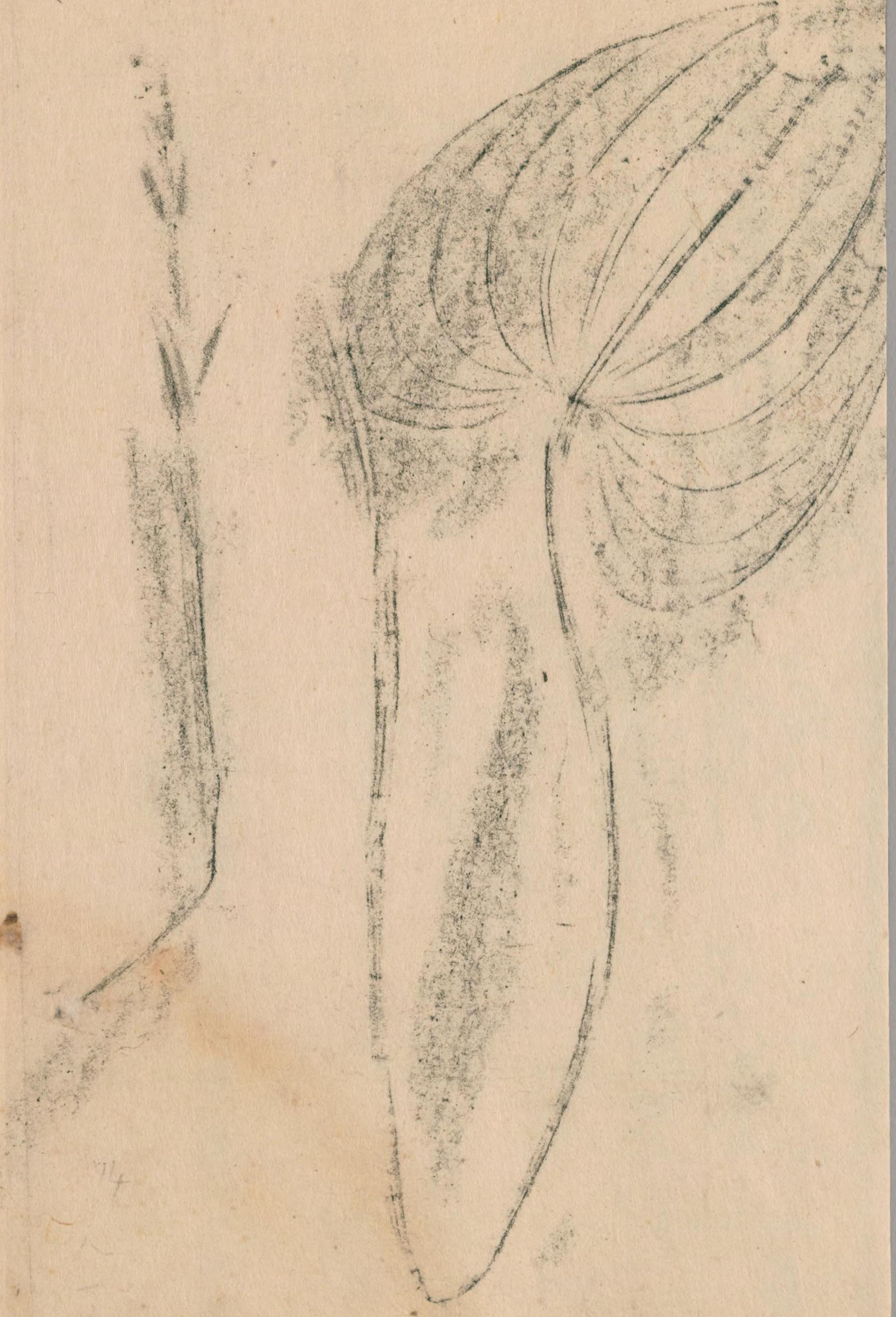
7ナ九二[illegible]

小塩五郎云伊豆長岡田中細キ堀ニアリ
松井信一郎寄ラキバノモダ

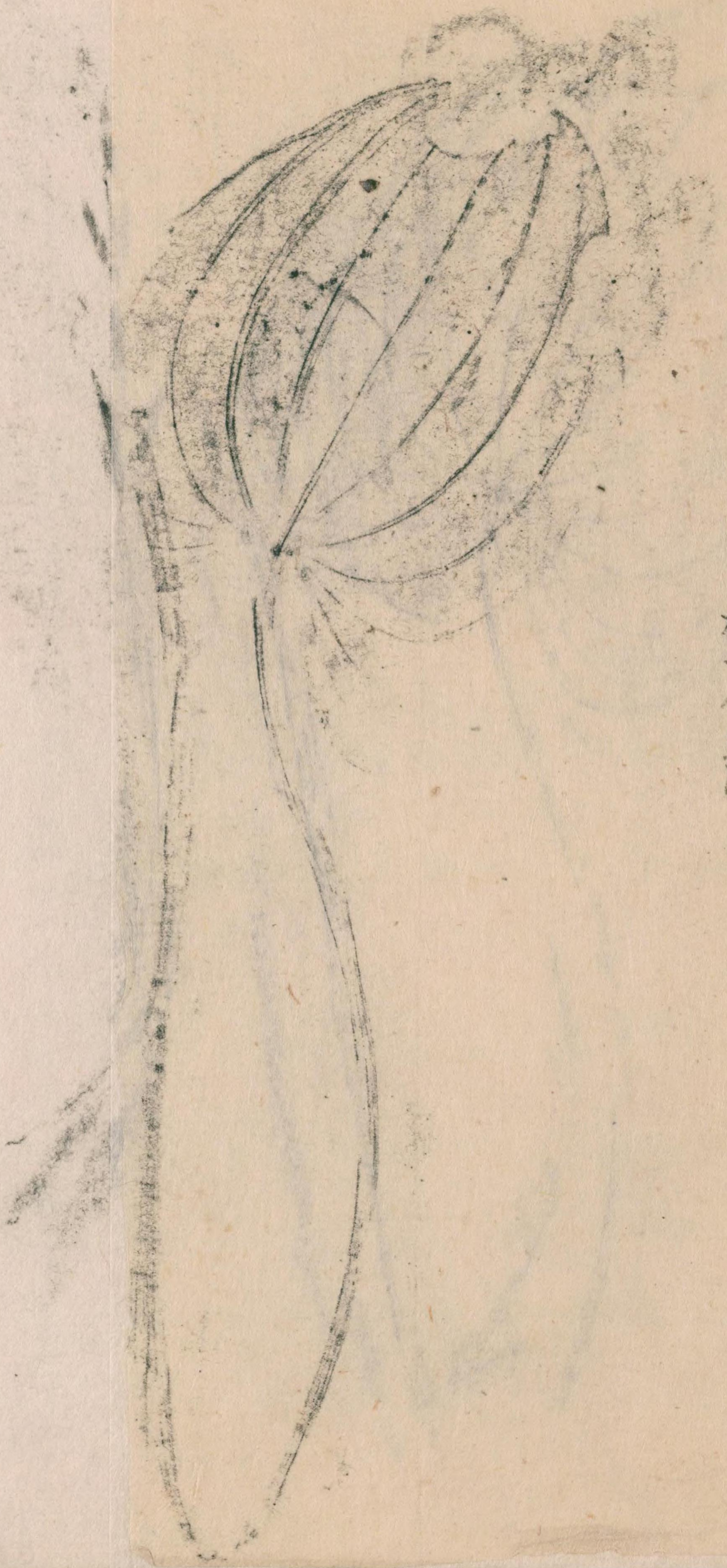


マルバノオモダカ

マルバオモダカ

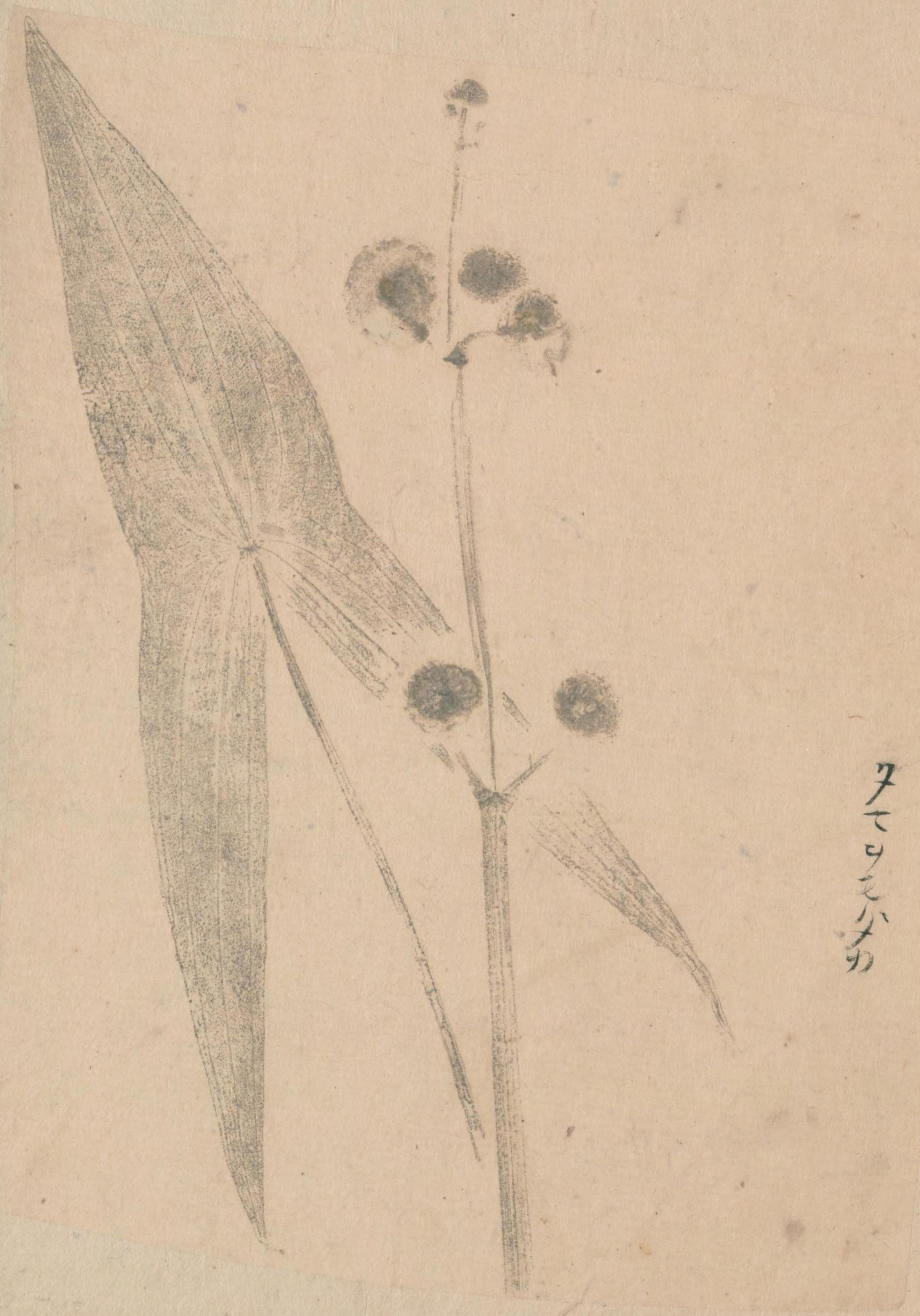


マルバオモダカ



小塩五郎云伊豆長岡田中細キ堀ニアリ
松井信一郎云ウキバオモダ

ク出



74

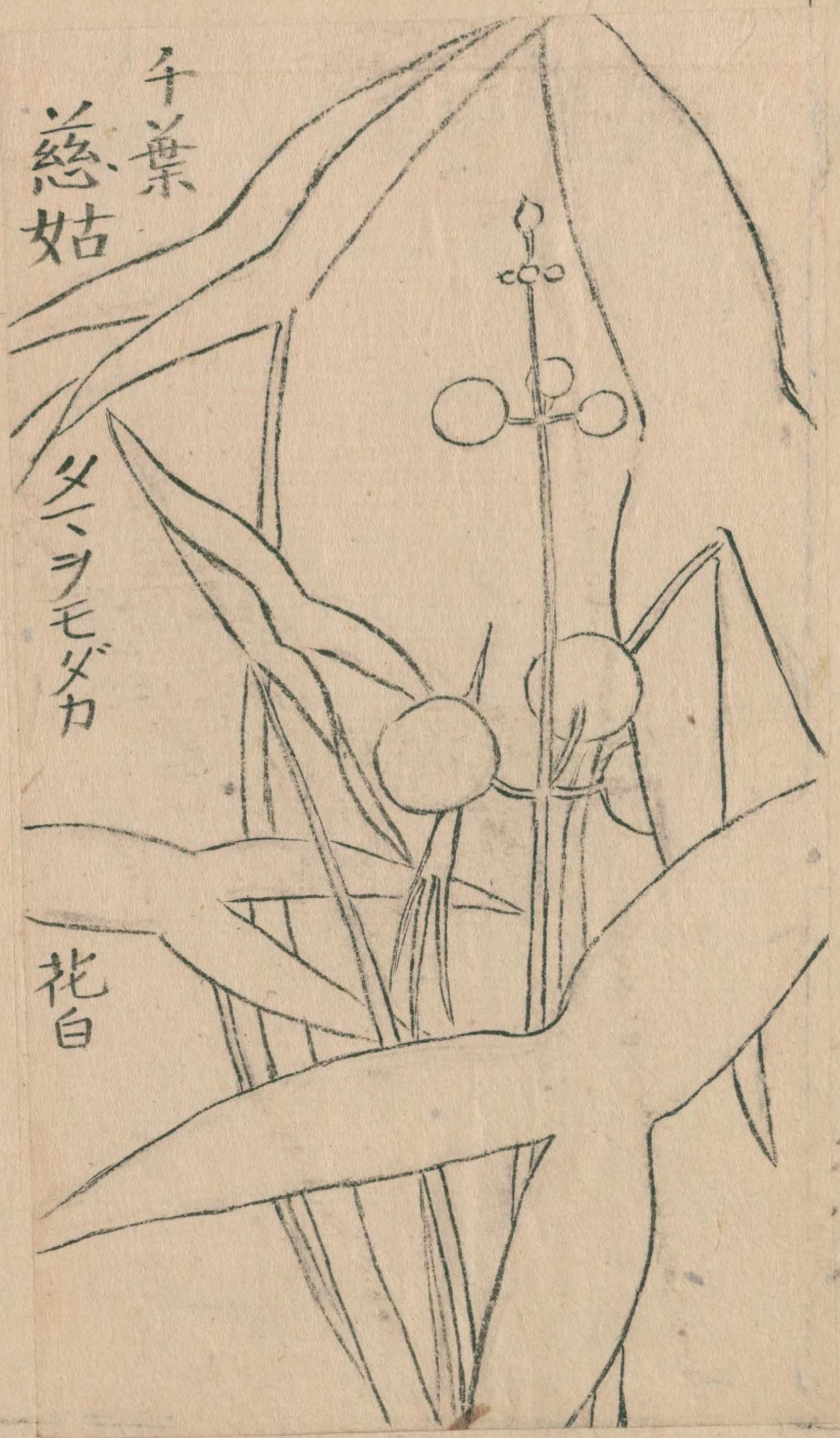
入三

澤瀉

救荒啓蒙二

ナマヰ（和名鈔）　ナヽト（新校正）

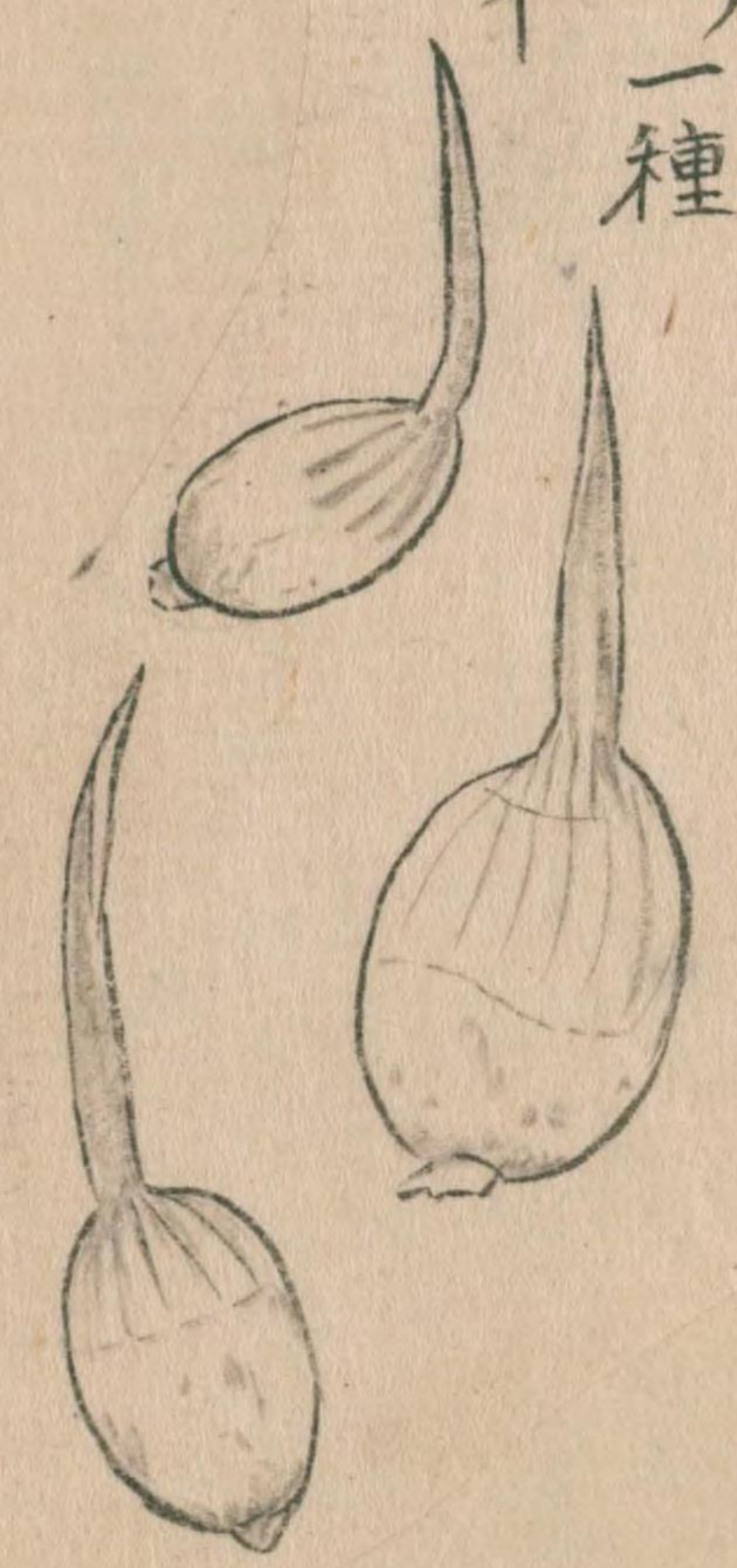
水澤中ニ生ス春舊根ヨリ苗ヲ生ス葉形車前（オンバコ）葉ニ似テ大ナリ厚ク光アリ数葉叢生ス夏ノ末茎ヲ抽ク高サ三四尺節コトニ三枝ヲ分チ枝ゴトニ又三叉ヲ分チ一花ヲ開ク三瓣白色三分許下ニ三蕚アリ花後實ヲ結ブ圓小ニシテ薄ク冬葵子（カンアフヒ）ノ如シ霜後苗枯ル一種葉形羊蹄（ギシギシ）葉ニ似テ長ク花淡紫色根ニ至テ小ク軽虚ナリ即本草原始ニ載ル所ノ水澤瀉ニシテ薬用ニ堪ズ一種オモダカト云アリ葉慈姑（クワヰ）葉ニ似テ小ナリ茎ヲ抽キ花ヲ開ク即東醫寶鑑ノ野茨菰ナリ



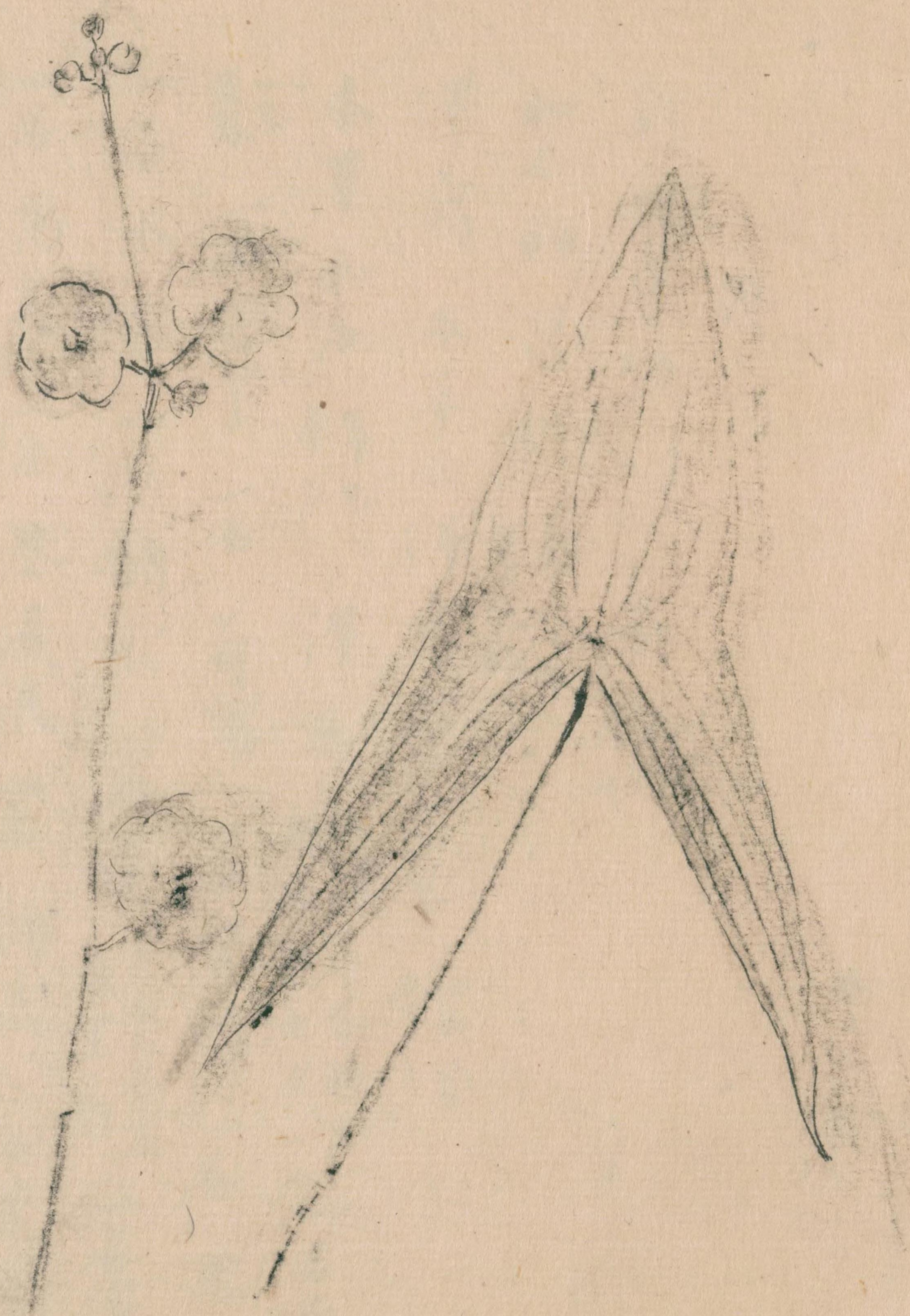
千葉
慈姑

タヽヲモダカ

花白



慈姑（ゴワイ）ノ一種



ッ
慈姑 タマヲモダカ

74

澤瀉

新撰字鏡（草五十九）葫（大蒜奈 万井）

和名類聚鈔（巻十七 菓蓏部）、、、、、

澤瀉 本草云澤瀉一名芒芋（和名奈 萬井）

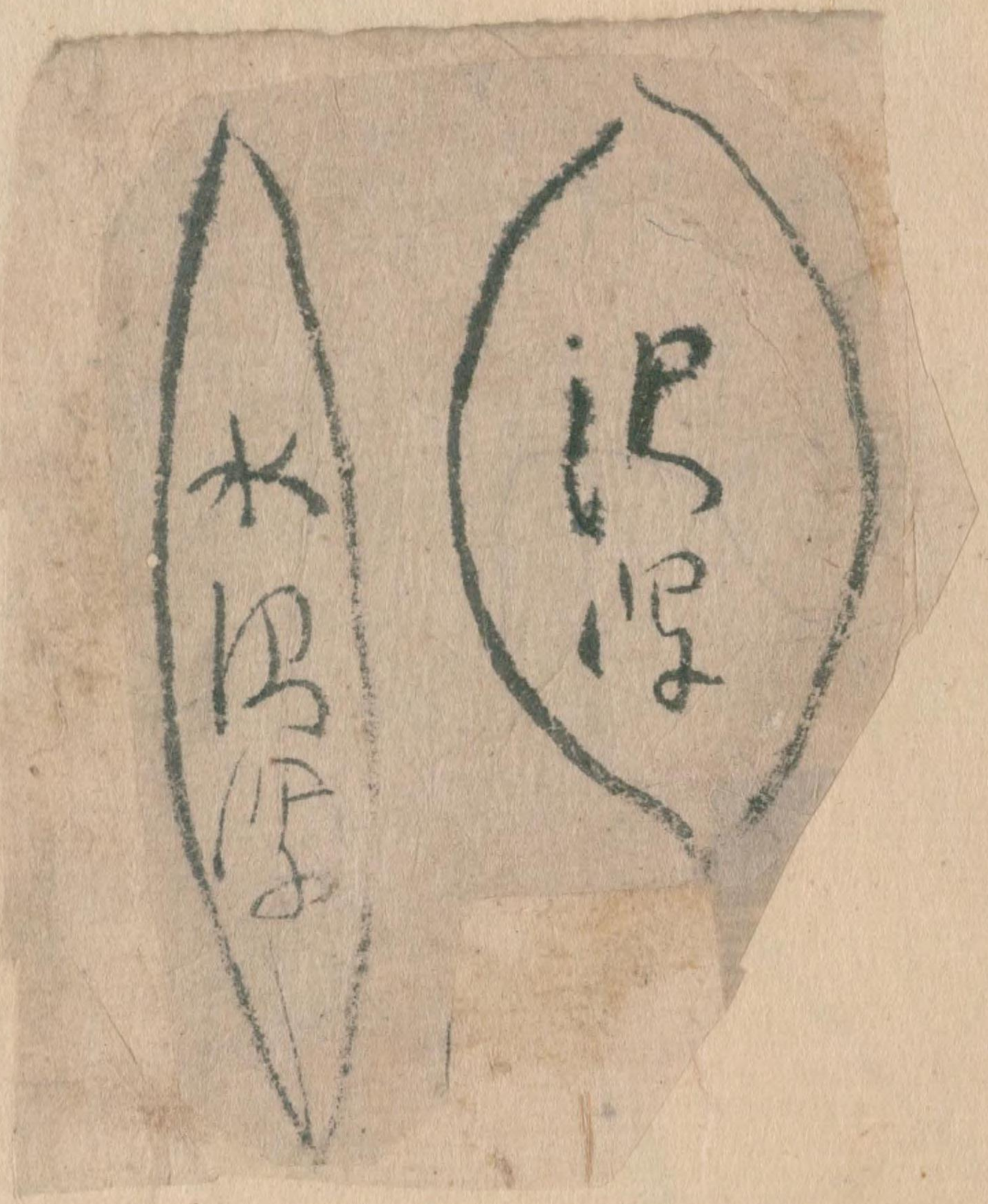
本草和名（苐六 草上）澤瀉（仁諝音昔楊玄 操音私也反）一名水瀉

（一名 及瀉）一名芒芋 一名蕍瀉 一名鼠舃 一名鬼舃

一名水芒 一名鵲米 一名蓬（已上六名出 釈菜性）一名澤芝

一名禹芝 一名悲通天 一名鵠朱 一名蓬蔂（已上）

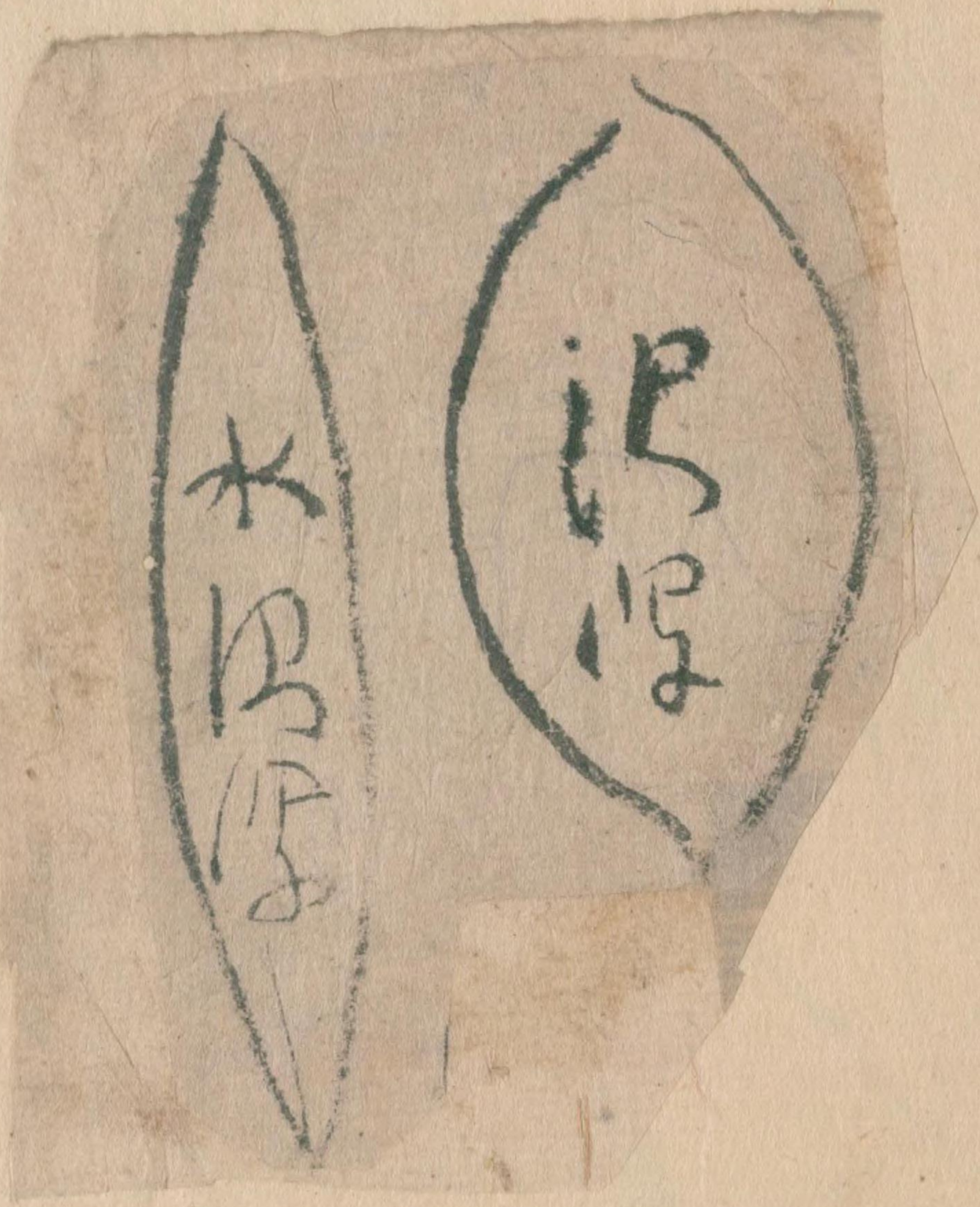
（出神仙 服餌方）一名鵠珠 一名薬菜（菓名也已上 出兼名苑）和名奈



末爲　一名於毛多加

醫心方　澤瀉（和名奈末爲　又於毛多加）

○按ニ澤瀉奈萬井ハ之ナヽト　新校正カラー
オモダカ　サジオモダカト云ヒ藥品ナリ又オモダカハ
野茨菰ナリ先輩ノ説ニ澤瀉ヲオモダカト訓スルハ
非ナリトス又古來オモダカ　サジナオモダカ　ハクワ井ダグイ
クワ井等相混スルノ説モアリ宜シク辨別スベシ」



末為　一名於モ多加

醫心方　澤瀉　（和名奈末為　又於毛多加）

類聚名義抄　艹八　澤蕮　ナマヰ云　オモタカ

延喜式（三十七典薬）　諸国進年料雑薬　大和国澤瀉

四斤　近江国澤瀉　三斤　若狭国澤瀉　六両　出雲国

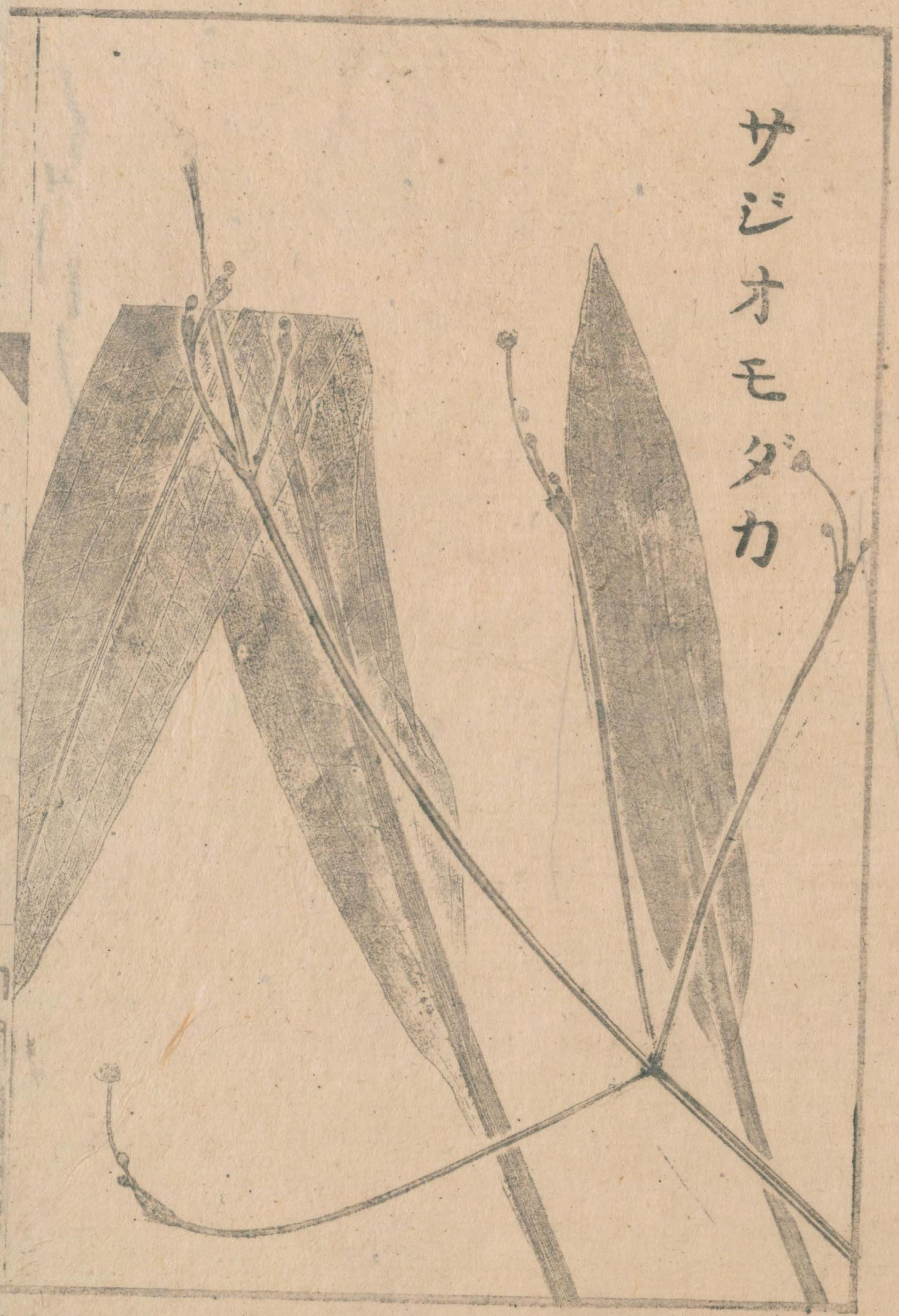
澤瀉一斤二両　美作国澤瀉一斤三両　備前国澤瀉

十斤　備中国澤瀉一斤八両　阿波国澤瀉一斤

枕草紙　草ハと云〻〻〻〻　おもたかハ

名のおかしき也心あかり志たらんとおもふう

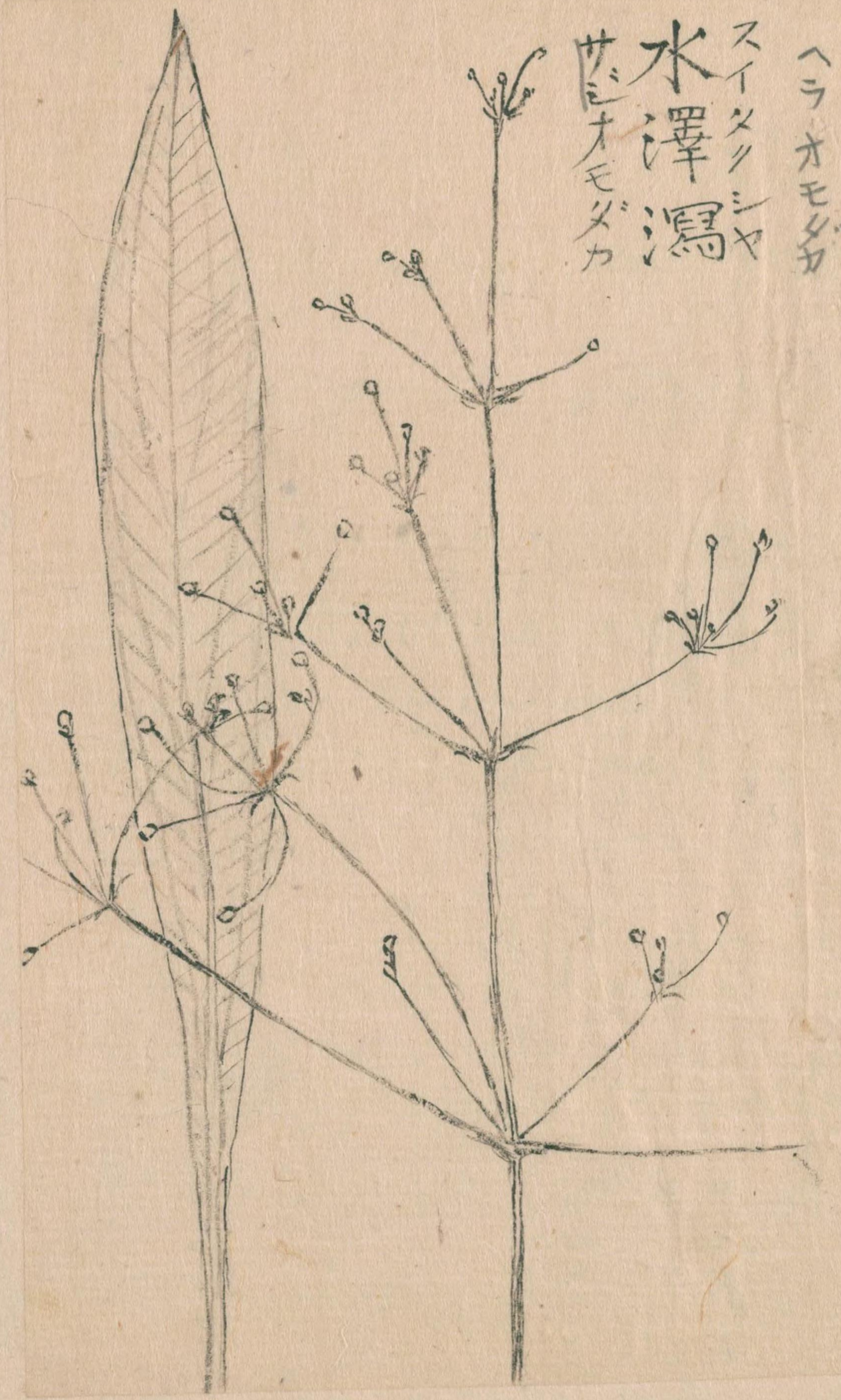
ヘラオモダカ



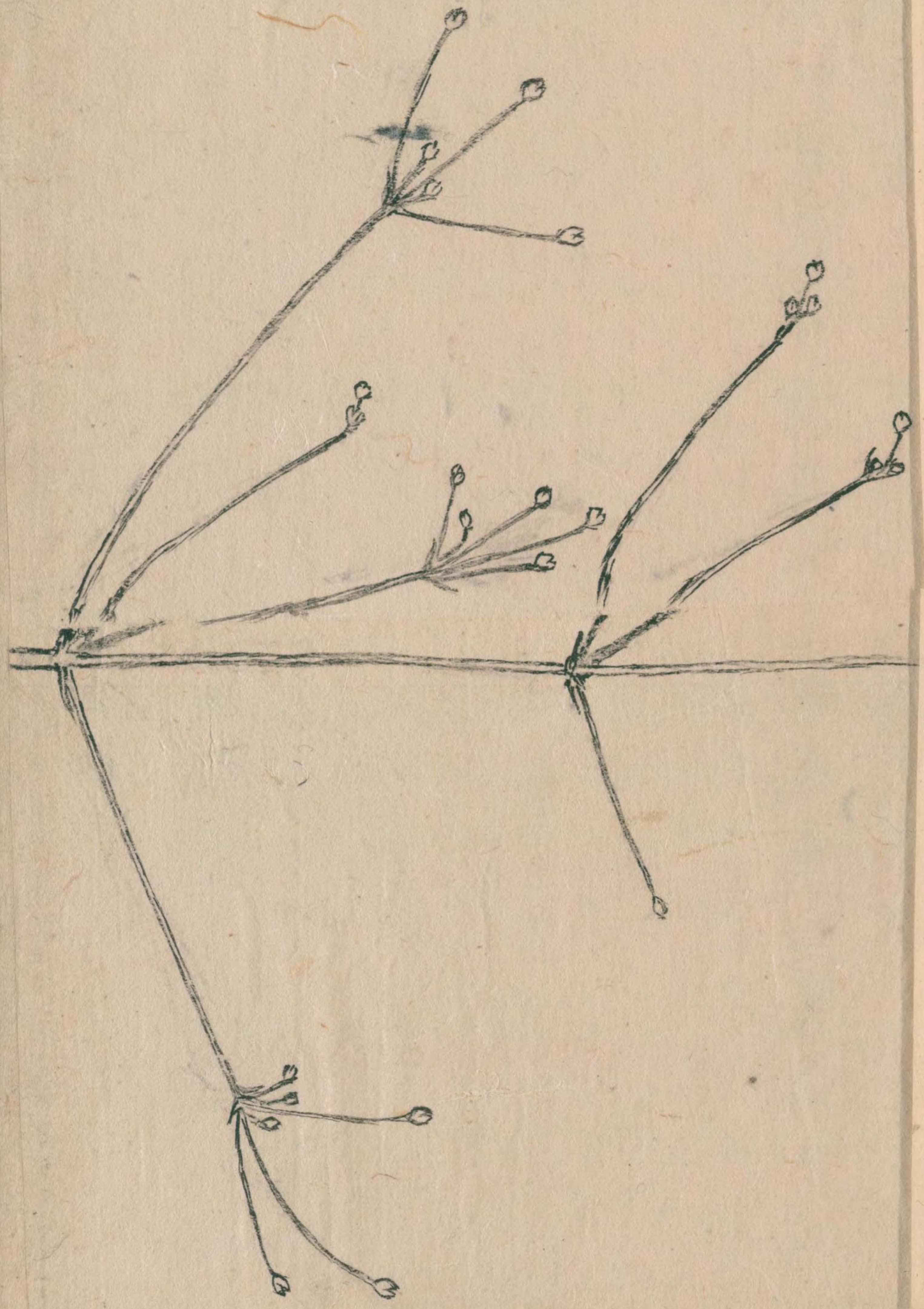
サジオモダカ

江戸

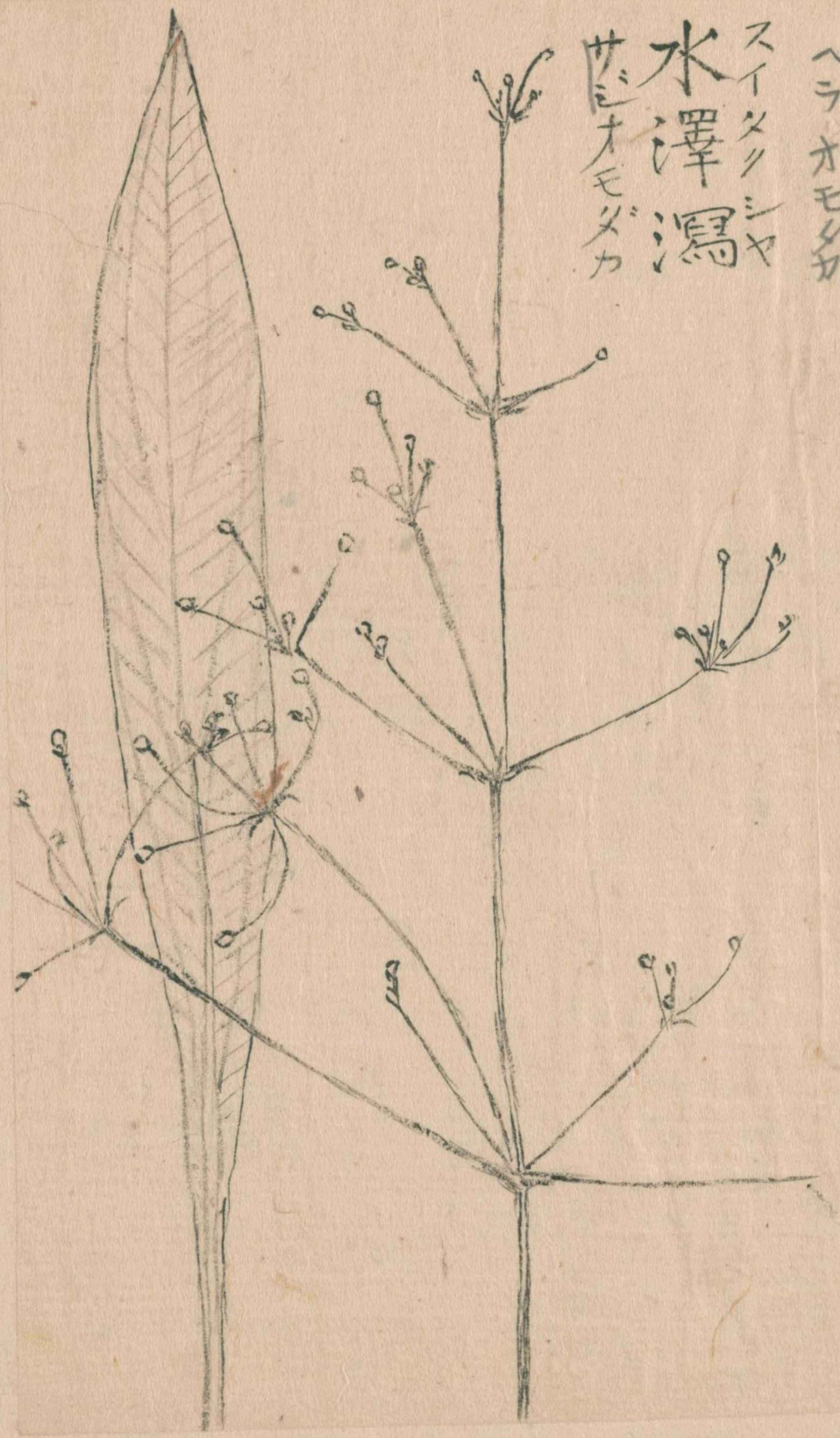
ガラス使用



ヘラオモダカ
スイタクシヤ
水澤瀉
サジオモダカ

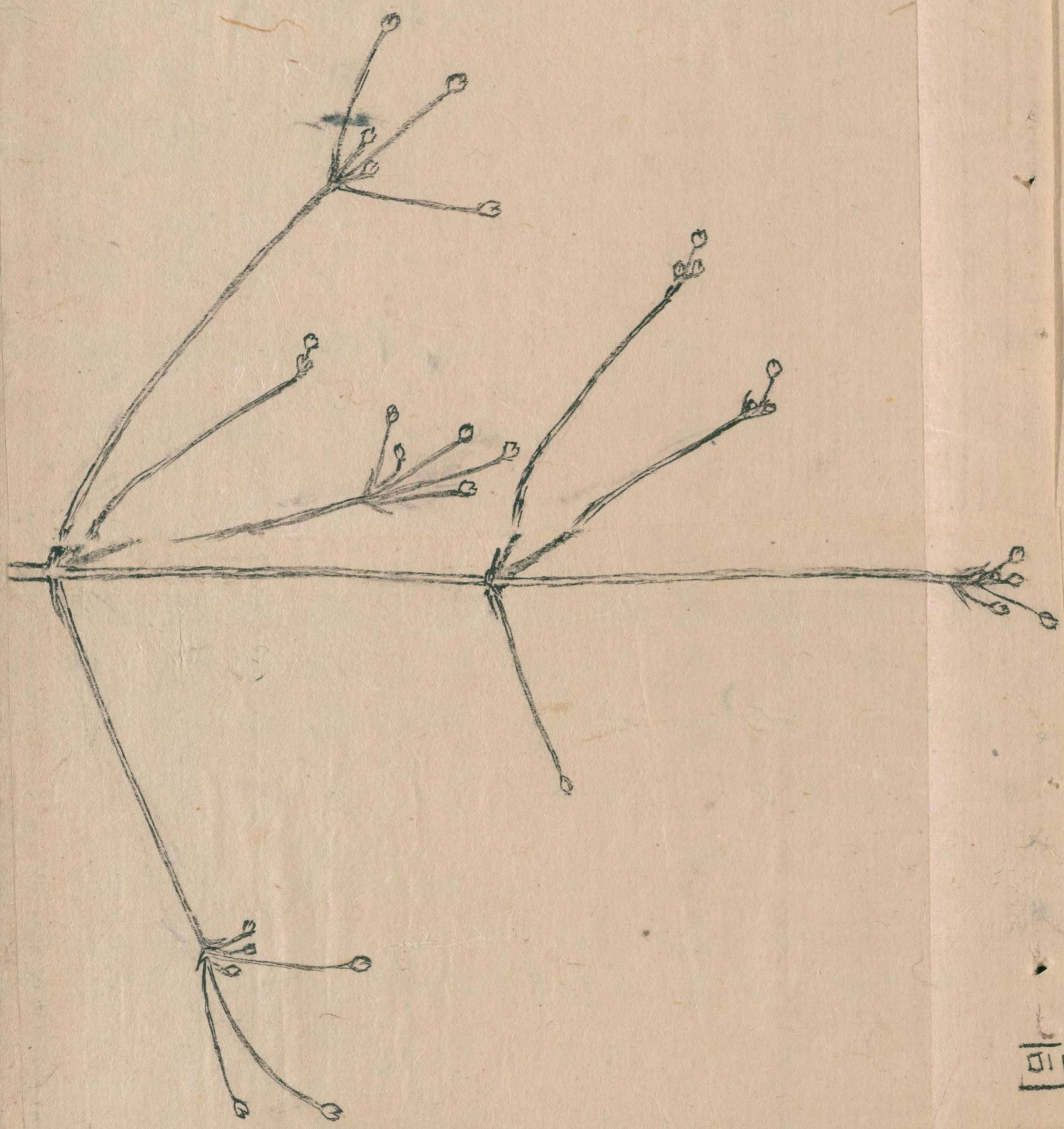


ガラス使用



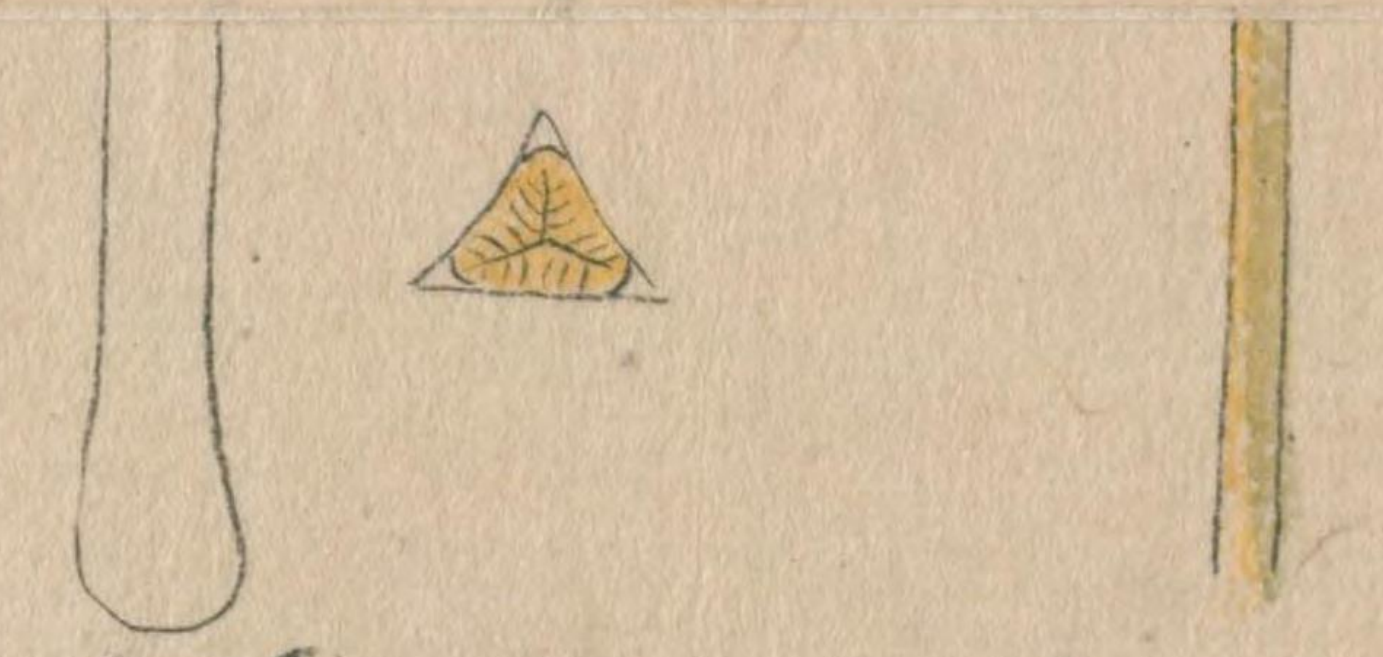
ヘラオモダカ

スイタクシヤ
水澤瀉
サジオモダカ



同

文政之頃
漢方家ニ賞用ス
（蜀瀉（ヲモダカ）[illegible]）
[illegible]一味也
並又数年来
多ク實見[illegible]
[illegible]沢瀉[illegible]



七

Alisma plantago.
(Water Weegbree)

水沢瀉（本草原始）

左知於毛太加（与沢瀉同名）

生田野溝邊亦生池中葉狭長尖鋭而不過四五寸夏月茎高二尺許分枝三方開三瓣小白花花謝結細小子形如葵子根塊似沢瀉

常陸物産志 十

蜀

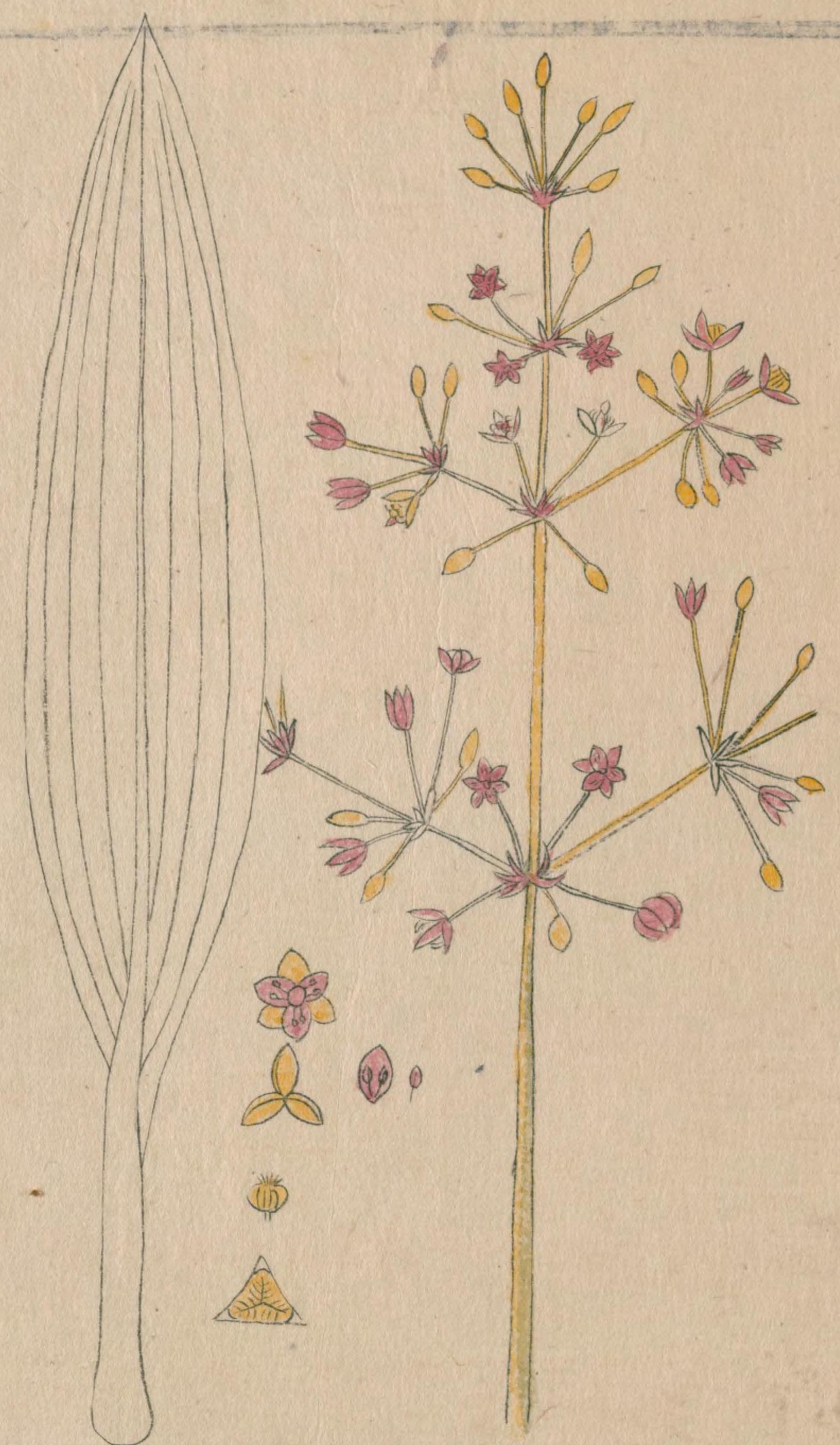
沢瀉

左知於毛太加　李末以

田野無自生文化中久慈郡太田村土人多種水田中余往年傳其種移井邊愛之葉長七八寸形似木葉匕而厚亦似車前葉而濶大夏月茎高二三尺生枝亦分小枝開三瓣小白花其根塊純白而形如芋秋月掘根洗浄宜備茶用

常陸物産志 十

ガラス使用



Alisma plantago.
(Water Weebree)

水沢浮（本草原始）

左知於毛太加（与沢浮同名）

生田野溝邉亦生池中葉狭長尖鋭而不過四五寸夏月茎高二尺許分枝三方開三瓣小白花花謝結細小子形如蔆子根塊似沢瀉

常陸物産志十

蜀

沢瀉

左知於毛太加

牽末以

田[illegible]太田村土人多種水[illegible]葉長七八寸形[illegible]夏月茎高二[illegible]其根塊純白

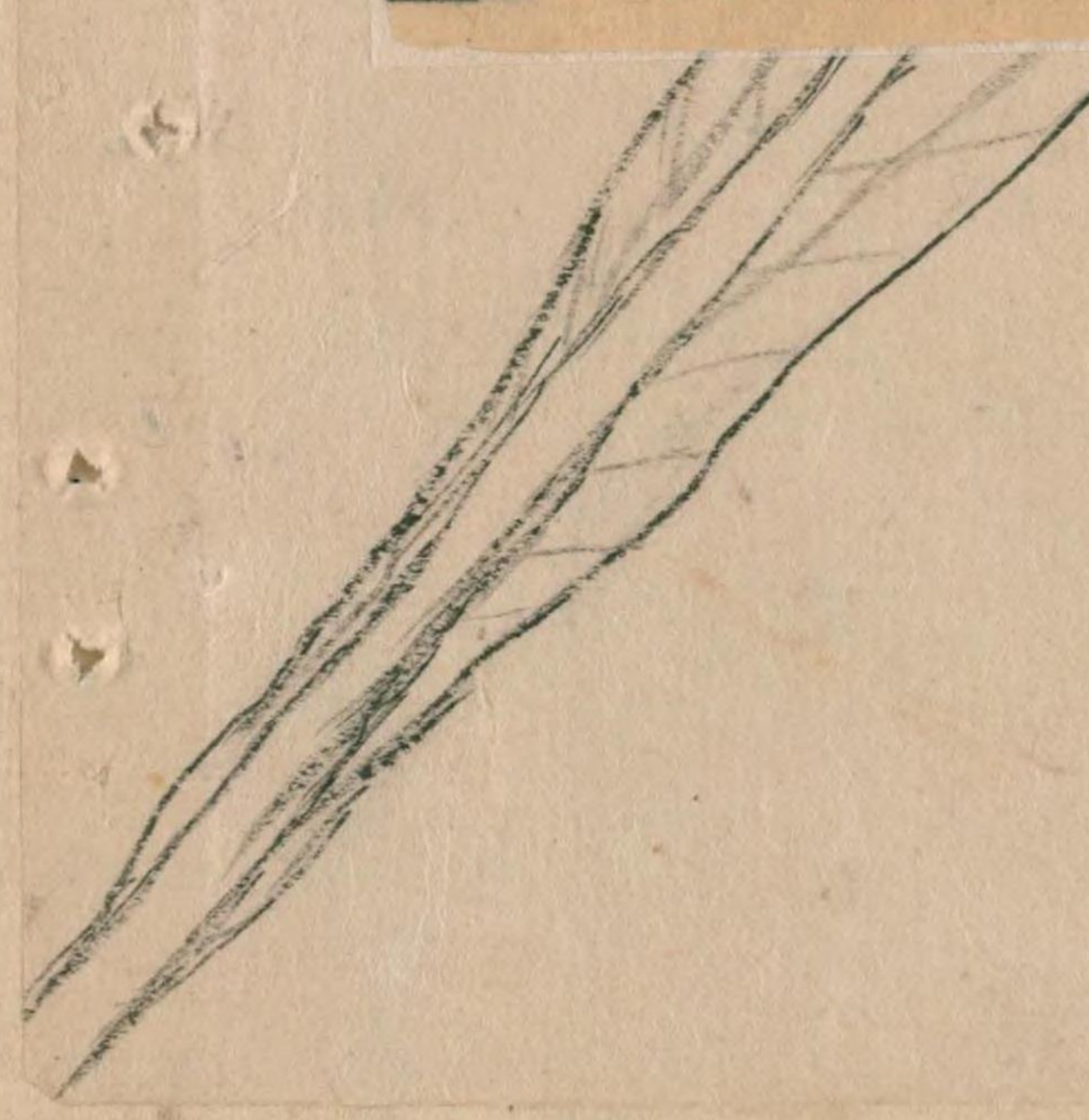
常陸物産志十

洋々社談四十一号載

○澤瀉ハ毒草ノ説

伊藤圭介

澤瀉ハ、サジオモダカ、一名センダイタクシヤ、又ナマヰ和名抄、ナ、ト新校正、其他數名アリ、洋名ハ、ALISMA PLANTAGO,L. 羅甸、GREAT WATER PLANTAIN. 英ナリ、古來澤瀉ヲオモダカト訓スレ𪜈、オモダカハ野茨菰ナリ」澤瀉ハ、水澤中ニ產ス、其葉形蛋圓ニシテ、ソノ柄ハ長シ、葉間ニ花梗ヲ抽テ、上ニ細梗ヲ分チ、小白花三瓣ヲ着ク、宿根草ナリ」此根ハ、多ク藥舖ニ出シ、漢方醫家ノ日用トシ、肆上ニモ夏月常ニ鬻ク所ノ、五苓散中ノ一味ニシテ、又補藥ト稱スル八味丸料ニモ、亦之ヲ配スル者ニシテ、其性恰モ平淡ノ如シト雖𪜈、洋說ニ考フルニ、一種ノ毒草ナリ」此新根ハ、酷厲ノ毒アリテ注意スベキ者ニシテ、其產地ノ水ニモ、亦ソノ毒氣ヲ帶バシムト云、又牛馬羊ノ諸畜ニ、此草ヲ食セシムレバ、疾病ヲ發スト、蘭人アンスレイン」ノ說ニモ見ヘタリ、又諸畜ニハ毒アリテ、就中牛ハ殆ンド斃ルベキ程ニシテ、且此草ノ汁ハ、酷烈ナルヲ以テ、發泡劑トナスベキノ說アリ」而ルニ前ノ所謂漢方ニ之ヲ常用シテ、其害ヲ見ザルモノハ、蓋シ其根新鮮ナラズシテ陳久ノ品ヲ、少量ニ煎服スル所以ナルベシ、余今此說ノ實否ヲ、詳ニ辨晰スルヿ能ハズト雖𪜈、姑ク茲ニ畧記シテ、他日ノ親驗ヲ竢ツノミ



モダカ

沢瀉　圖十八

可

沢瀉ノ次ニ

一種葉微シ細窄ナルアリ是穀草ナリト云然𪜈産土ノ違ニノ別種ト可為者ニモ非ス𪜈ニ根塊有テ漢渡ノ者ニ同シ

椄ヘラオモダカ

ヘラオモダカ也

サジヲモダカ

乄悪

澤瀉

水澤ノ地多シ二月葉ヲ叢生ス形チ匙（サシ）ニ似タリ故ニサジヲモダカト云其花莖ヲ抽テ枝ヲ分チ三瓣ノ小白花ヲ開ク花謝シテ小実ヲ結ブ根ニ塊ヲナス冬採テ薬用トス一種仙臺ト称スル者ハ上品ナリ

本藩重花ノ

澤瀉　本草蒙筌廿五下　十三

オモダカ

ガラス使用

澤瀉（オモダカ） 本草彙苑廿五下 十三

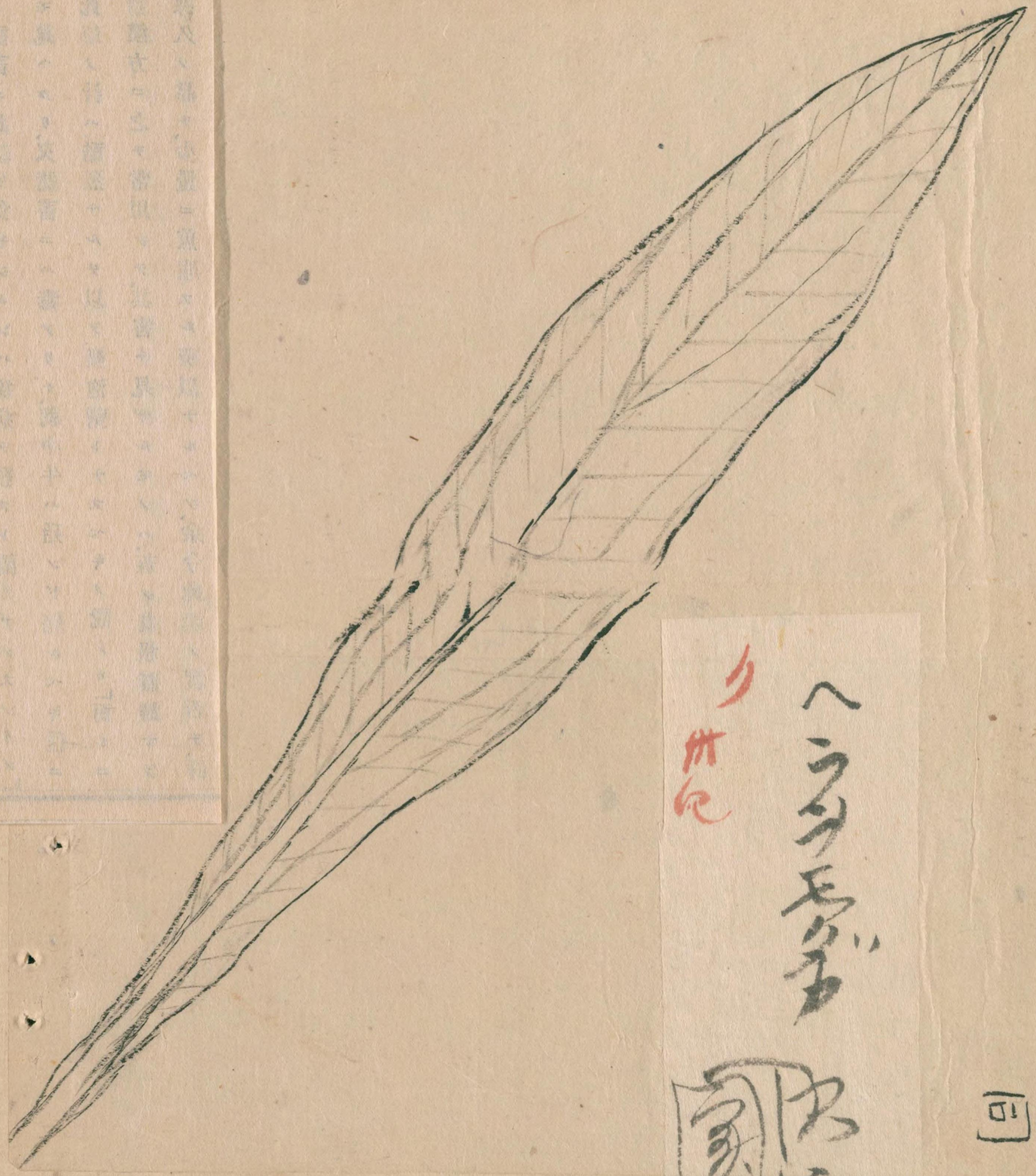
水澤ノ地多シ二月葉ヲ叢生ス形チ匙（サシ）ニ似タリ故ニオジヲモダカト云其花茎ヲ抽テ枝ヲ分チ三瓣ノ小白花ヲ開ク花謝シテ小実ヲ結ヒ根ニ塊ヲナス冬採テ薬用トス一種仙臺ト称スル者ハ上品ナリ

石滿重花

草ナリト云然氏モ非ス氏ニ根塊

オモダカ

おもだか



ヘラオモダカ

タ 卅也

內序 圖十八

可

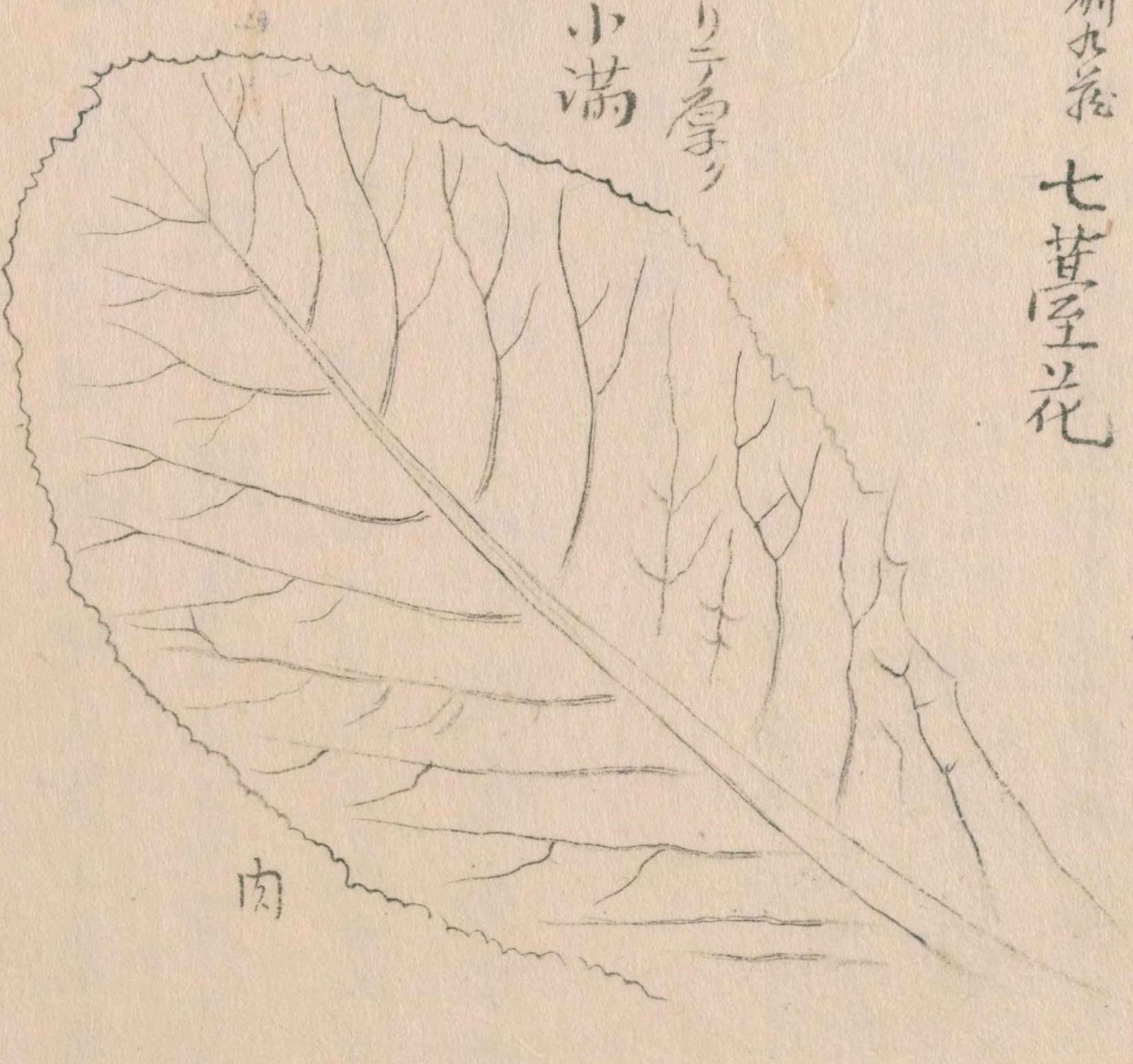
一種　ヒラヽモダカ　アギナシ（オモダカニ似テアゴナシユヘニ名ツク）
処々水澤ニ生ス形状サシオモダカニ似テ狹ク又紫
蕚（ウキシホ）ニ似テ厚ク狹ク花實根形同クコレ本草原
始ノ水澤潟ナリ　[illegible]

此説[illegible]クリンサウハ山ノ谷際沮洳ノ地ニ生ス葉質
櫻サウニ似タレドモ形細長ニシテ地ヨリ環生スル處車ユリニ
似タリ故ニ類ニ百合ト云ヘリ三四月莖ヲ抽ツルコト二三尺莖ヲ
トリマキテ花對生ス五辨紅紫色如此モノ七八段或九十段
ニモ至ル故ニ九輪サウ又七重サウトモ云ナリ

○九輪艸　[illegible]　花一重色赤白二種開花三月下旬より四月吉二分陰地二分湿
土（回基）　肥油粕洗小便朽し流くへし　種收まし　分株移春芽出し
前よし花茎長六七寸節なし花形さくら草の如く房の形ハ董臥の
毎節より隠く数の英節を遶（めぐ）りて咲之恰も塔上の九輪ニ似たり

クリンサウ　セリンサウ　サハバタサウ　七風草
七重サウ　百日サウ（肥州丸茂）　七茎花
ジエツペルスレウテル
城州貴船山ニ自生アリ
葉サナノ葉ニ似テ円ク鋸歯アリテ厚ク
茎ヲ抽テ穀雨後ヨリ花ヲ開小満
ノ比ニ至ル

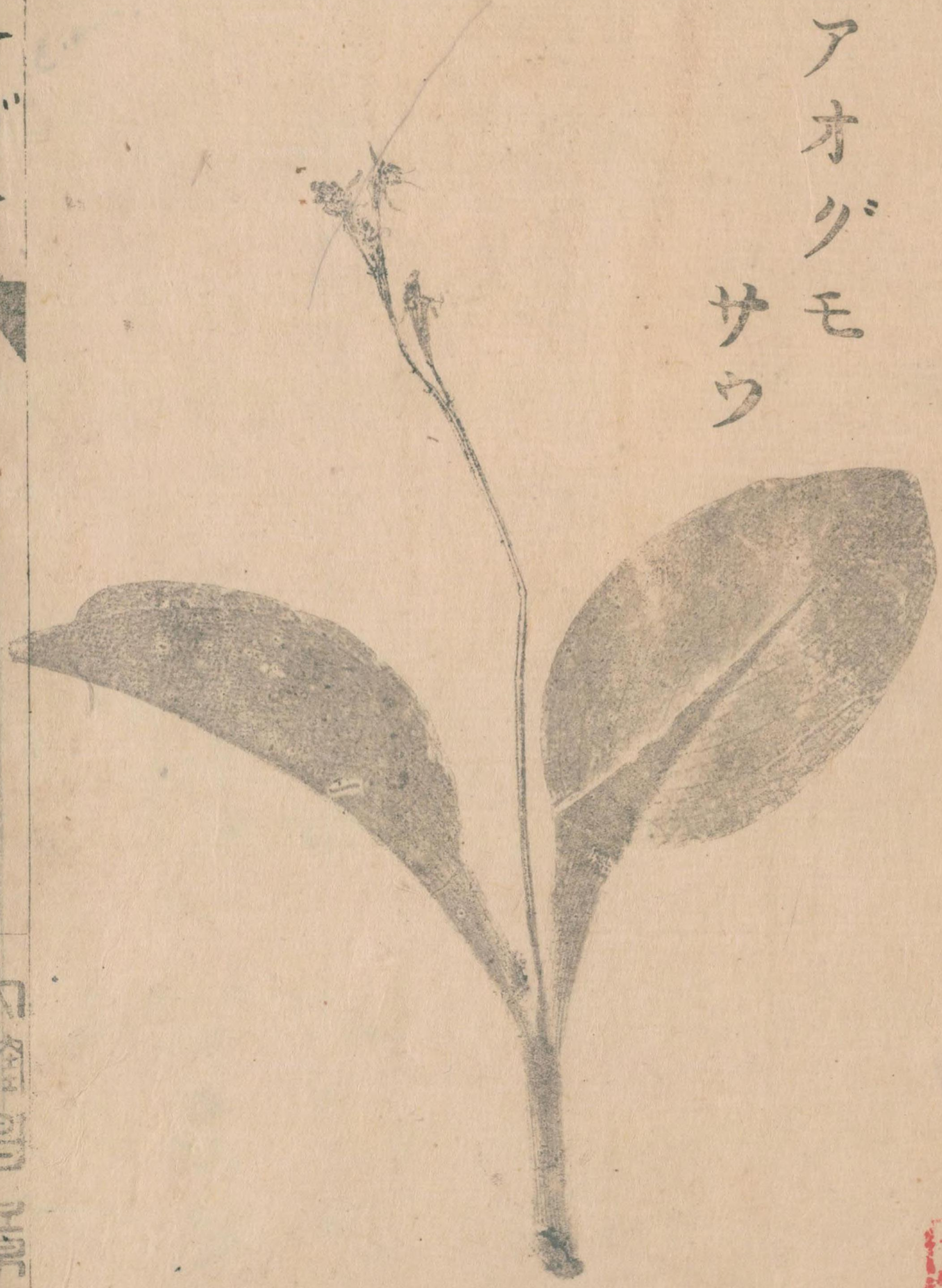
淡紅ノモノヲホウトウケト云
絞リヲ今織錦ト云
白地ニ紅絞リヲ花源氏
紫地ニ白絞ヲ明石ト云



洵鹿

74 一〇八ウ

アオグモサウ

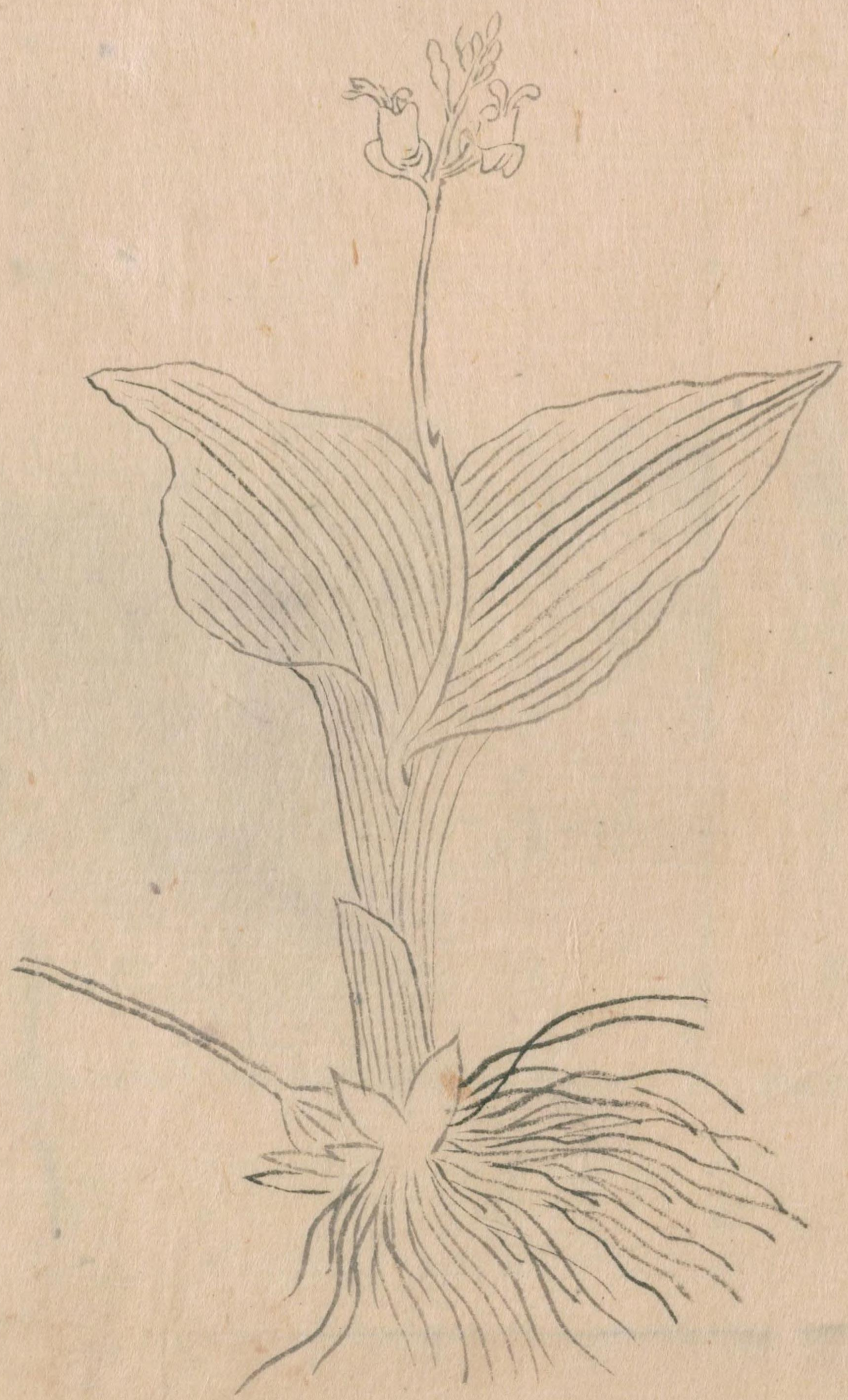


内[illegible]

アラシノ石

尾張伊藤圭介之記

74 二二旧



綠葉綠花

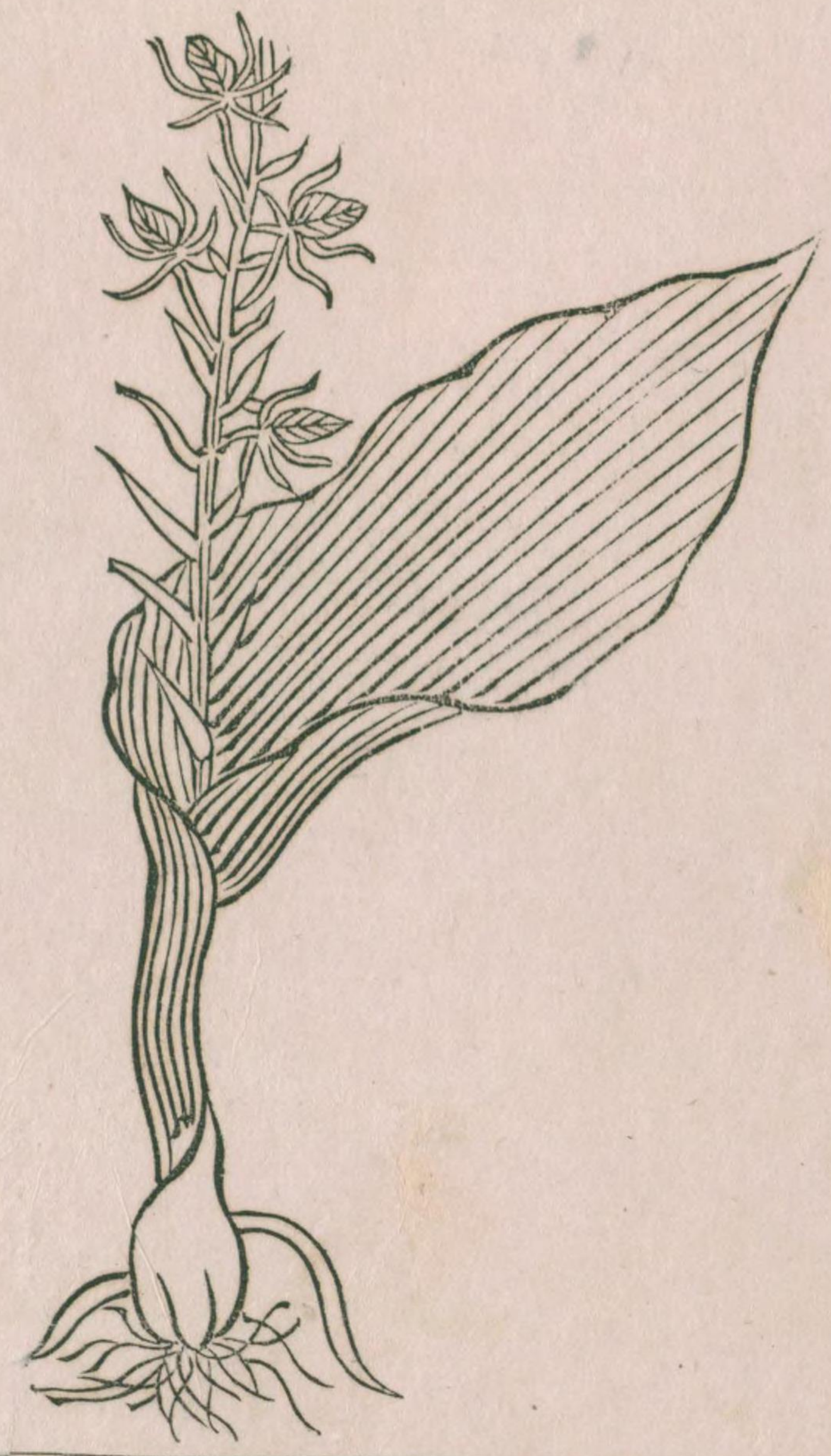
绿葉绿花生雲南山中绿葉對莖如白及而短抽矮莖梢端開花如群蛙據草绿背白足裊欲墜亦可名绿蟾蜍花

国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号 本別6-9　ガラス使用

羊耳蒜

羊耳蒜、生滇南山中、獨根、大如蒜、赭色、初生一葉、如玉簪葉、卽從葉中、發葶、開褐色花、中一瓣、大如小指甲、夾以二尖瓣、又有三尖鬚、翹起、蓋黃花小獨蒜之種族、

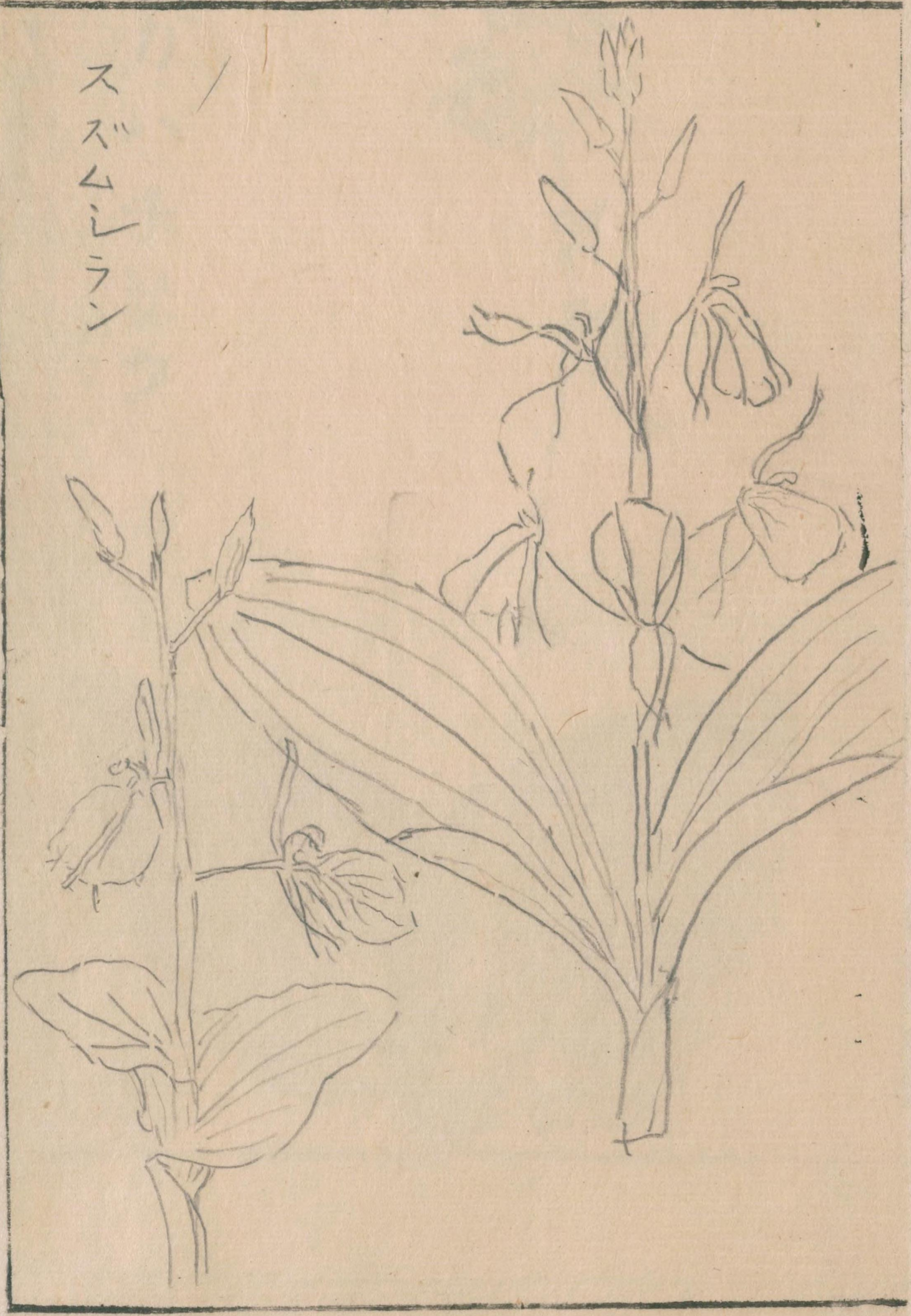
羊耳蒜



74

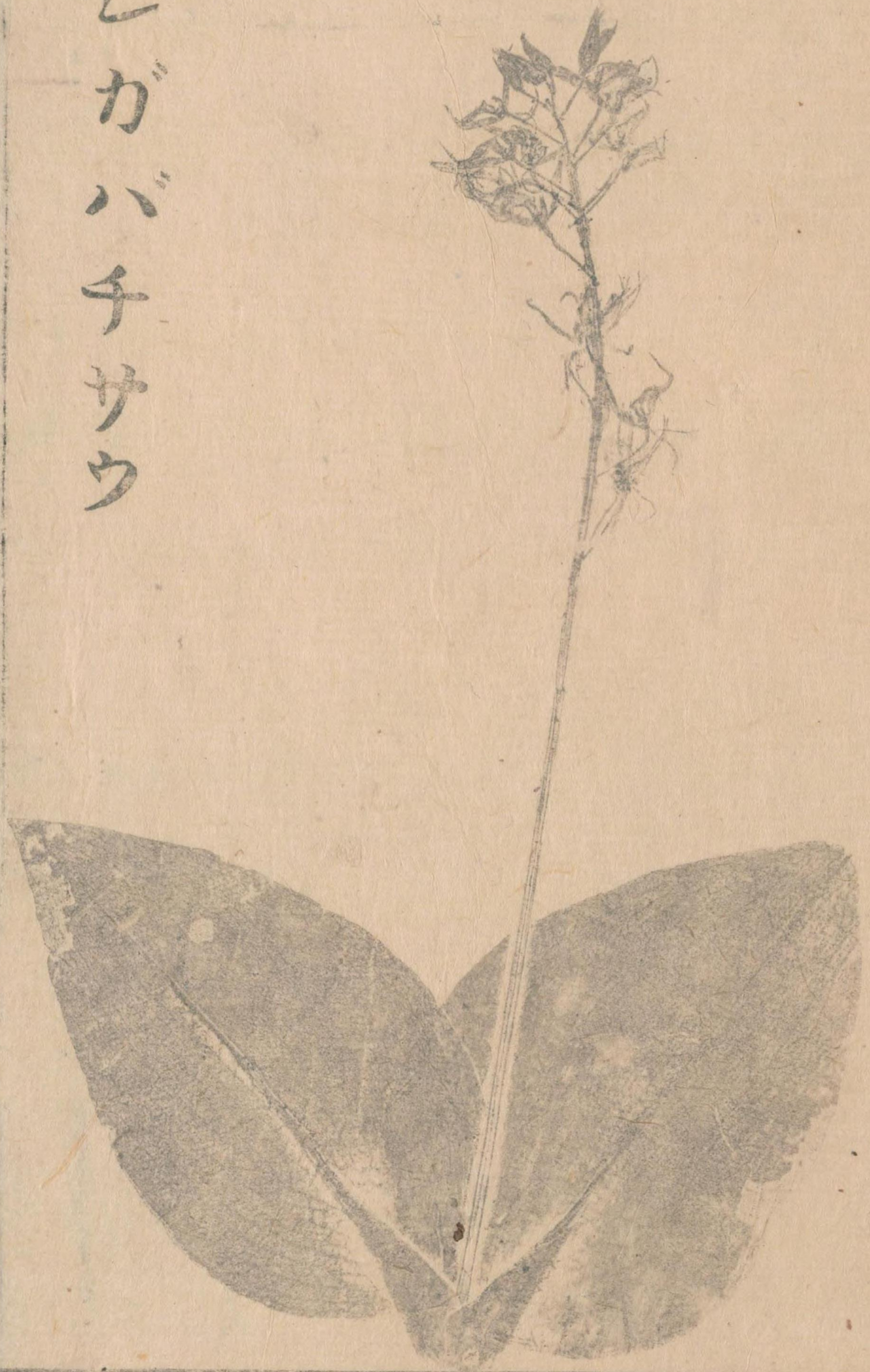
ガラス使用

シラン
枚ノ原図
此枚下ニ作リ



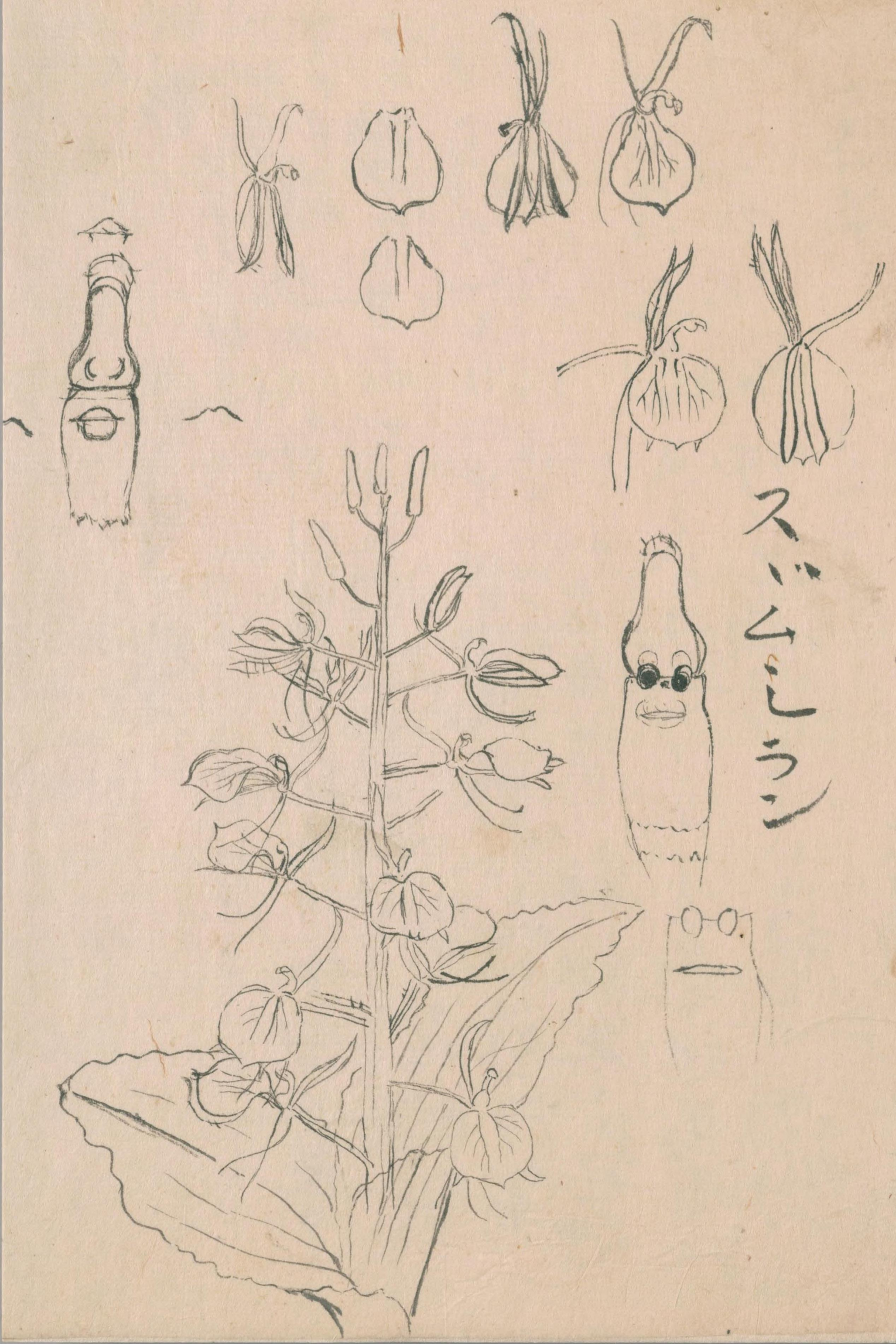
ワリ 一三八

ジガバチサウ



ミカハチサウ

四工



スヾムしラン

スバムシラン　伊勢等ニ産ス

狀 葉タカノハノ如ク 用ト

両葉互出シ 形タカノハニ似タリ 中心ヨリ一茎ヲ

抽テ高サ六七寸 花互生シ（互生前后）ニタカノハニ似テ大

ナリ色青白ニテ紫暈ヲ帯ブ（色或ハ）濃淡アリ一糸、

豊大ニシテ（モトニ）此左右ノ茜ノ軸ノ斜ニ之ニ芭長（細）

ニシテ三アリ又長尾二アリテ下垂ス狀馬尾ノ如キ

ノ如シ 根鬚アリナキニ赤タカノハニ同シ

ハ細鬚十畨

○ガンゼキギボウ　フタバグサ　タカノハ　イハヅラ　イハギボウ

花青キモノヲトツバクラン

黒花ノモノヲジラン

春新葉ヲ出ス山ギボウノ又モキリサウ 二葉ナウハ小葉五六ヲ生シ淡緑

色ノ花ニ紫暈ノスヂアリ根ニ球アリ 水谷ノガンゼキハ、ボウハ、勝産

ヲ呈ス根球ヲナサズ（○ガンゼキギボウハ根球ヲナス）花前ノ又モキリヨリ後レテ開ク（花ニチ見ヱヲセイラン二似テ）○又云フ物ニハ

ガンゼキギバウ タカノハ 又ノモキリサウ カンゼキギボウト出スハ又モキリサウ

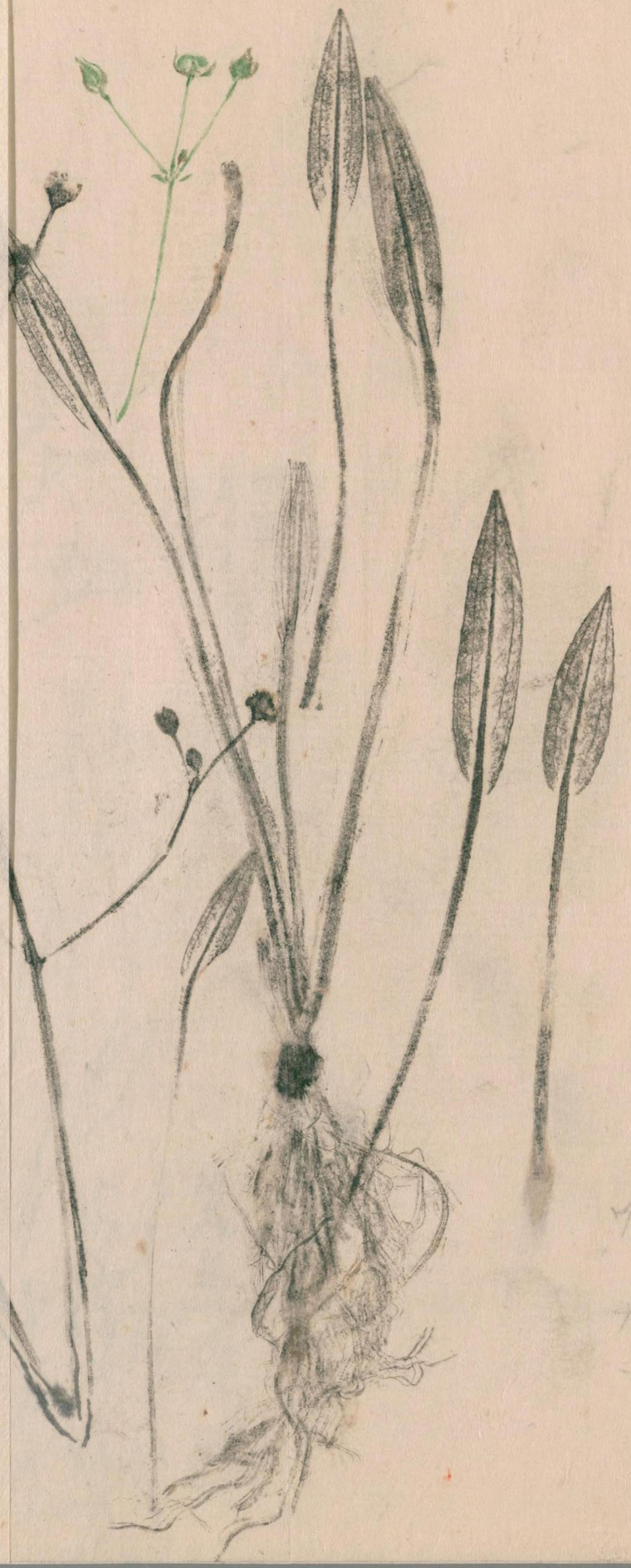
トガンゼキ、ボウト混シ易キガ如シ

又此葉大小異ガ故ニ通シテ又モキリサウ ガンゼキギバウ、タカノハ

等ノ諸名ヲ呼ブ然レ𪜈細別スレハ葉タカノハ フタバグサ

一ガンゼキ、バウ 色青ト黒トアリ

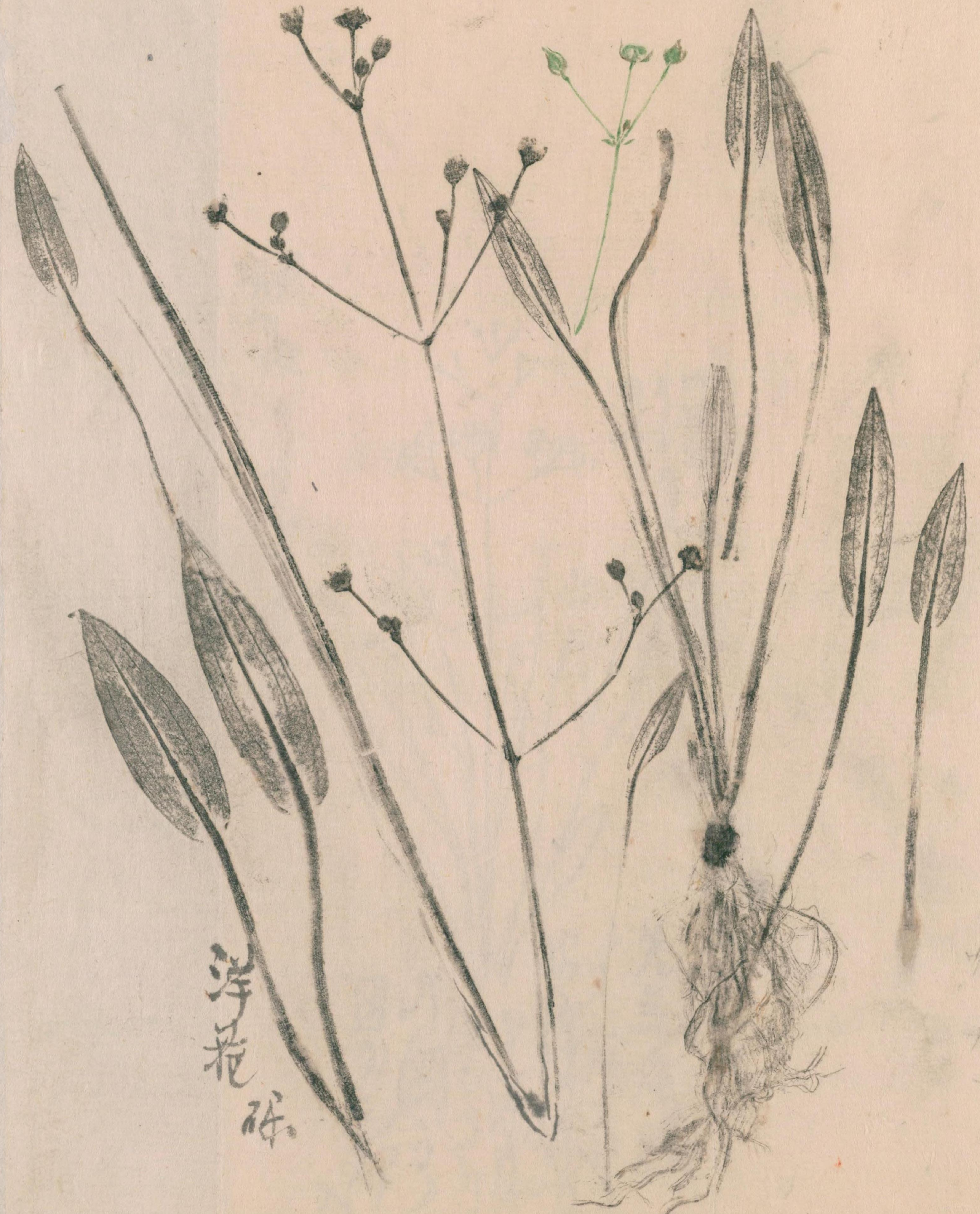
ガンゼキギボウ



74

九

ガラス使用

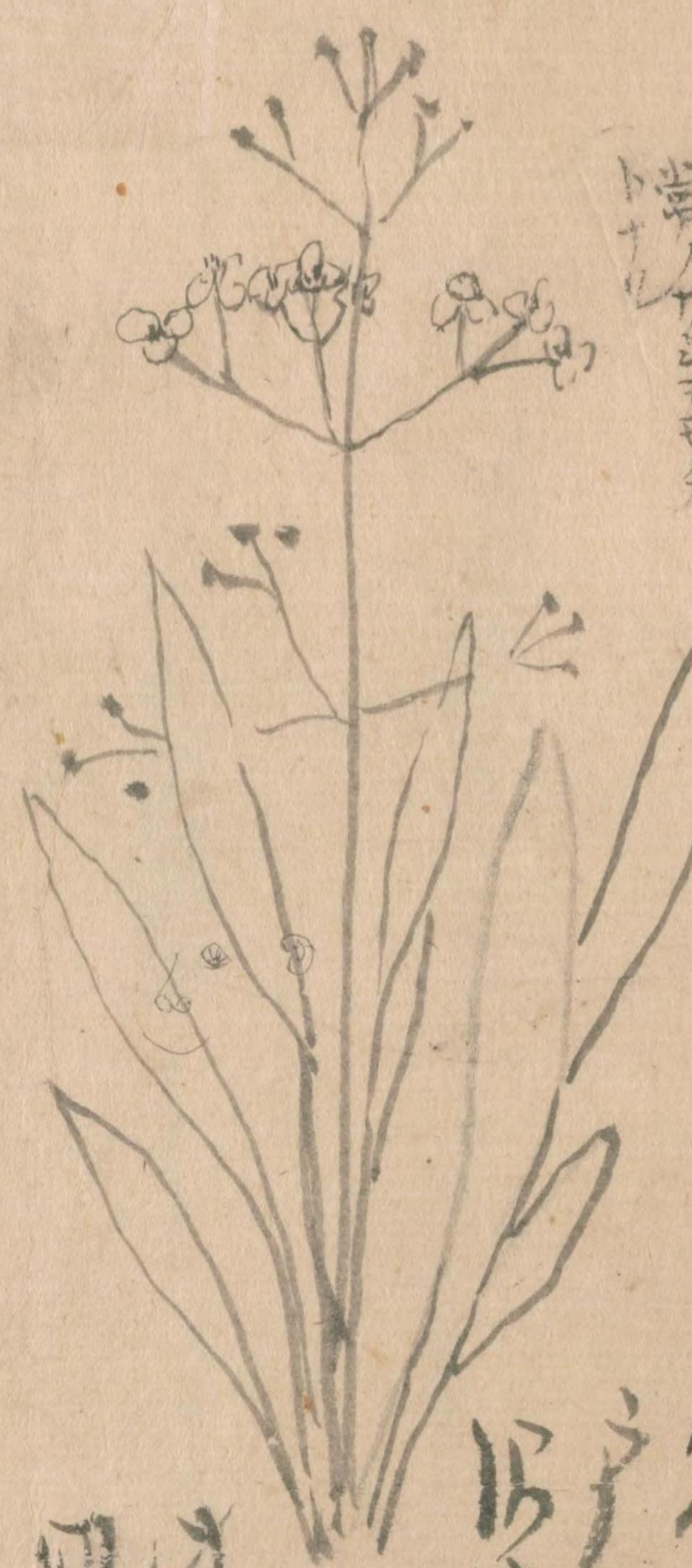


洋花秋

ガラス使用

ノカロ野

カしヨモダカノ花

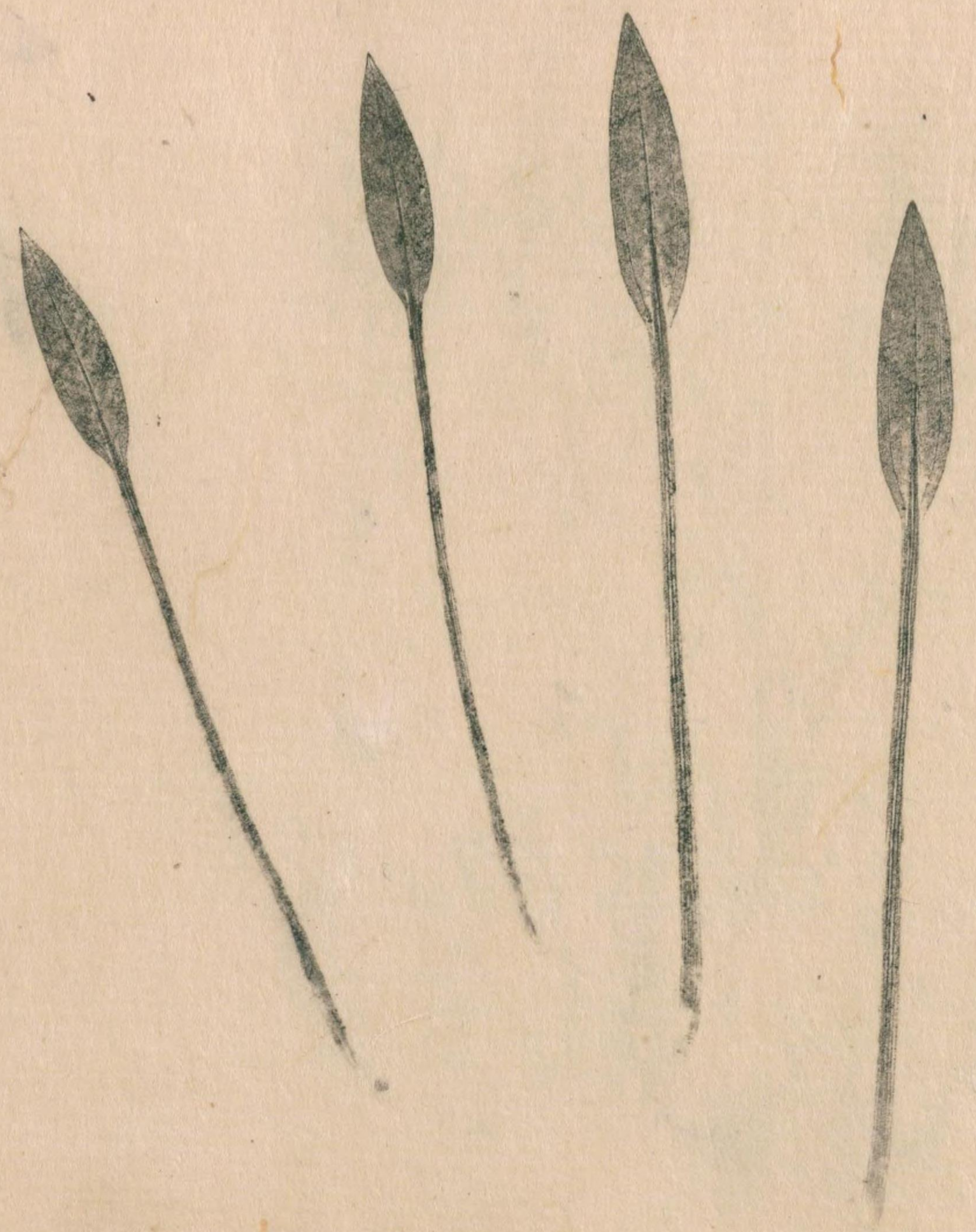


此種初出ニテ別種ナラス小塩二郎翁植置シニ其ケ年過ヲ得常ノサジヲモタトナル

先年庵㐂ヨリ江戸ニ於テ半川津ニ始メト系ヲリシヨリ図ハシ図カ之加入

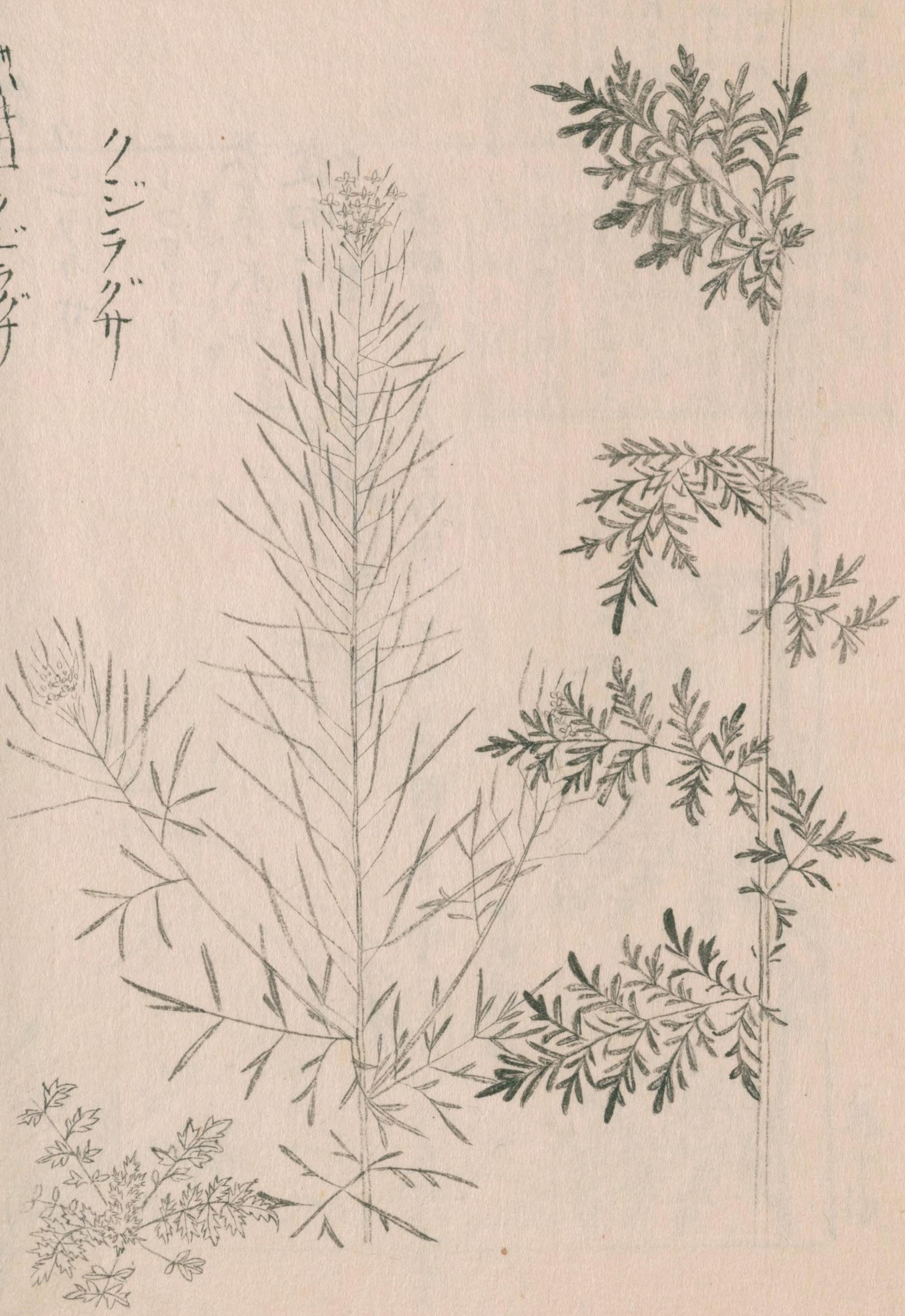
ク

ク卅七　クジャクサウハ羊歯科ニ入ル



クジラグサ

卅八井十五 クじラグサ

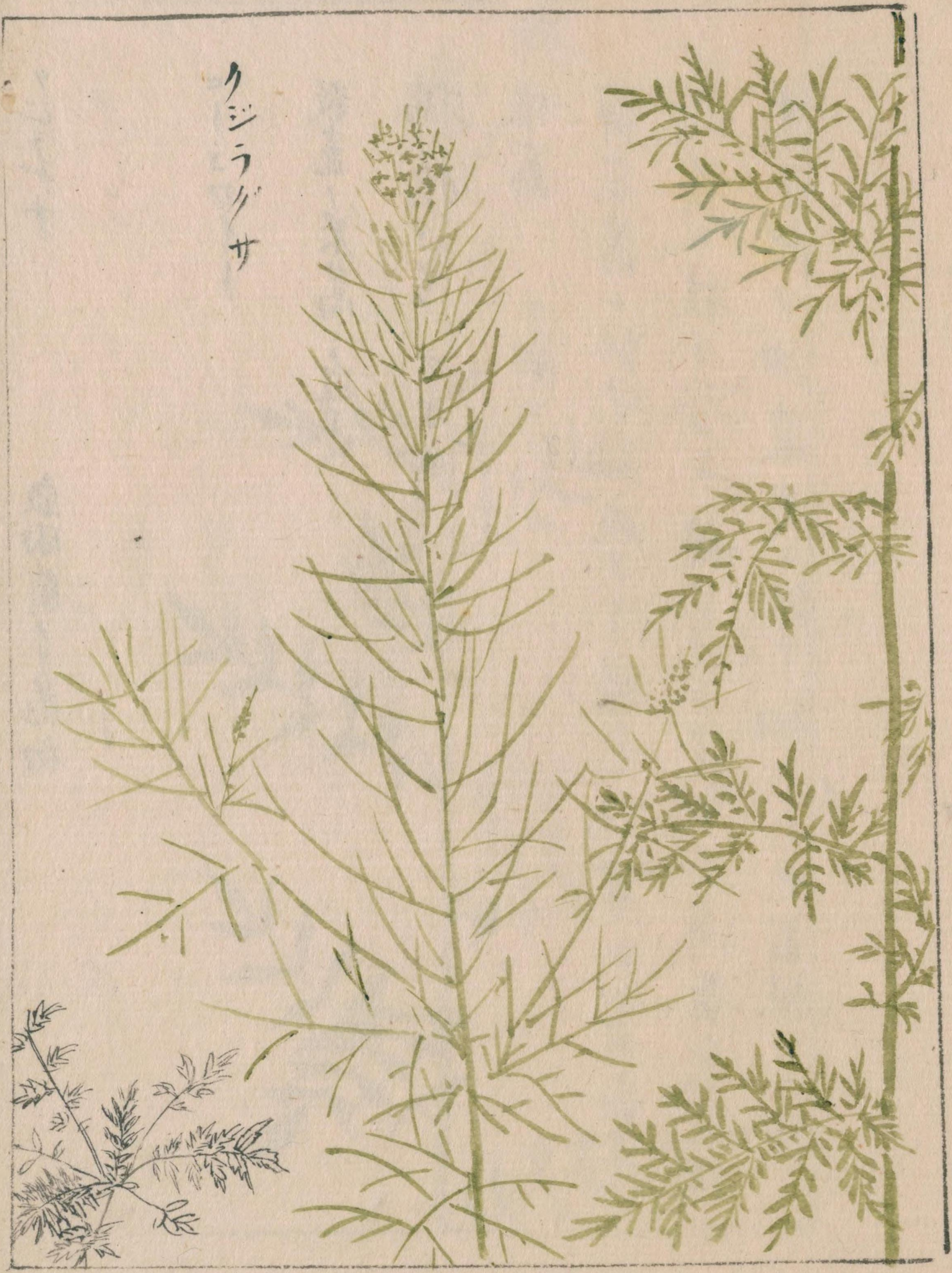


[illegible]　六十一

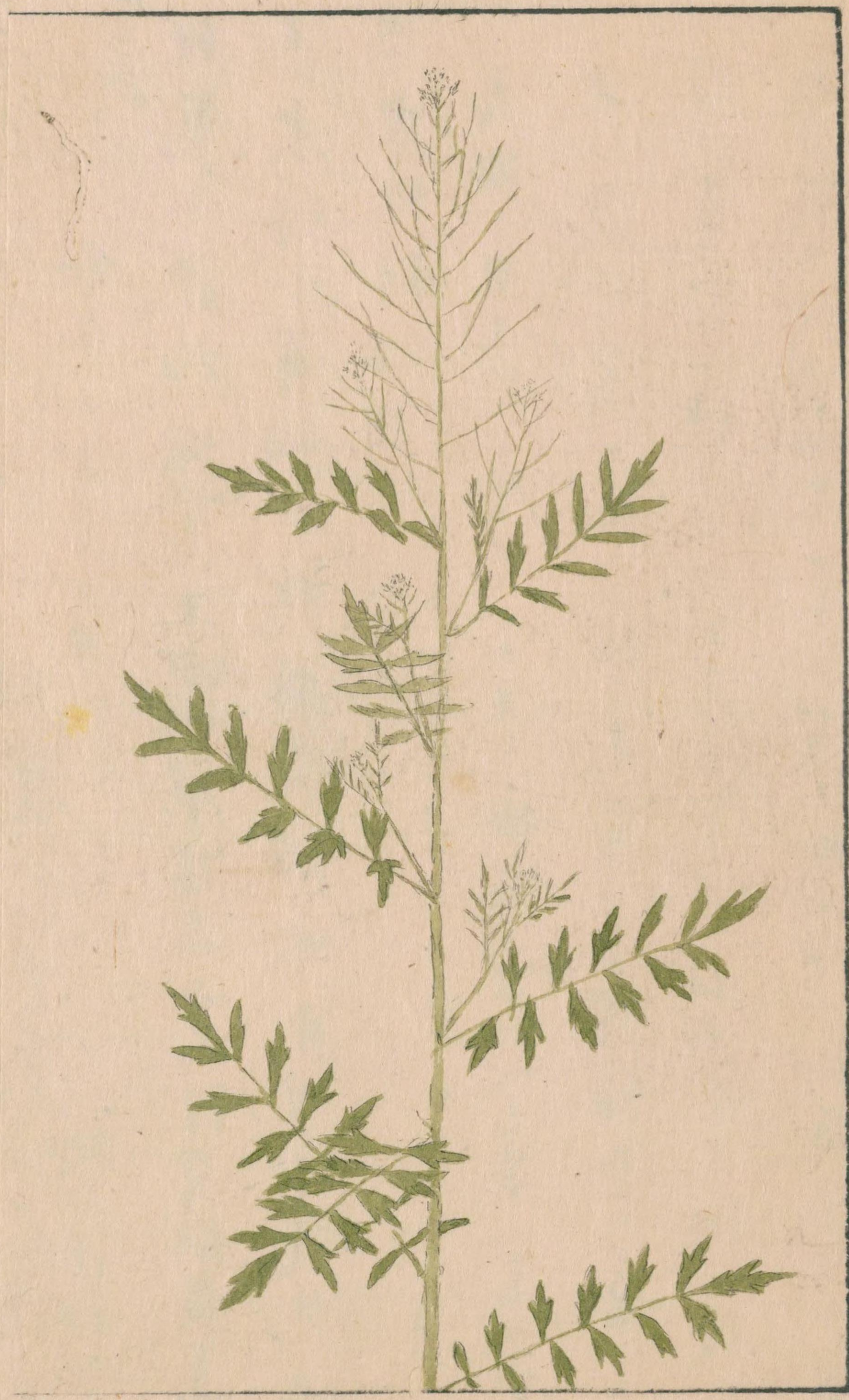
邪蒿（クシテリ）月枯ル（図略之）
一年草也秋種テ蒔ク翌年實ヲ結フ
枯茎高サ二尺許元紫色ニノ先淡緑色
枝アリ梢ニ花枝五六本出ス葉青ク蒿ニ
似テ小サク互生ス二月ニ花黄色銅辨
細キ角ヲ結フス ヘテタンゴナノ花ノ莢形ニ
花品紀聞　草園蔵
似テ密ナリ先年之甲州ニ多シト

クジラグサ
ヒーコロイト
救荒ノ米蒿ニ近シ
穀雨前ヨリ花ヲ初
クジラ草　尾州知多郡　草
色形画ノコトク二月頃ニ生長三尺程ヽ黄画ノコトクナル花咲実ナシ十
不分
中国譜志　七

に写



猪ケ洞



74

九六

〆卌八

クジラグサ　穀雨前ヨリ花初

ヒーコロイト

救荒ノ米蒿ニ近シ

播娘蒿　本草考（初ノ上）

播娘蒿　クヂラグサ

黄花蒿ニ似テ細岐アリ緑色ニノ帯白四月高サ二三

紀聞ニ有之

尺梢ニ枝ヲ分チ穂ヲナシ花アリ淡黄色花後小

莢ヲ結フ油菜莢ニ似テ細ク小也苗根共ニ枯

柹娘蒿

和名クヂラグサ

多識參考編上

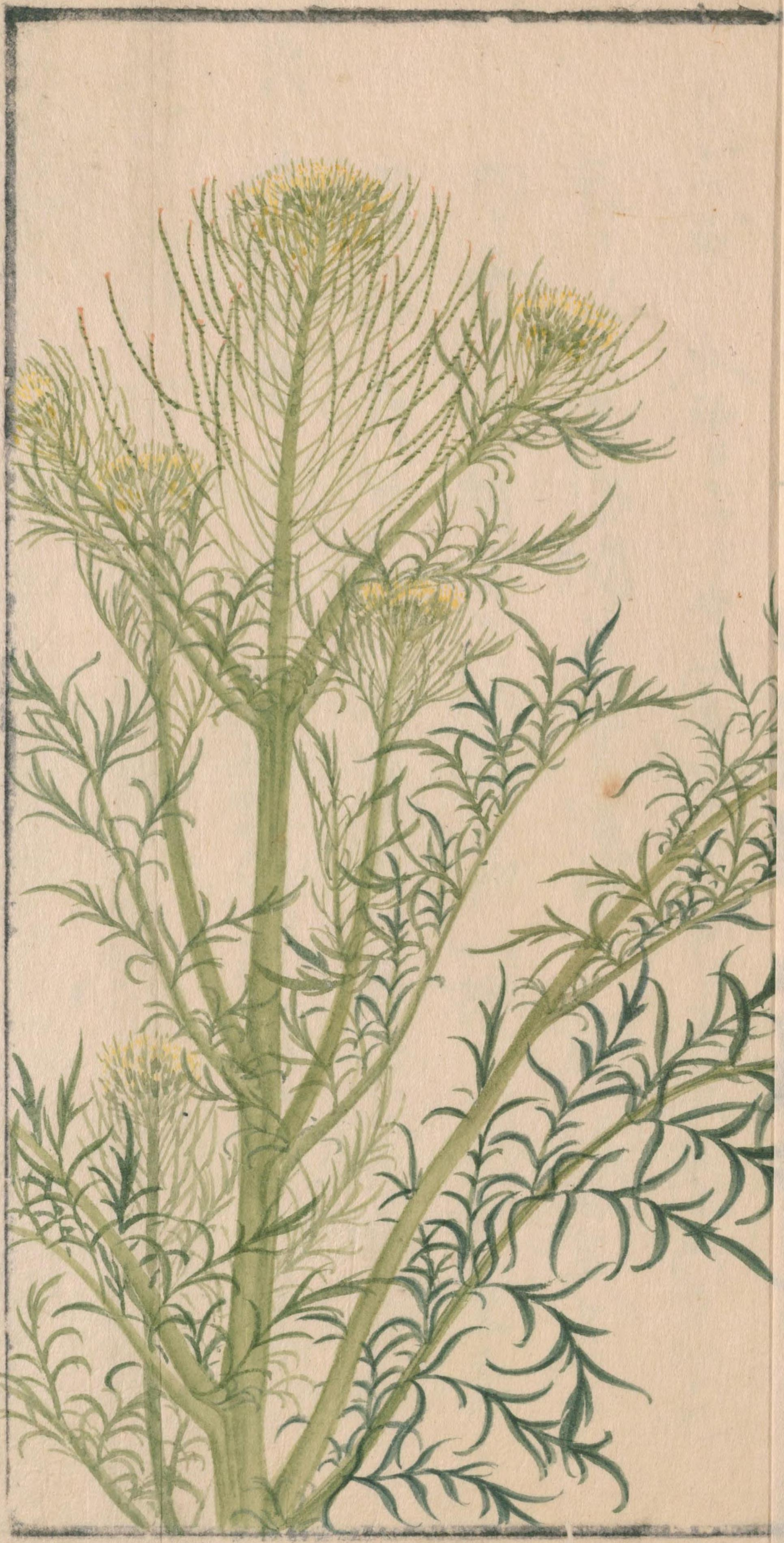
救荒本草柹娘蒿生田野中苗高二尺許莖似黄蒿莖其葉碎小茸細如鍼頗黄緑嫩則可食老則為柴苗葉味甜（有圖）

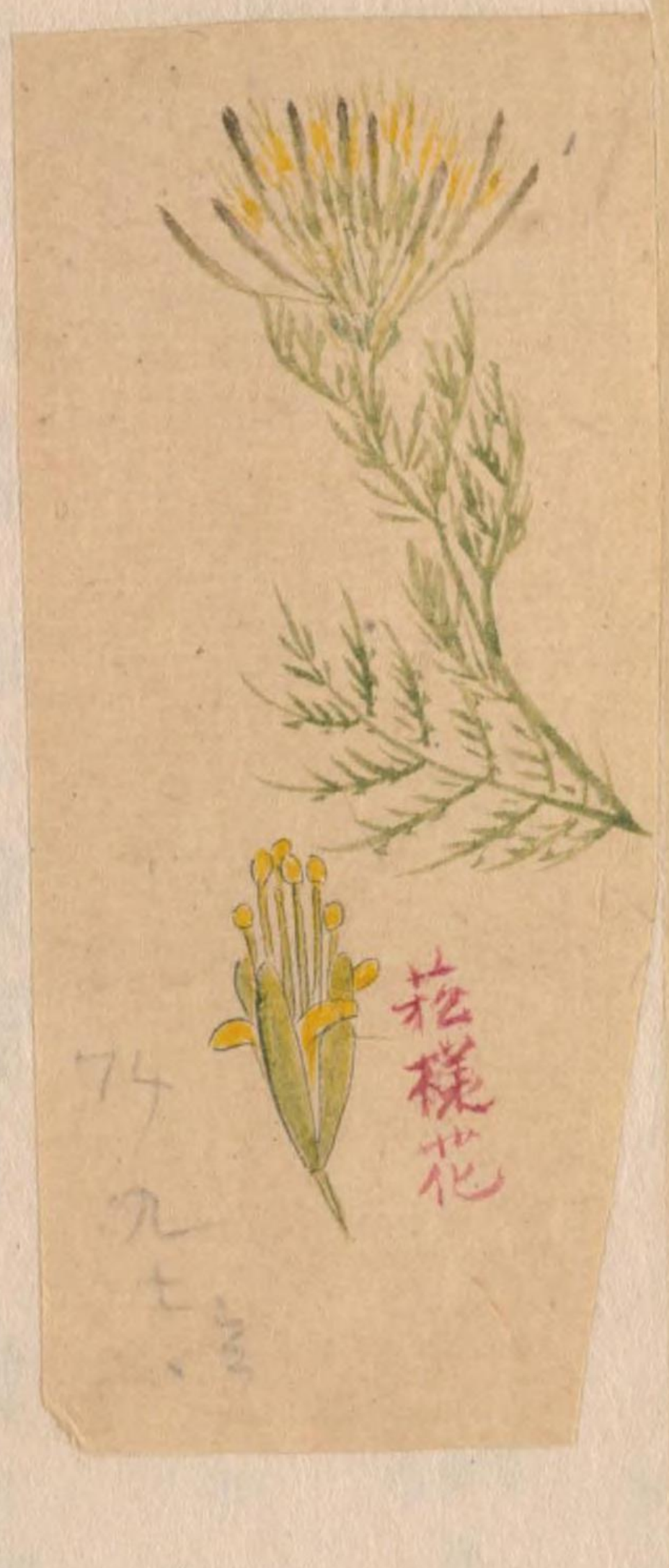
東國ニ自生アリ冬ヨリ子生ス嫩苗食フベシ苗ノ高サ二三尺葉ハ黄花蒿（クソニンジン）ニ似テ細ク毛茸アリ淡緑色ニシテ黄ミヲ帯ブ夏梢ニ穂ヲナシテ花アリ芥ニ似テ至テ細シ後ニ細長キ莢ヲ結ブ南芥菜（ハタザホ）ノ莢ノ如シ中ニ細黄ノ子アリ實熟シテ苗根共ニ枯ル古説ニ此草ヲ角蒿トス非ナリ又柹娘蒿ト角蒿同物トスル説アリ此亦非ナリ柹娘蒿ハクヂラグサ角蒿ハ和産未詳

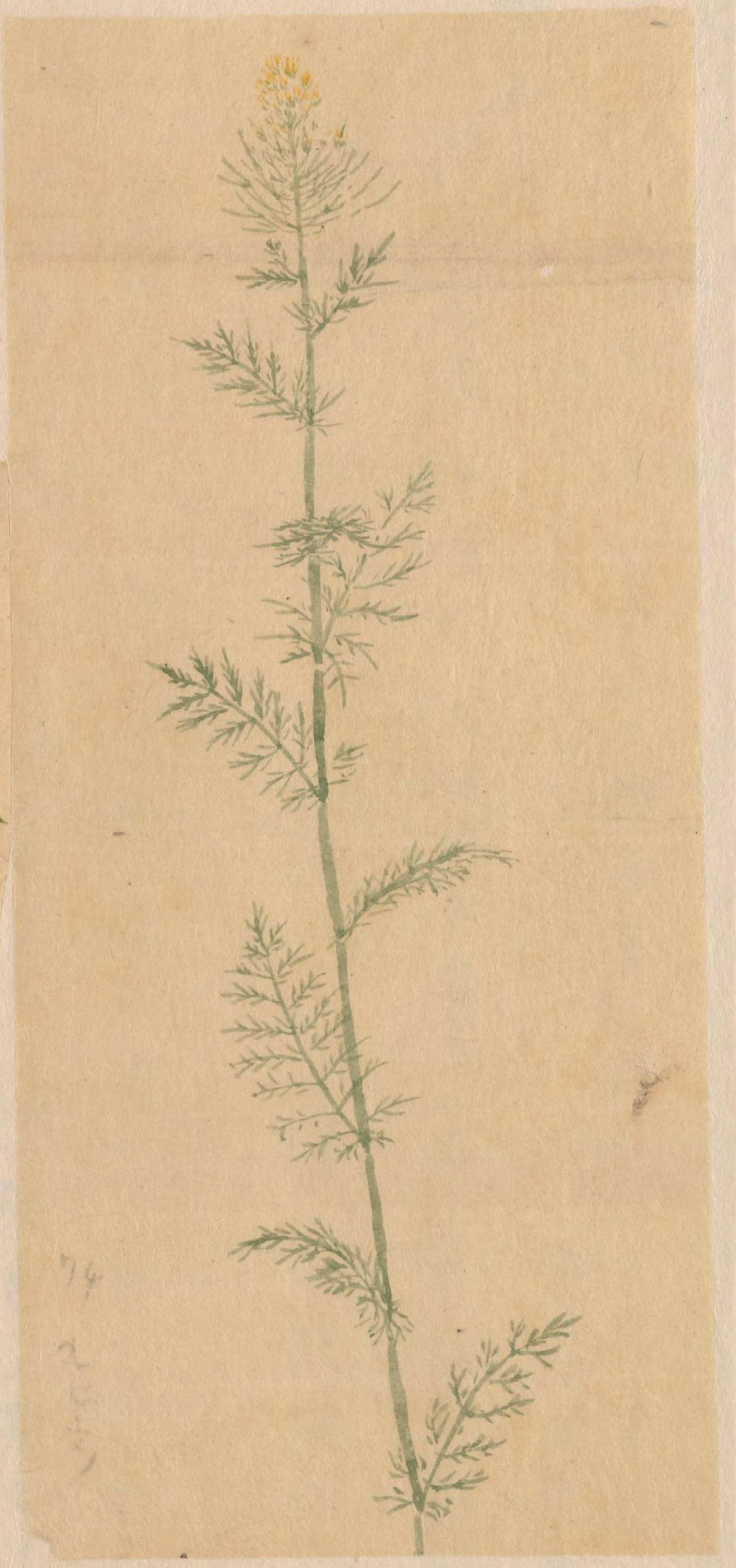
抱孃蒿

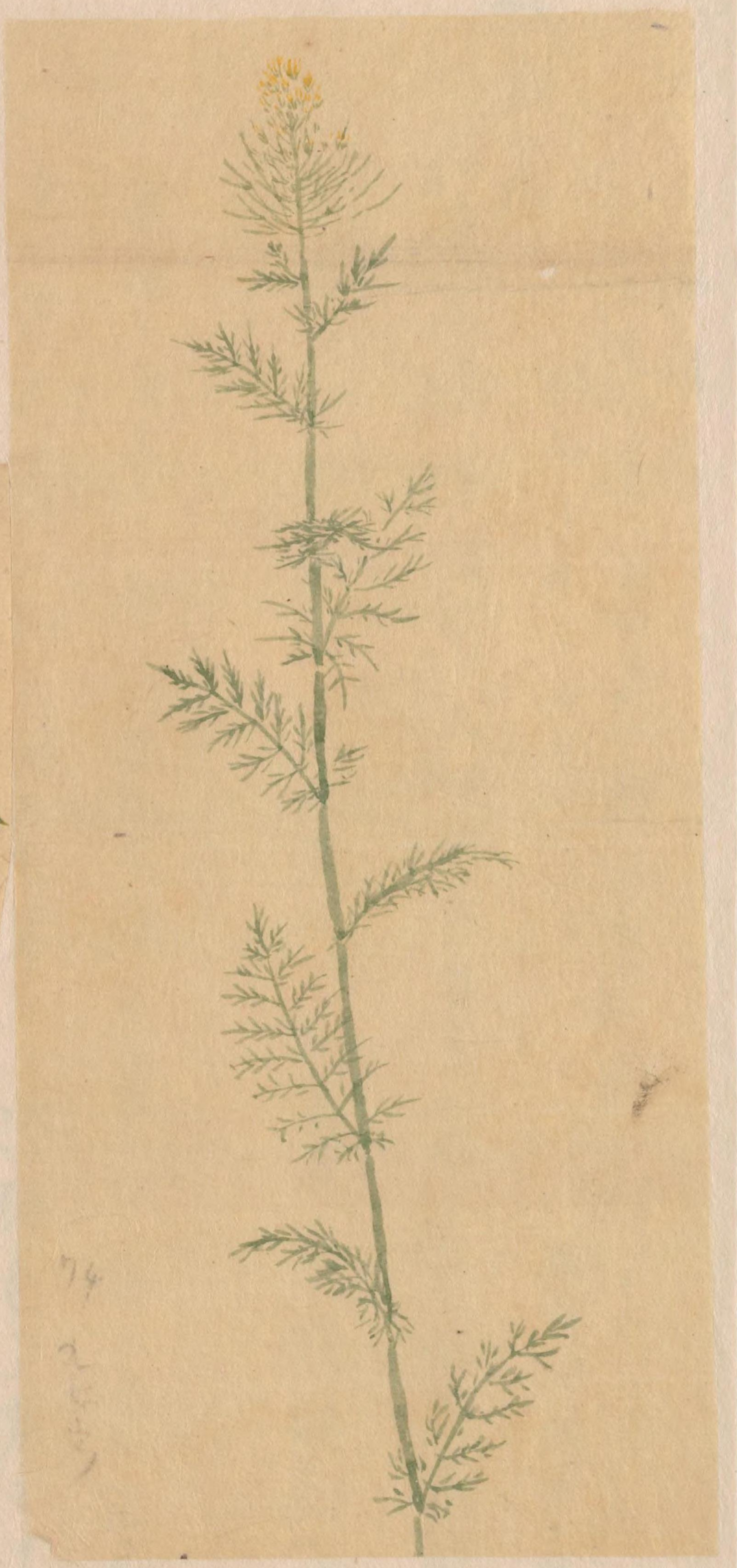
クジラグサ　卷之一猪牙菜ノ條ニ詳ナリ

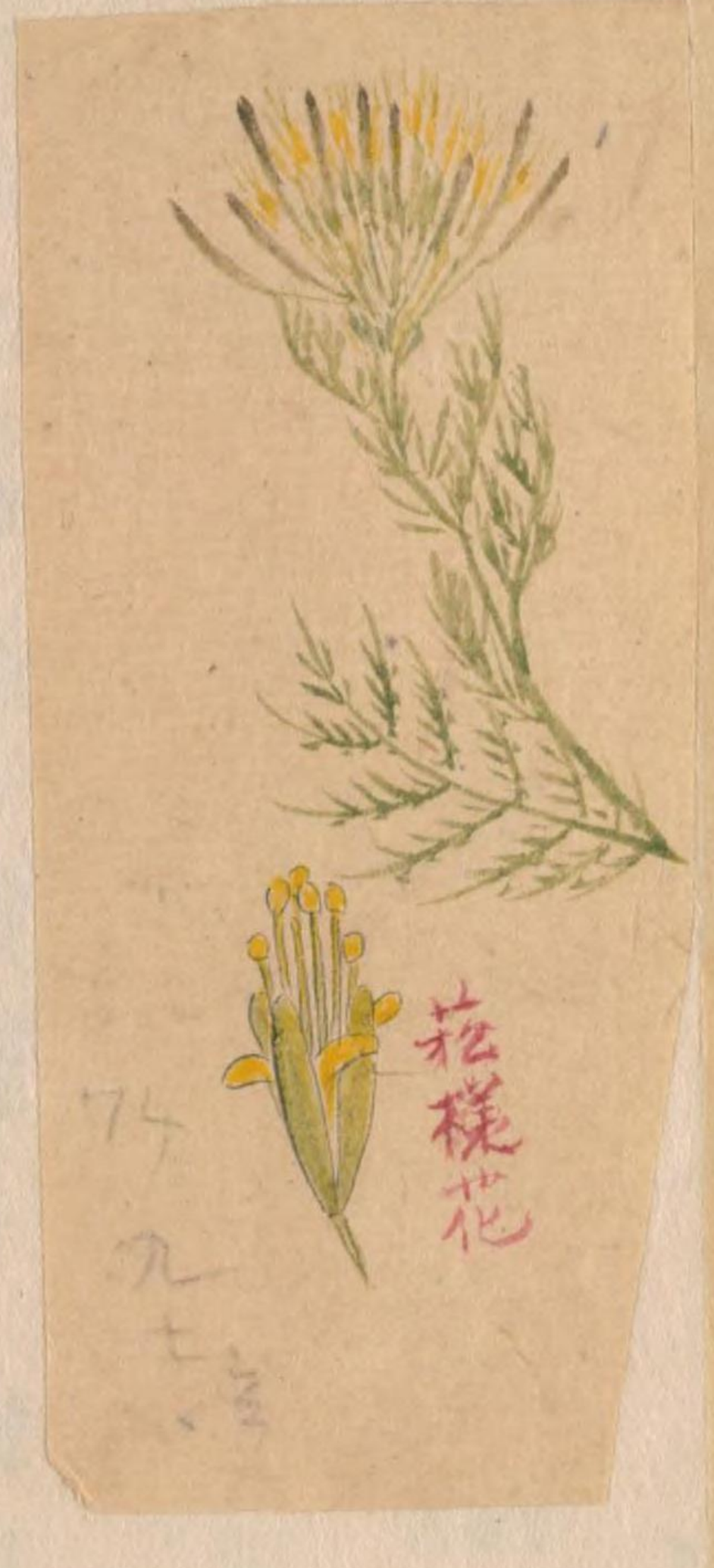
救荒野譜啓蒙




茲様花
74
九七三

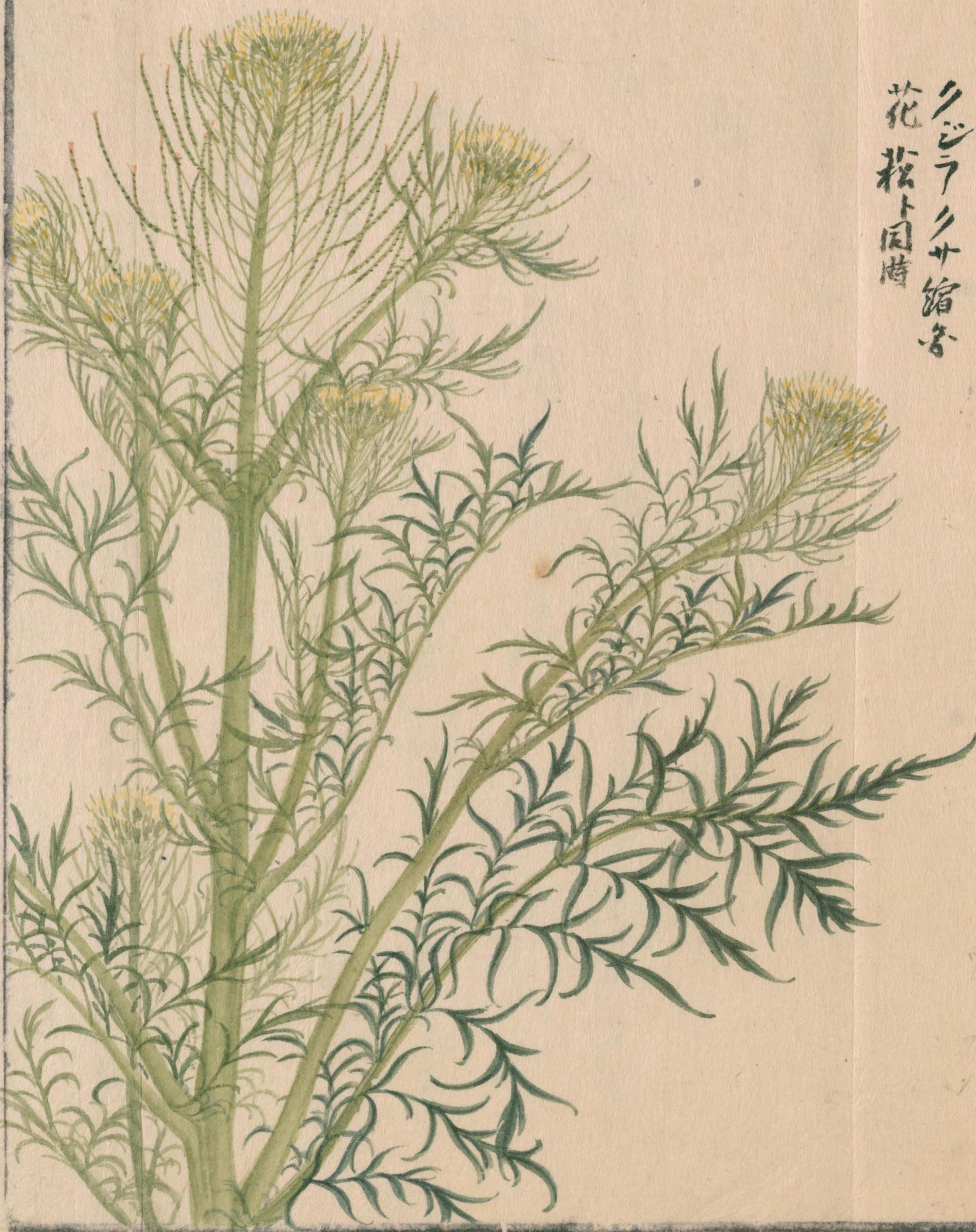

74
九七三





菘樣花

74



クジラクサ縮呇

花菘ト同時

ガラス使用

本艸録纂 巻之五

雑艸

クジラザ 木曽ニアリ青苔ニヨク似タリ又胡蘿蔔ニ似テ毛茸アリ黄色淡緑茎ニテ淡紫花ヲ開ク後小莢ヲ結ク内ニ子アリ宿根年ヲ経テ枯レズ 一種ノクジラザ茎青苔ノ如ク花ハ白シ即山生ノ[illegible]ノ美ナ京北貴船ニアリ又

リ

世ハ 古説ニ水苔ノクジラザヲ角苔ニ充ル非也 説前ニ詳ス

クジラグサ

播娘蒿

伊藤ノ多

新撰物品識名 全

播娘蒿 岩崎ノ救荒ヽヽ云 クジラグサ
田村右田ノ畦畔皆クジラグサヲ荒ク繁セリ
甲州又武州ノ川辺秋月子ヨリ生ス葉ハ野
同蒿ニ似テ細密又葉ハ艾蒿ニ似テ微白色
ヲ帯夏月茎高サ二三尺形又茎上葉ニ似タリ
細小ノ淡黄花ヲ開ク後細長ノ莢角ヲ結フ中ニ
子甚小ナリ花葉足レハ苗根皆枯此證元日高
人ノ説モ一ナラズ猶能ク考ヘベシト云

ガラス使用

○クジラグサ　（ヒトコロイド）

冬ヨリ苗ヲ生葉形青蒿ニ似テ細小春ヨリ莖臺ヲ起シ三四尺ニ至リ穀雨前ヨリ梢ニ淡黄色ノ四弁ノ細小花ヲ開後細長莢ヲ結ブ熟スレバ自ラ裂テ細子落テ秋後又苗ヲ生ズ

一クジラグサ　川越辺

ク邪○　上州信州上田ヨリ松代ノ間ニ得之クジラノ升

○邪蒿　クジラ弁　葉青蒿ニ似テ細軟季春小碎瓣ノ黄花ヲ開角ヲ結ブ甲州ニ多ト云小野氏ハ伊吹防風ヲ邪蒿
邪ハト云

朝鮮ノ百花天文正宗

クジラグサ

ガラス使用

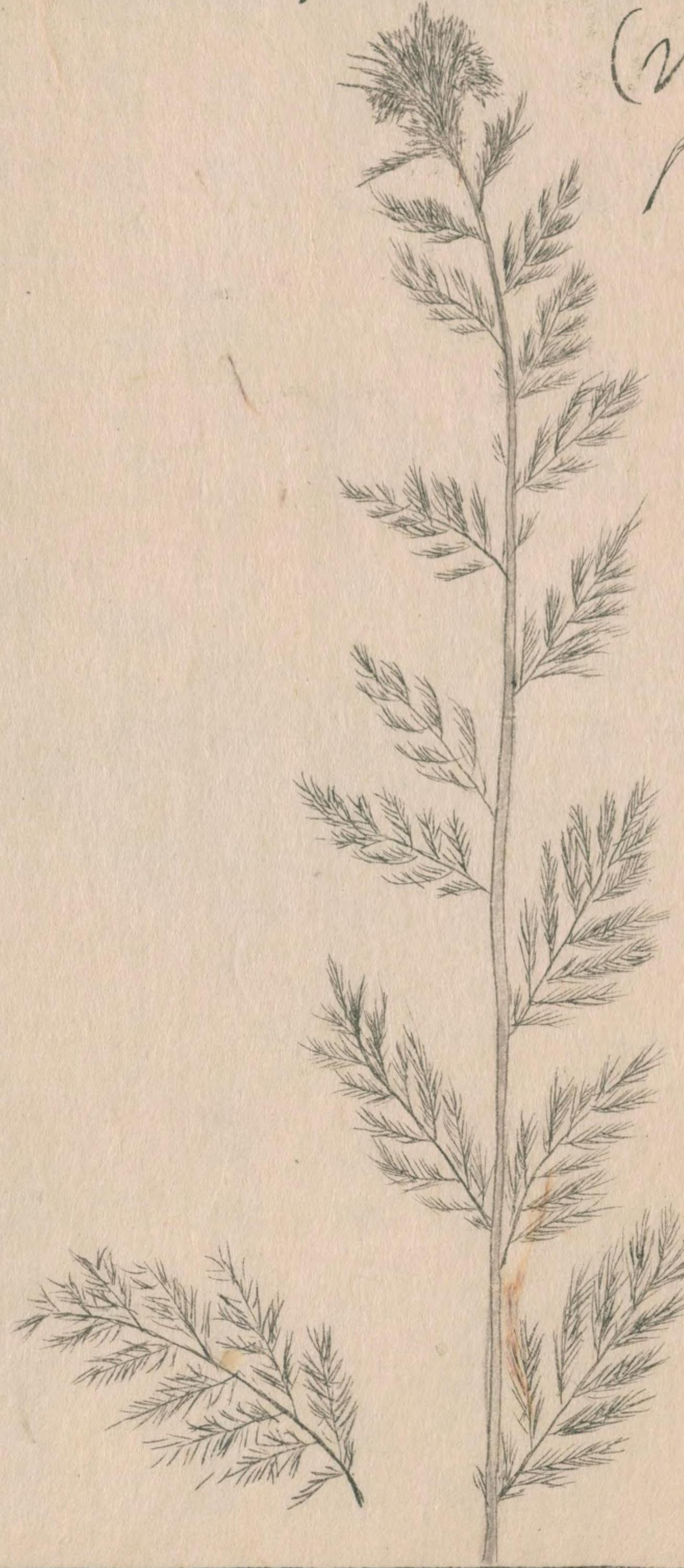
八十五

Sisymbrium Sophia.

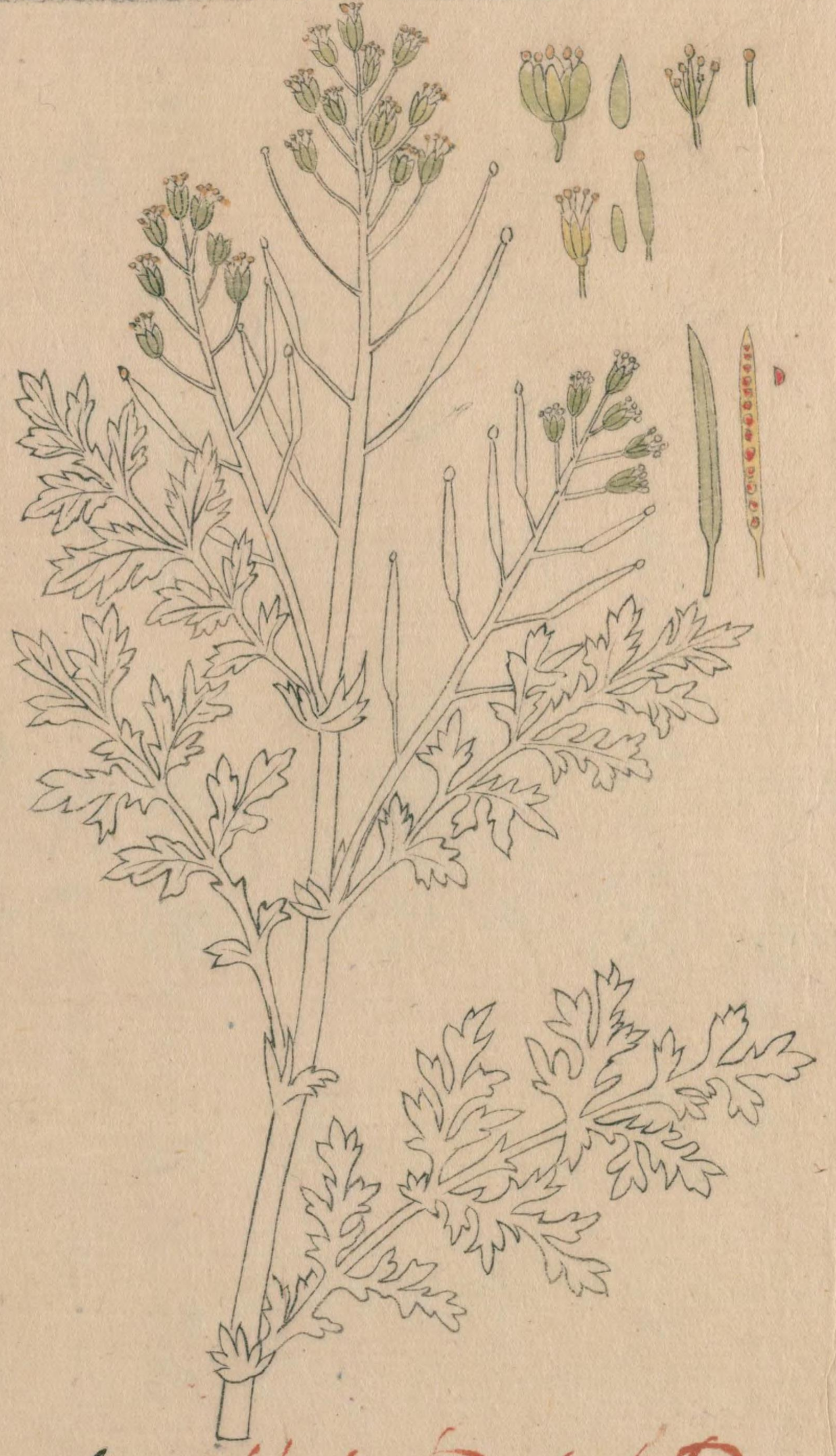
(Vaürkruid, friekkruid)

クジラグサ
角蒿

クジラグサ



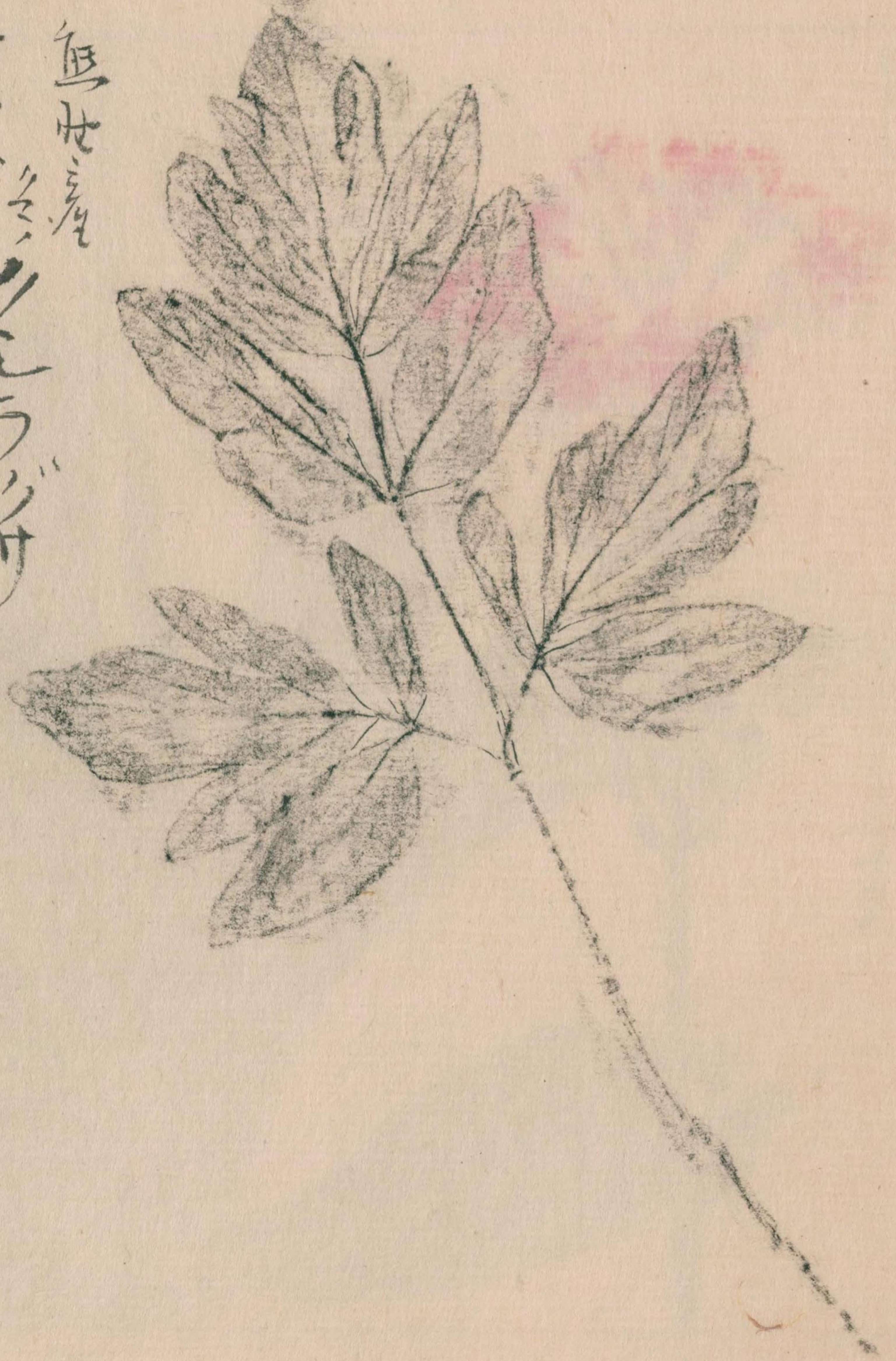
十六



Vaürkruid, fiekkruid

Sisymbrium Sophia. L.

十五個



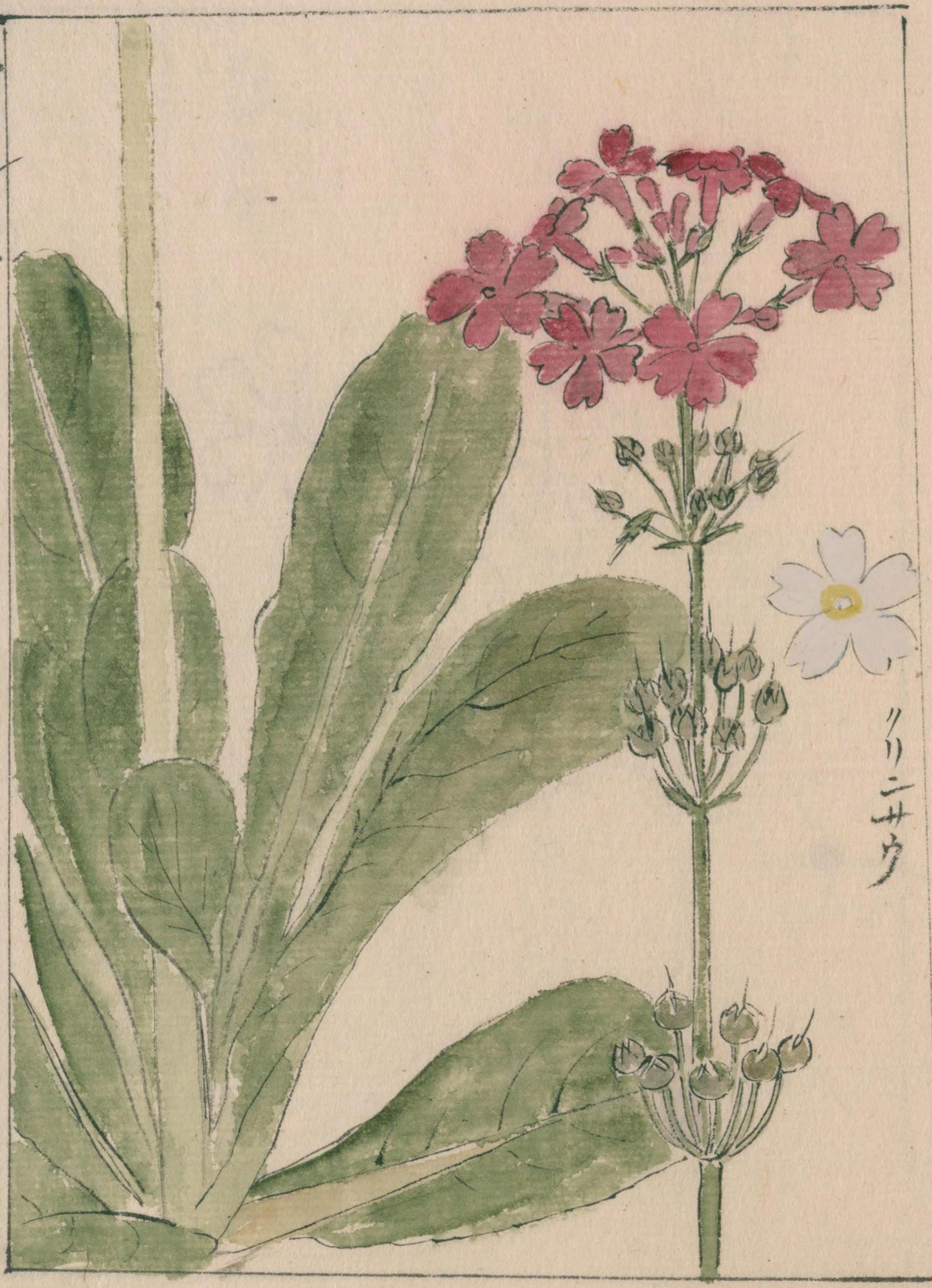
救荒啓蒙一

猪牙菜　即角蒿　未詳

今クジラグサニ充ツ的當ト云ニアラズ

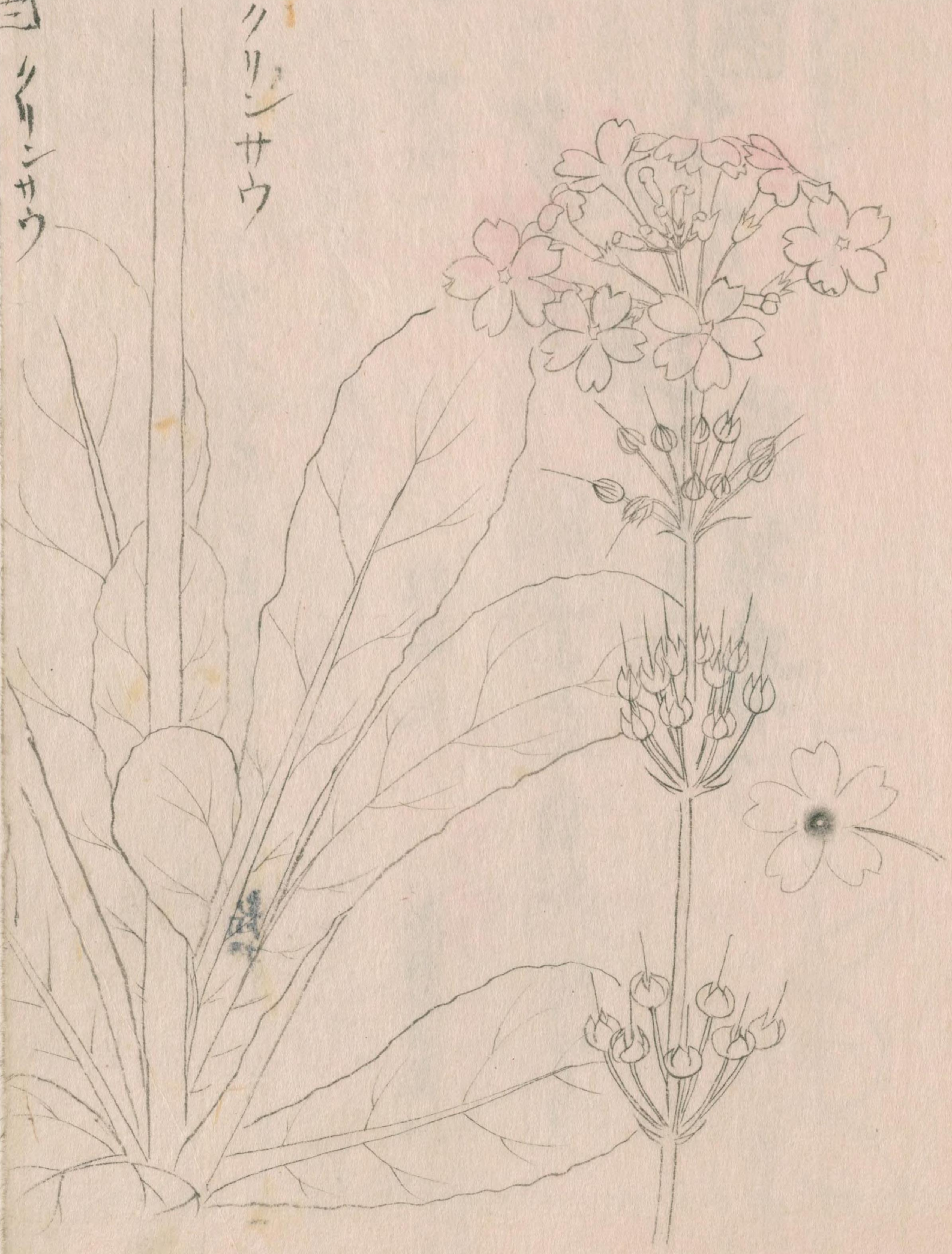
此草信州邊ニアリ方言クシラグサト云葉形青蒿葉ニ似テ毛茸ナク深緑色夏月莖ヲ抽ク高サ七八寸梢ニ花ヲ生ス淡紫色後小莢ヲ結フ内ニ子アリ罌粟子ノ如シ年ヲ經テ枯レズ本草蘇恭説云子似王不留行ト云ニ不合ス

クリンサウ

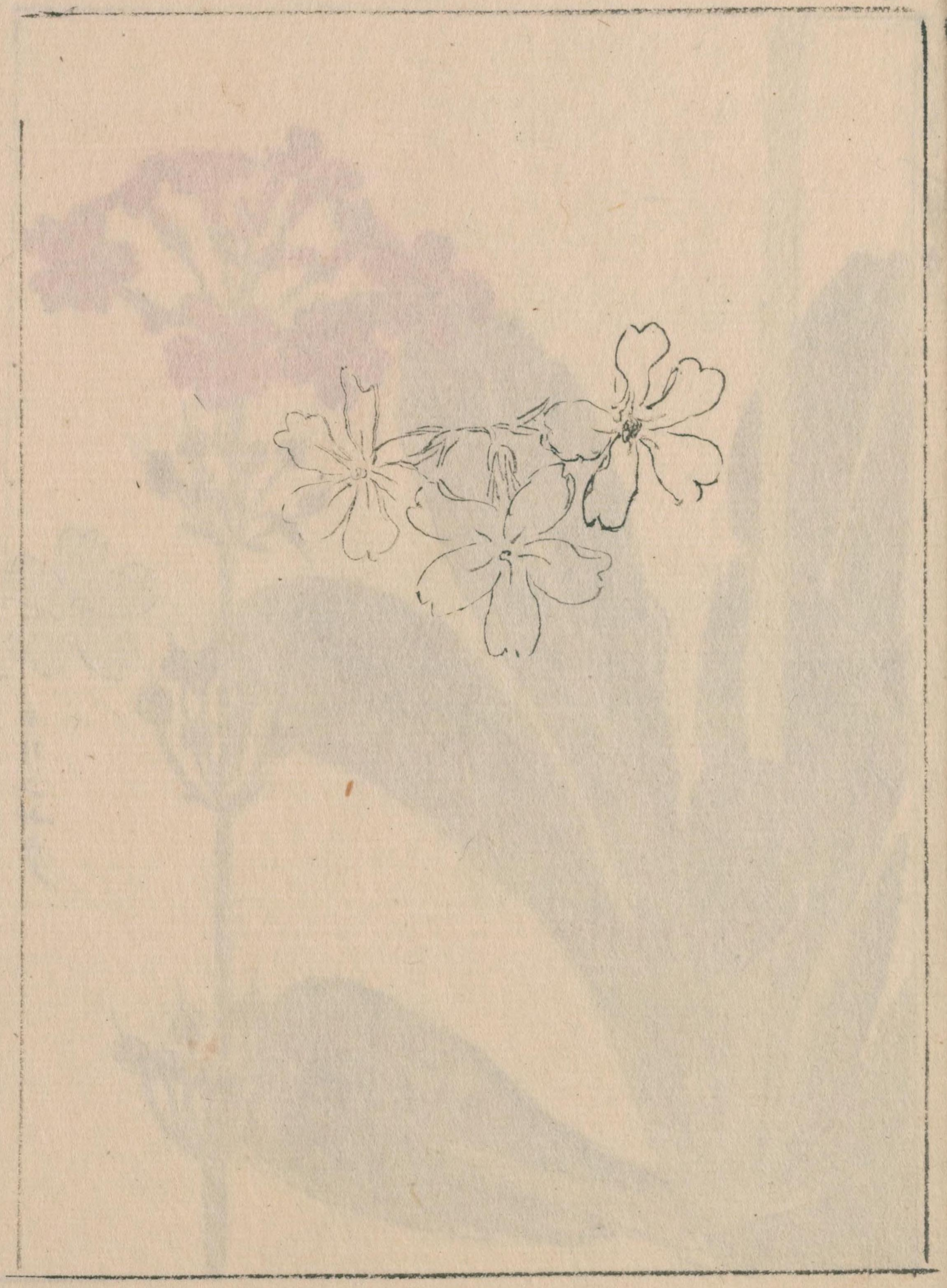


雑卜内

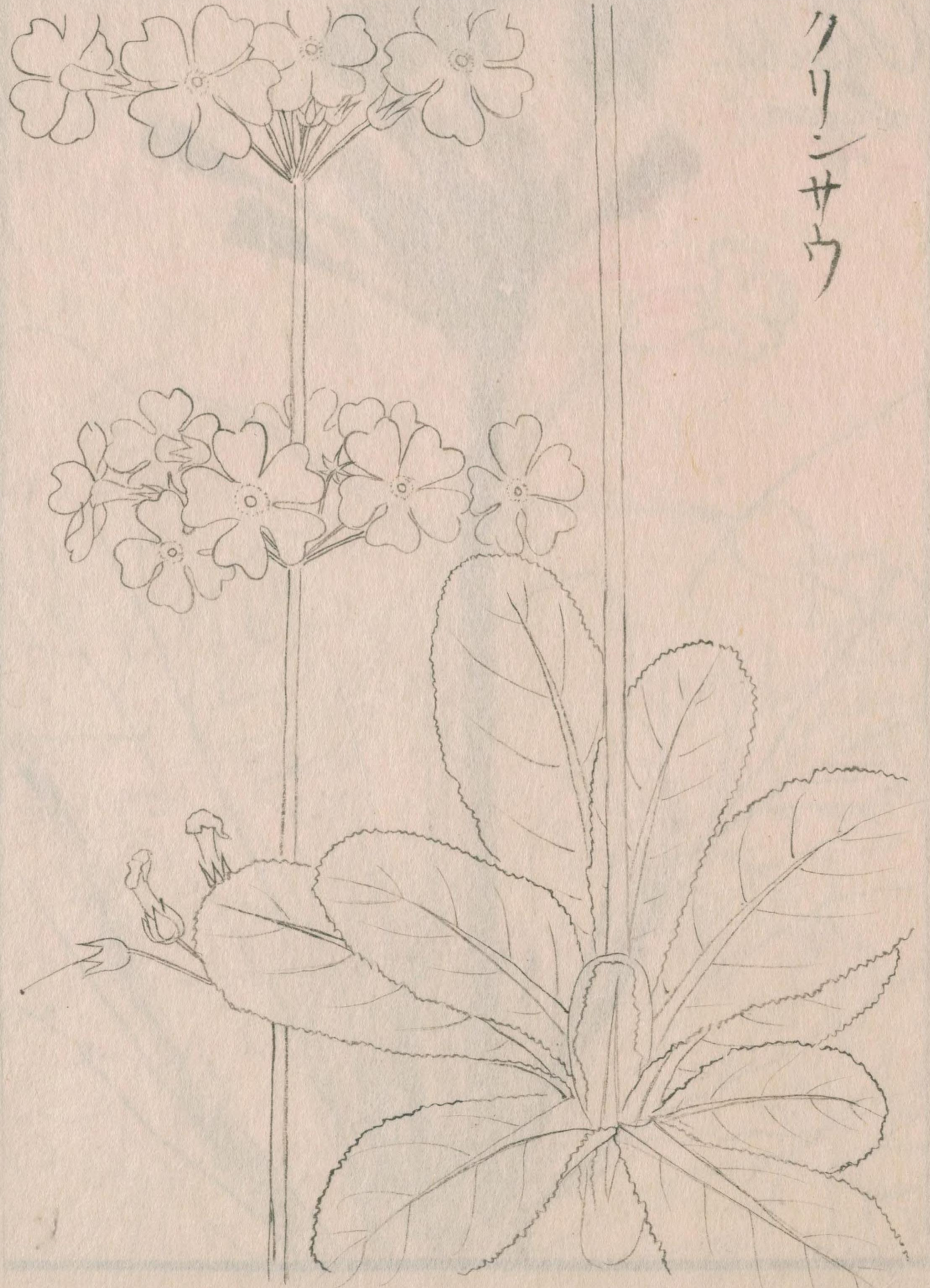
英国 クリンサウ



74
一〇五



廿



しちぢうさう　七重草也花ニ五色有ニ咲分ありて七重までふ

咲り伊豫にて九輪草といふ

[illegible]

旌節花

[illegible]

新撰物品識名　全

クリンサウ

一 クリンサウ　俗[illegible]長　駒岳ニモ自然生アリ

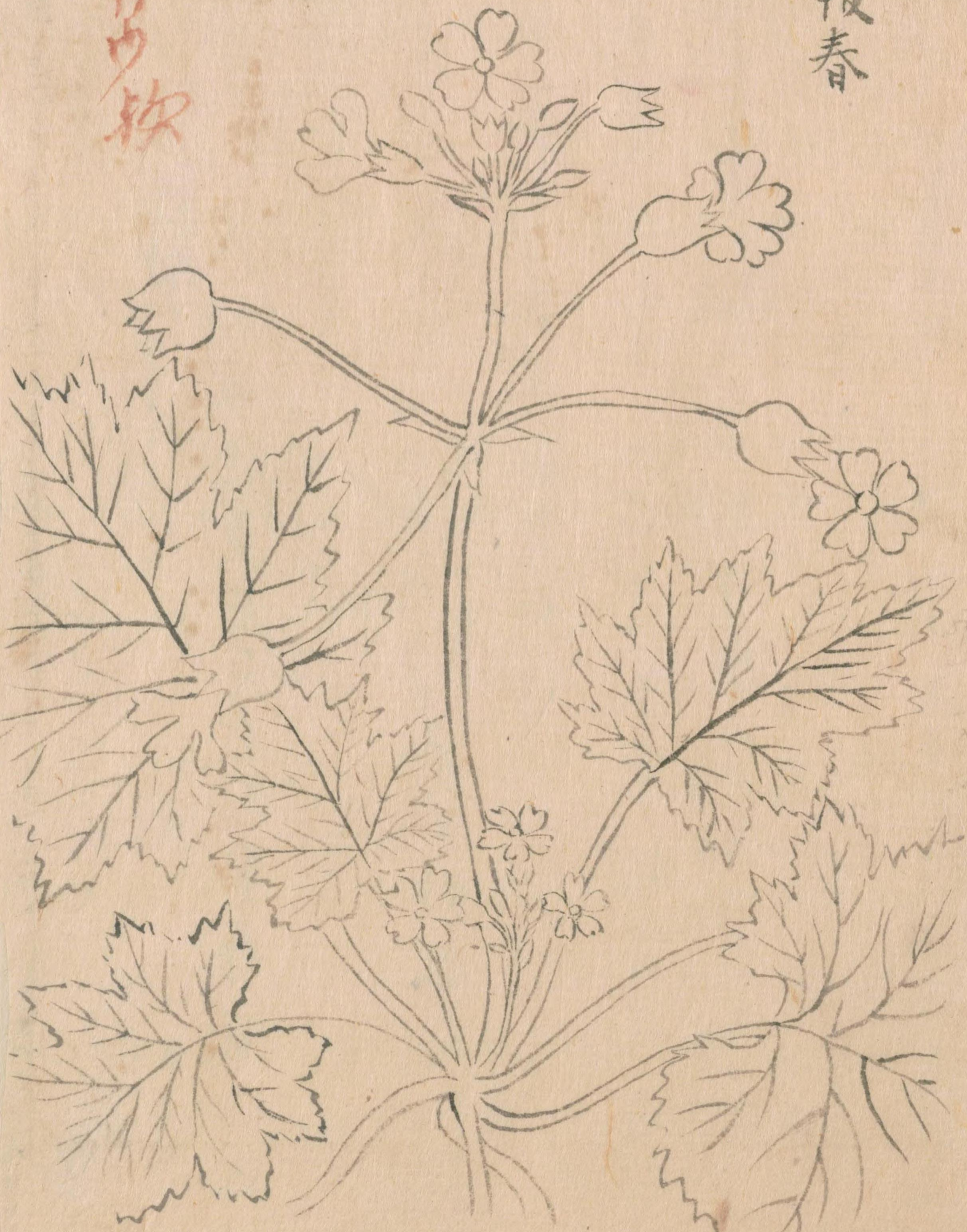
[illegible] 廿九

[illegible] 廿九ノ廿九丁 三分一 [illegible]

蔵報春口ヽ

藏報春

クリンサウ歟



一

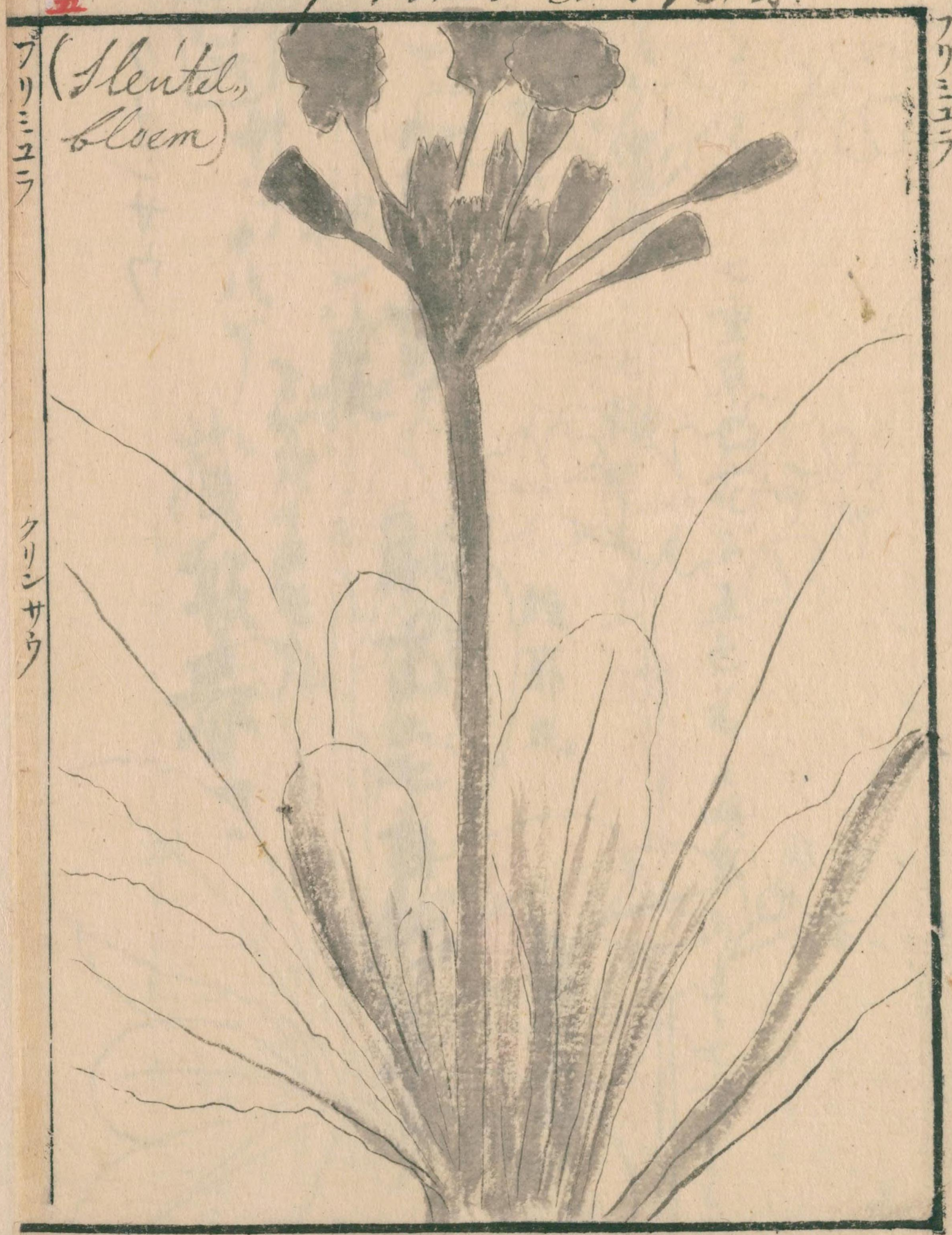
二五

Primvla Veris

フリミユラ

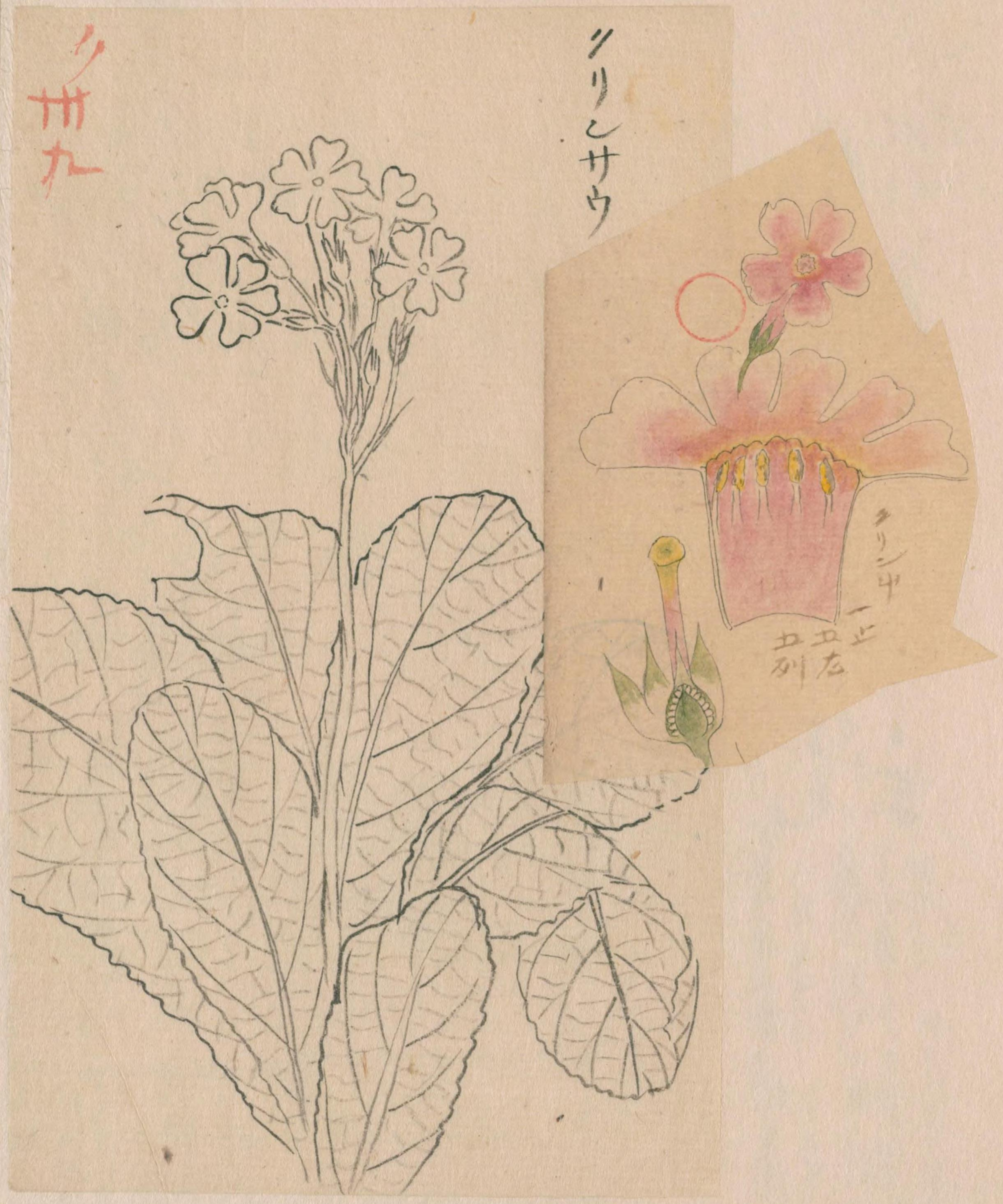
(Sleutel, bloem)

ブリミユラ



クリンサウ

ガラス使用



旌節花

和名クリンサウ

石和芳三コン上

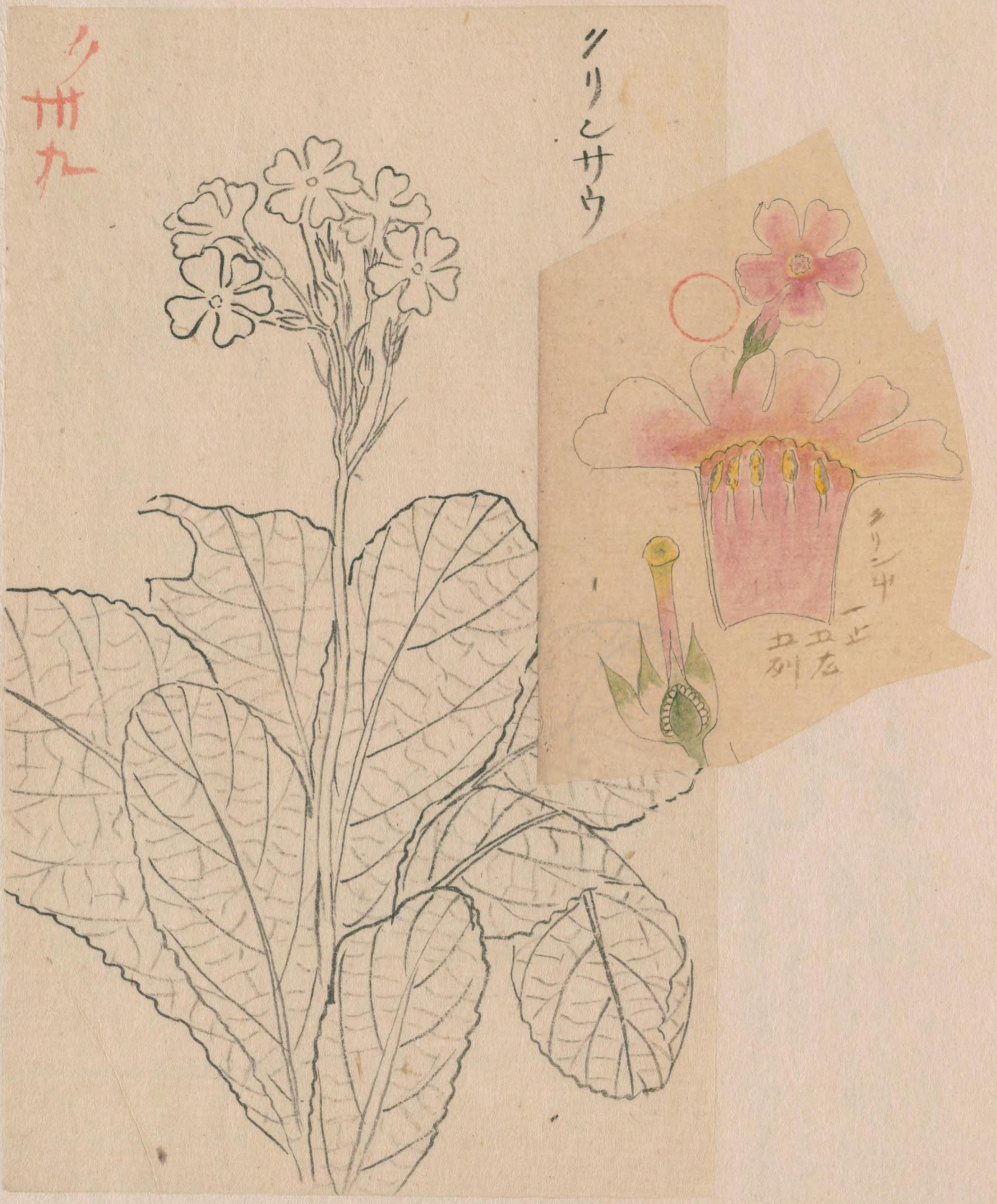
四川通志　旌節花成都出枝直上花色紅紫層發如旌節ニ葉碧類百合

群芳譜　旌節花高四五尺（格致鏡原作去地二三尺）花小類ニ茄花ニ俗謂為ニ錦茄兒花節節對生紅紫如ニ錦

錦茄兒花　群芳譜

俗呼九輪草亦名九重（カイ）草（サウ）葉形似櫻草花廻莖攢生形如車輪莖花自三重至九重大和本草曰有七重草蘭山先生曰七重草即九輪草一名也　常陸物産志八上

古人モクリンサウニ充ツル説アリ先賢非[illegible]今再[illegible]



旋節花

和名クリンサウ

百品考 三之上

四川通志旋節花成都出枝直上花色紅紫層發如旋節葉碧類百合

群芳譜旋節花高四五尺（格致鏡原作去地二三尺）花小類二茄花一俗謂為二錦茄兒花節節對生紅紫如レ錦

按ニ旋節花ニ草本木本ノ二品アリ木本ノ旋節花ハ廣群芳譜滇幢小品等ニ見エタリ先師蘭山先生マメフヂニ充ツルモノ是ナリ草本ノ旋節花ハ今引用スル二書所レ説是ナリ古人モクリンサウニ充ツル説アリ先賢非ナリトス今再考スルニ

緑華緑花クリンサウ
リ画 図廿九
リ花鏡春 クリンサウ不詳
リ廿九 図 廿九

旌節花（益部方物異記 王氏彙苑）
九リン草 七重艸 ホウトウケ
葉初生毛連菜葉ノ形ニ似テ中
廣ク厚ク間尺アリコマカニ鋸歯アリ

布地生春莖ヲ抽ク一尺許為層
八九重一層数朶櫻草ノ形ニ似タリ
花色紅白紫絞リ等アリ 日光言
ホウトウケト呼彼地矮生アリ南
京ホウトウケト云

クリンサウ 品物[illegible]
シチジウサウ 九蓋花（草木花譜）

リ廿九
九輪草 リニ
花名集
一名保童花
一名七重草

此草 葉ハ櫻草のごとくして大ましく花を
く花を葉の中より出して 花七重に車 咲なり
花形ハ櫻草の大きなるかくし 花ぶさの多かり
ての年を色紫深紅白黄と云不珍
おなり 花多くして車に咲なり

九輪草 漢名未詳
能州宝達山陰湿ノ處ニ産ス春宿根ヨリ苗ヲ生ス
草形櫻草ニ似テ微大毛茸ナク筋紫色光澤有テ地
ニ布ク花莖ヲ抽スルコト二三尺莖頂花ヲ開ク形チモ
亦櫻草ニ似テ澤アリ車輪如ク七段ニナル故ニ賀州
ニテ七カイソウト云フ色ニ白淡紫淡紅斑文紅粉ノ品
アリ
加陽本草ニ見ユ

リ廿九 クリンサウ 花ぶし
花鏡春 図 廿九ノ十一

志ちぢうさう 七重草なり 花は五色ありて咲ぶ あって 七重まで不咲
リ 伊豫にて九輪草といふ
和訓栞 巻ノ十

クリンサウ

○クリンサウ　　サハバタサウ

ミチダンサウ　　ミチヂウサウ

ミヤクニチサウ野州九条花峠

ジユベルスレウテル

ミチリンサウ

ミチトウクハ

城州貴船ニ自生アリ葉油菜葉ニ似テ円ク鋸歯アリテ

厚ク皺文アリ葉中ヨリ茎ヲ抽キ穀雨後ヨリ

花ヲ開小満後ニ至ル茎上三四節ニゴトニ数花トリマキ開紅

紫白浅紅浅紫間色ノ数品アリ後実ヲ結

Primula Japonica Gray. bot. Jour.

燚クリンサウ

○旋

初

アリ

花ノ

地

九輪

九

九輪

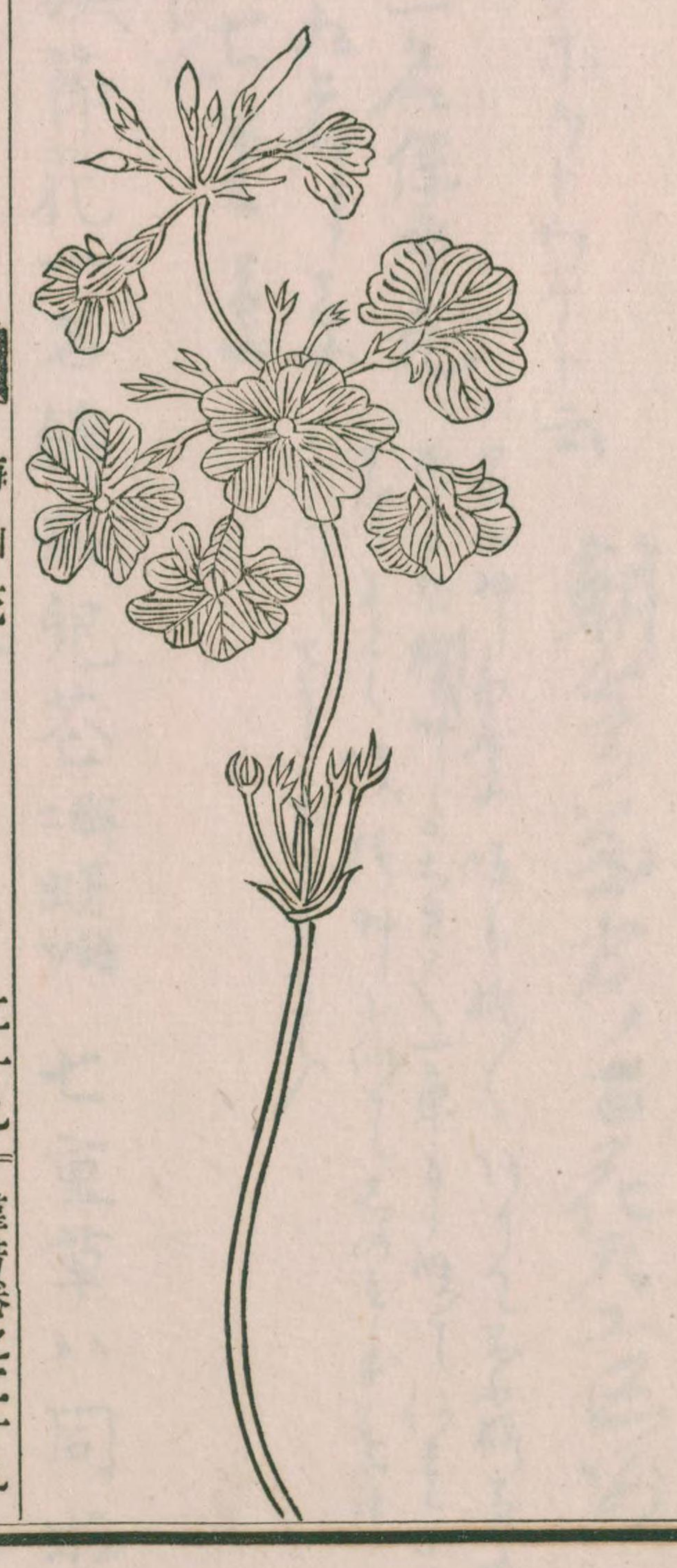
此海仙

花ナラン

其[illegible]

○追考

海仙花



植物名實圖考

海仙花

二十九

羣芳卷之二十九

奎文堂刊行

海仙花

海仙花生雲南海邊紫莖獨挺繁花層綴五瓣缺唇嬌紅奪目土人夏日持售於市曰三台花以花作三層也其葉如萵苣

ガラス使用

○旌節花（益部方物異記　青日札王氏彙苑）　九りん草　七重草　ホウドウケ　葉初生モ連茉葉ノ形ニ似テ巾廣ク厚ク潤沢アリコマカニ鋸歯アリ布地生春茎ヲ抽ヿ二尺許為層八九重二層数朶櫻草花ノ形ニ似リ花色紅白紫絞リ等アリ日光方言ホウドウケ彼

卅九

地矮生アリ南京ホウドウケト云

朝鮮筆者ノ百花天工匹以

ク卅五

九輪草

花名集

一名保童花
九節草
七重草

[illegible]

九輪草　漢名旗節花一名綿茄兒苍（群芳譜）　七重草ハ同物ニ天台山谷川筋ニアリ葉形櫻草ノ如ニソ大ニ苍車輪ノ如ク重リ着ク九重七重ニナル花ハ櫻草ヨリ小ニ紫赤白アリ又色々ニ変ズルニ

大和本草ニ為許

74

クリンサウ

○クリンサウ

クリンサウ

シチダ

ヒヤクニ

ジユベル

城州貴船

厚ク皺

苍ヲ開小満

紫白淡紅淡紫間色ノ数品アリ後実ヲ結

Primula Japonica Gray. bot. Jap.

添 クリンサウ

九輪草　漢名不詳葉ハ本細ク末濶ク春
不老ノ葉ニ似テ鋸齒皺文有テ春不老ヨリ小ク
櫻草ニ比スレハ肥大ニシテ尺ニ及フ四月莖ヲ
抽テ又尺餘花ヲ着テ櫻草ニ似テ蕚ヲ厚ク莖ヲ
匝テ数花聚リ層ヲナシテ幹頭ニ至リ肥ル者ハ
六七層ヲナス花謝メ房ヲ結フ中ニ細子アリ旧
根枯易シ種子自生スル者ヲ陰湿ノ地ニ栽トス
ヘシ種子手ニトル時ハ不生幹ヲ以テ振ヒ撒ヘ
シ日ヲ恐ル紅紫白ノ三色有テ色ニ浅深アリ又
紅白斑爛ヲナスアリ九六七種アリ櫻草ノ類ニ
近シ

蔵[illegible]園実ハ此ノ[illegible]クリンサウ

クリンサウ　[illegible]三ノ上
[illegible]クリンサウ
[illegible]

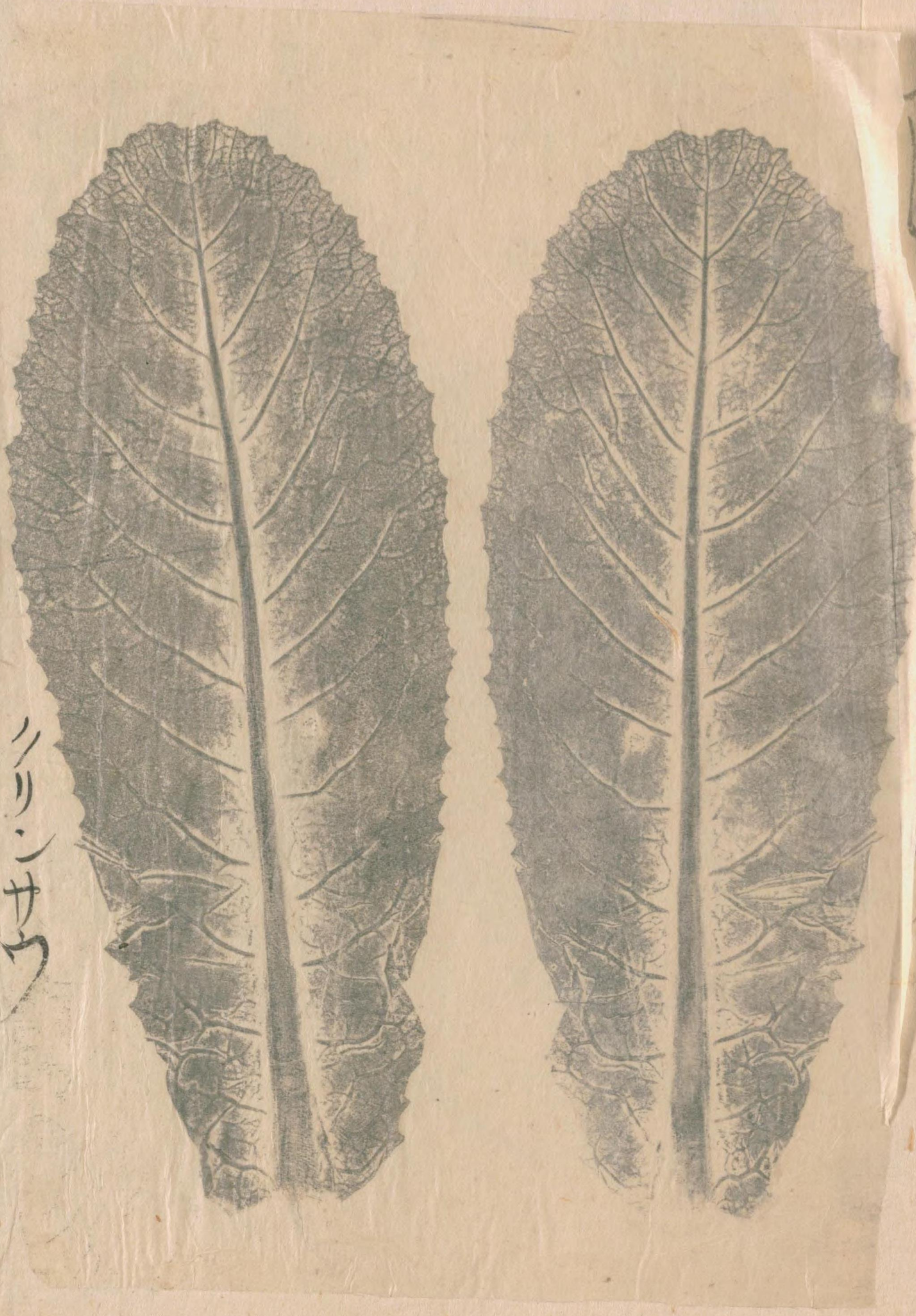
九輪草　漢名未詳
能州宝達山陰湿ノ處ニ産ス春宿根ヨリ苗ヲ生ス
葉形櫻草ニ似テ微文モ茸ナク筋紫色光澤
有テ地ニ布ク花茎ヲ抽スルコト二三尺茎頂ニ花ヲ開
ク形チモ亦櫻草ニ似テ澤アリ車輪ノ如ク七段ニナル
故ニ賀州ニテ七カイソウト云フ色ニ白淡紫淡紅斑
文紅粉ノ品アリ

[illegible]

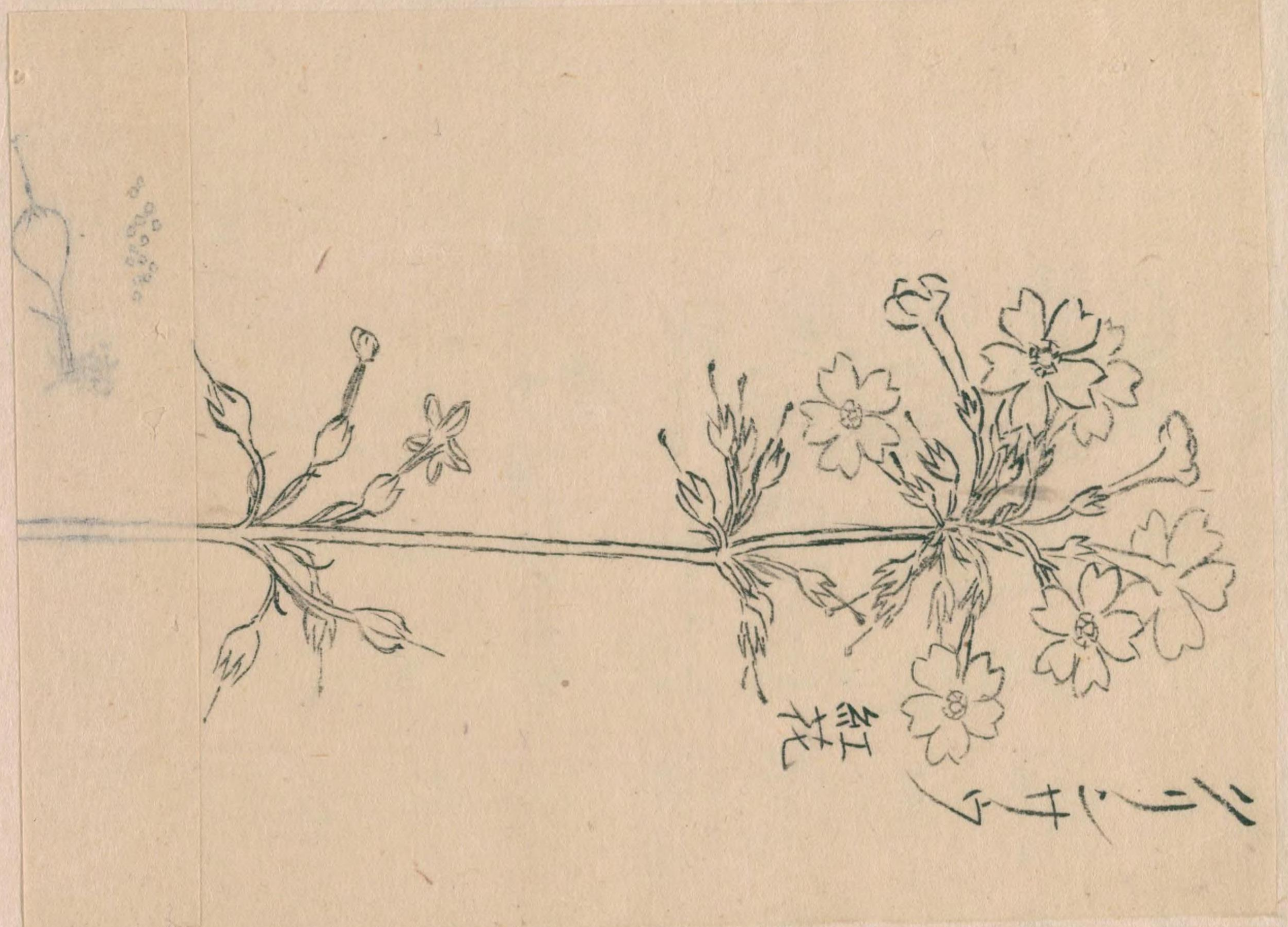
ク州九海

花山報春圖　サクラ

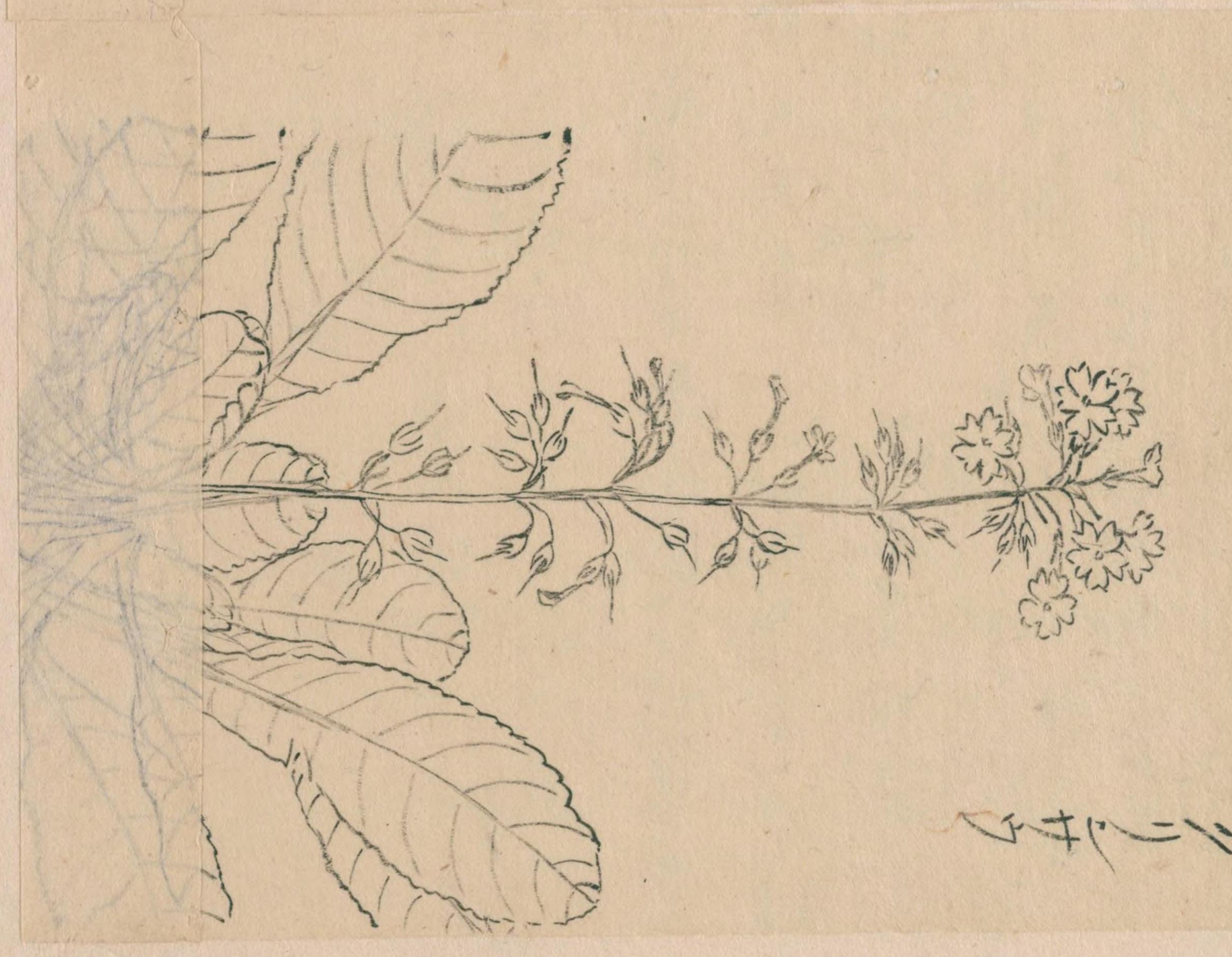
[illegible]サクラ草カ



クリンサウ



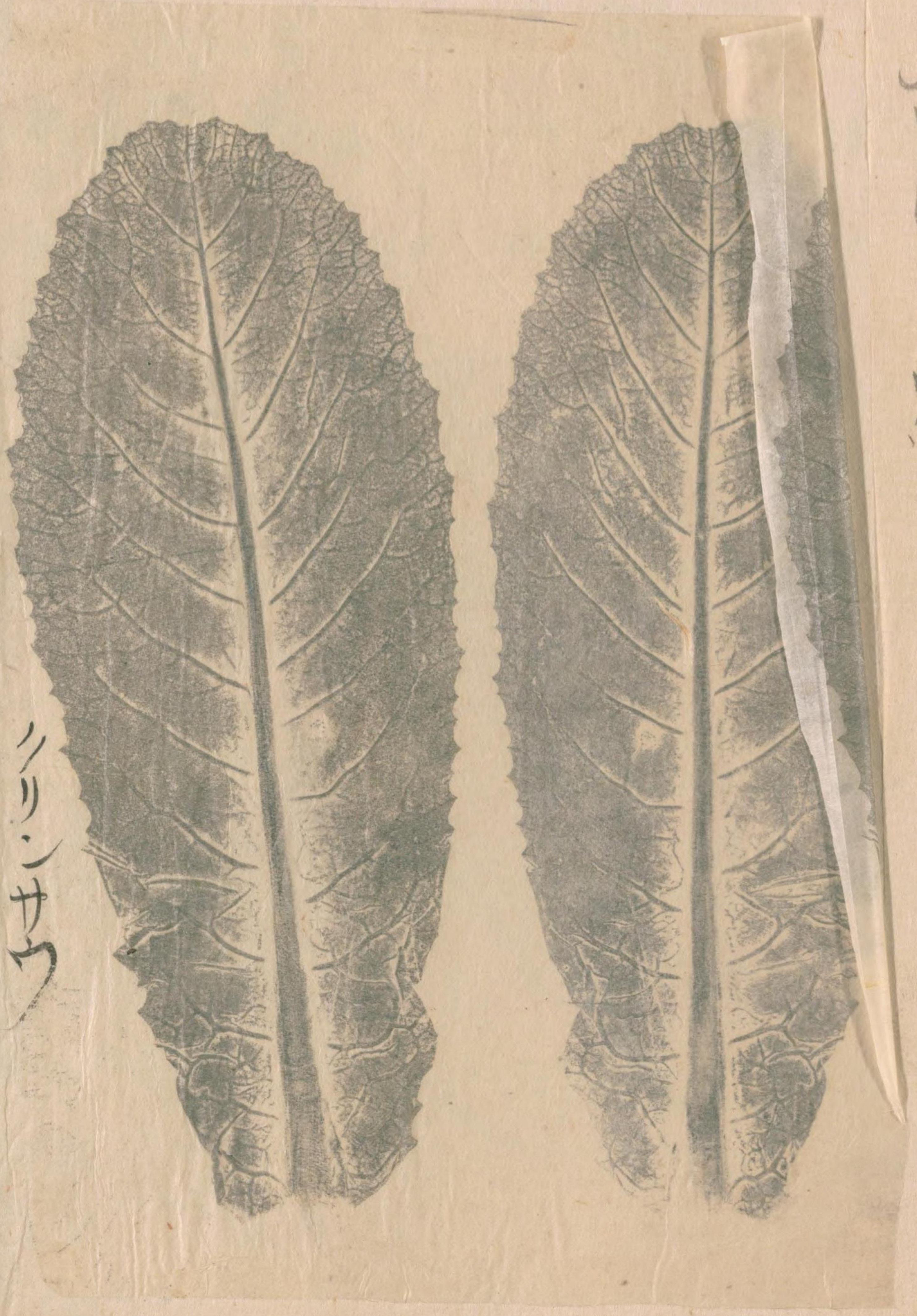
クリンサウ　紅花



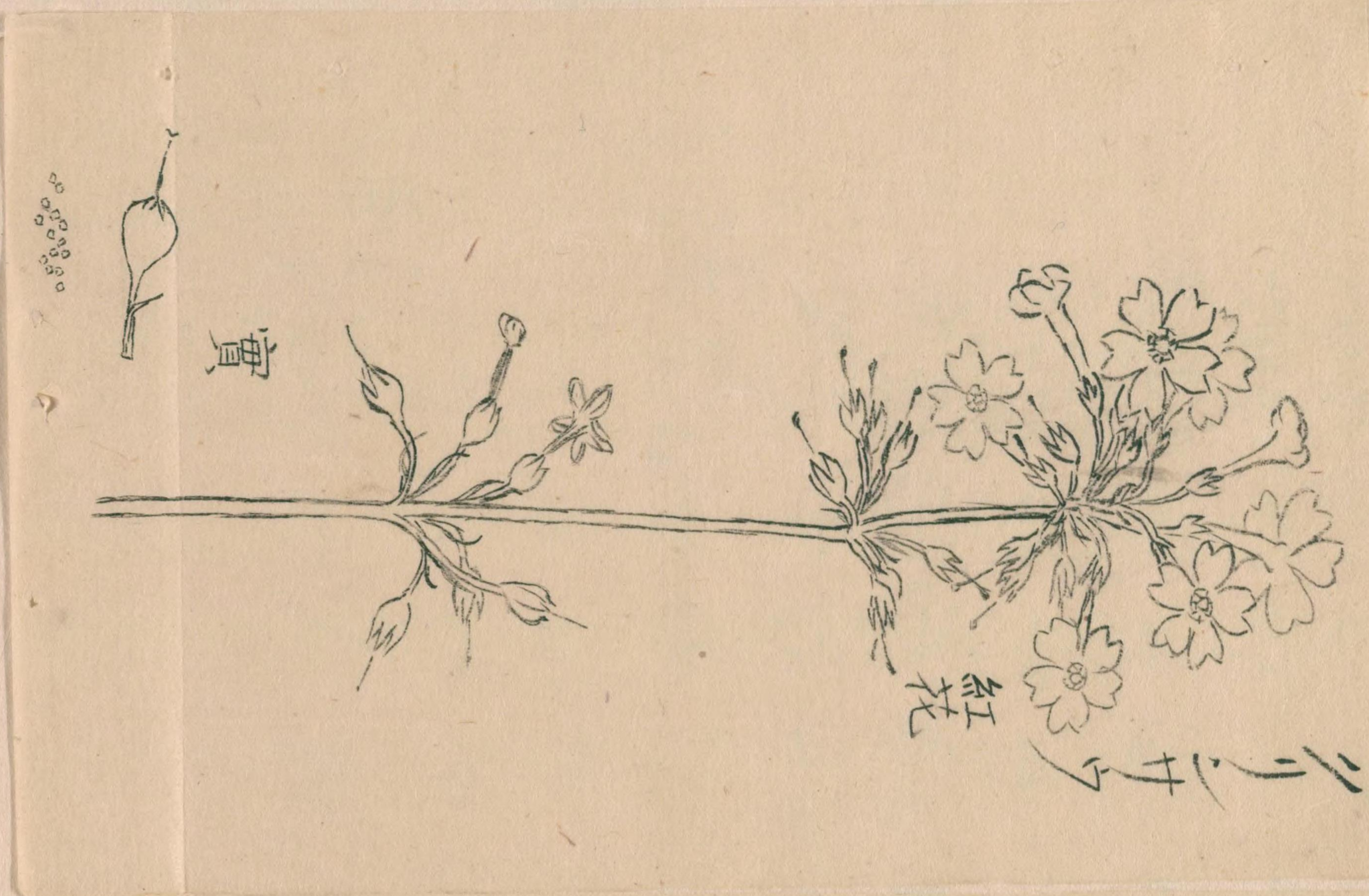
クリンサウ

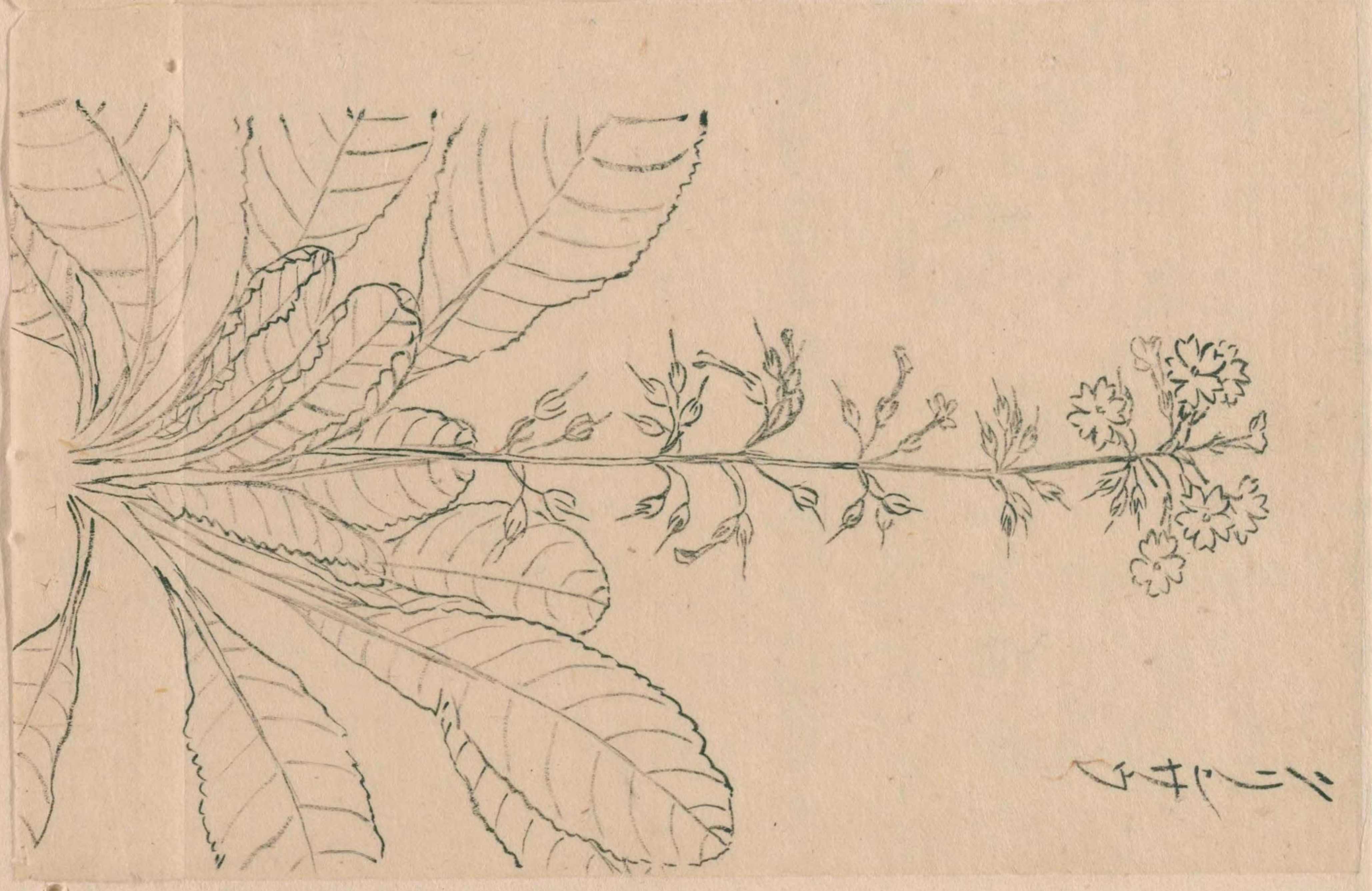
74
一
二
三

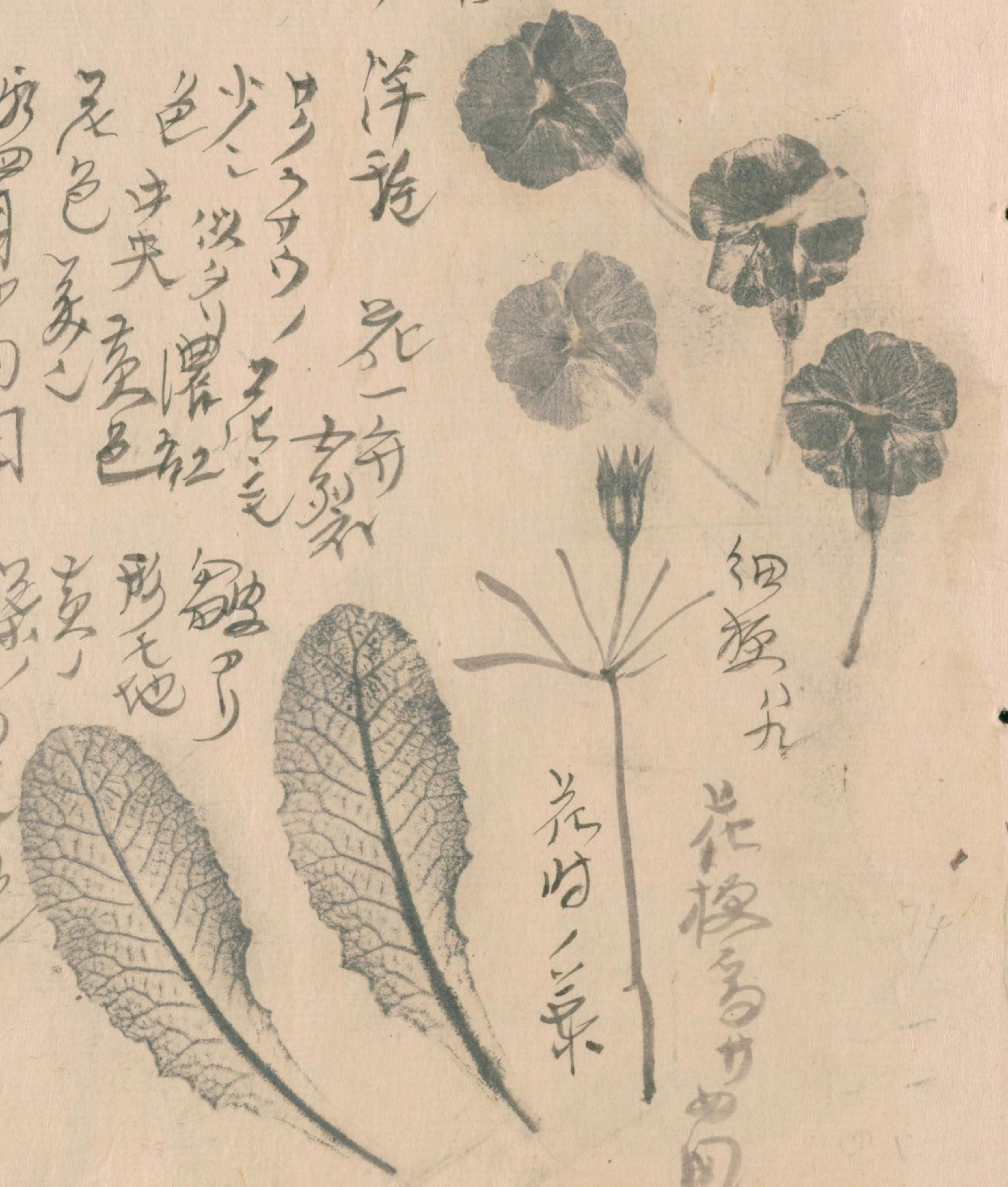
ク冊九海
花山報春図 サクラ ナリヤ シリンサウカ



74







花梗高サ四寸

細梗八九

花時ノ葉

五右衛門
二番之
一正ナリ

洋種　花一寸五裂

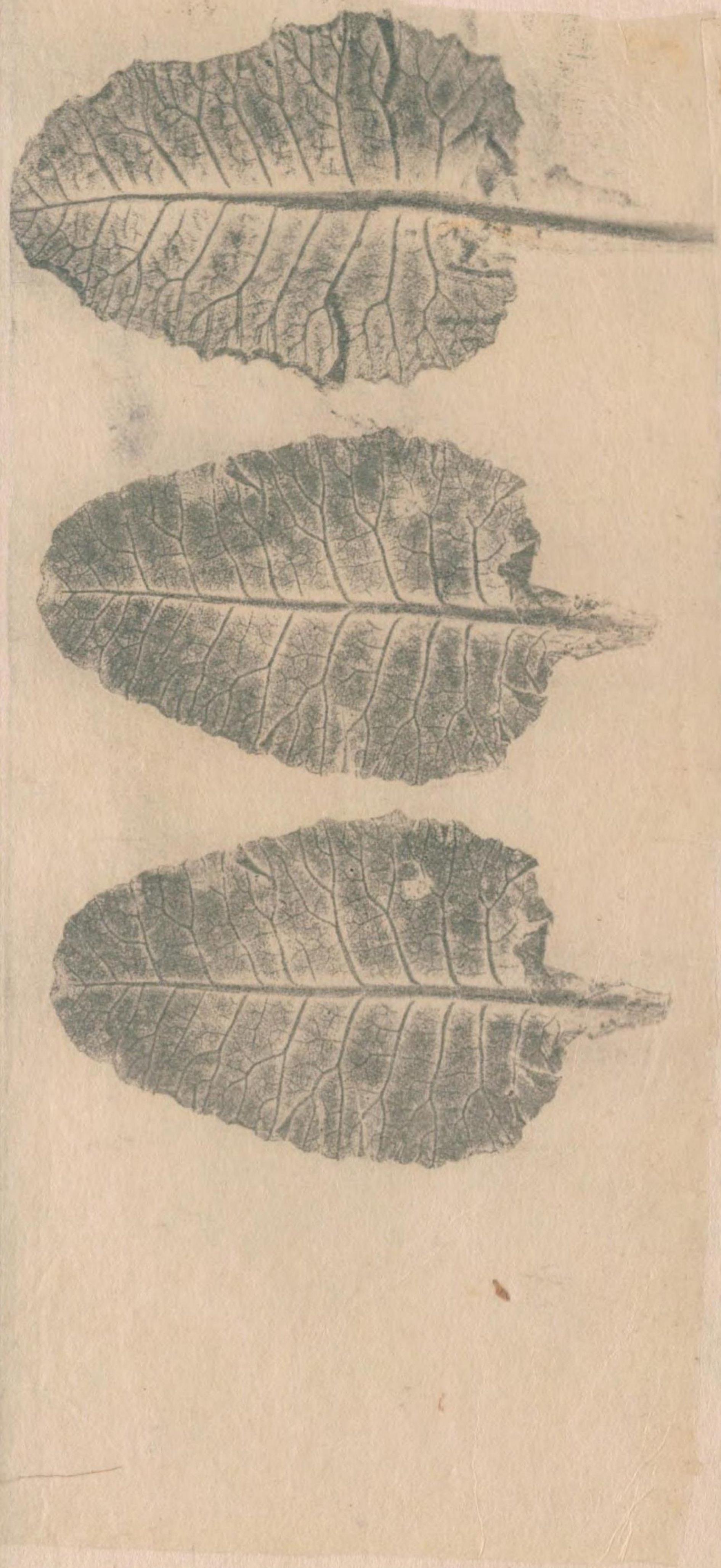
サクラサウノ花ヨ
少シ似タリ濃紅
色中央黄色
花色美シ
三四月中旬開

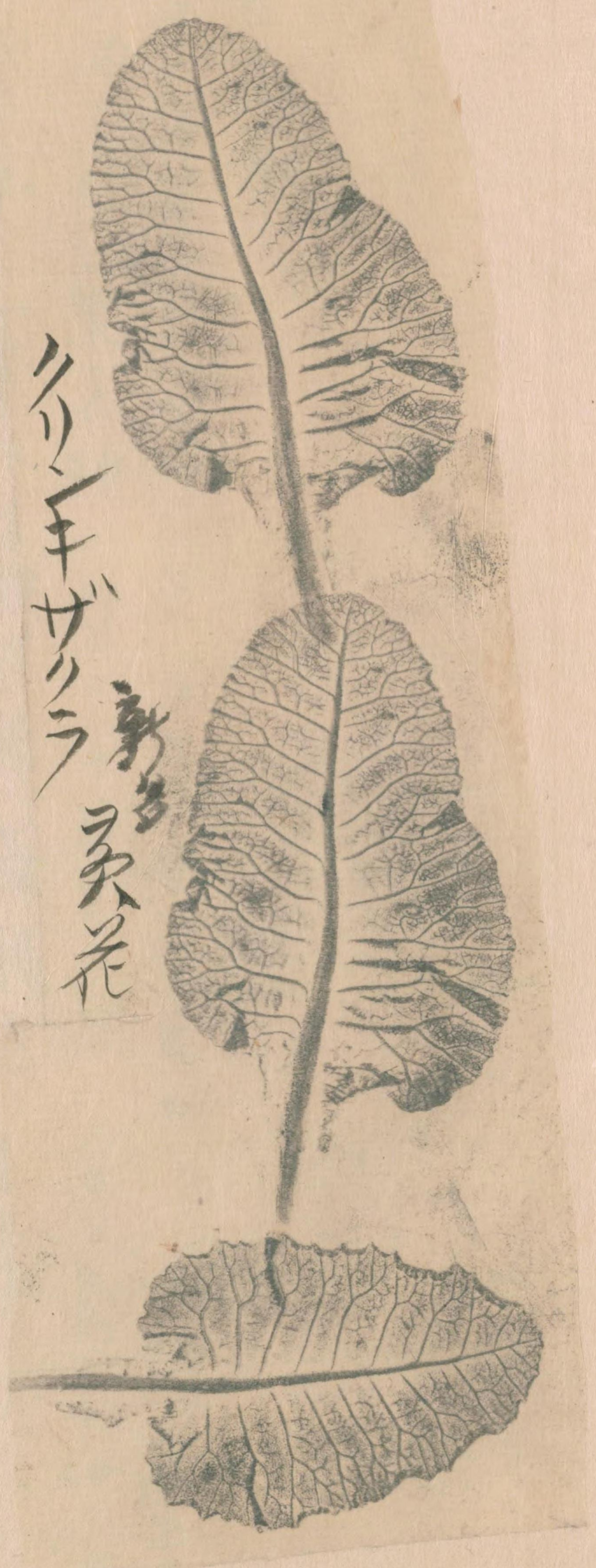
鋸歯アリ
形モ地
黄ノ
葉ノ
ゆナルめこ

附

クリンサクラ類

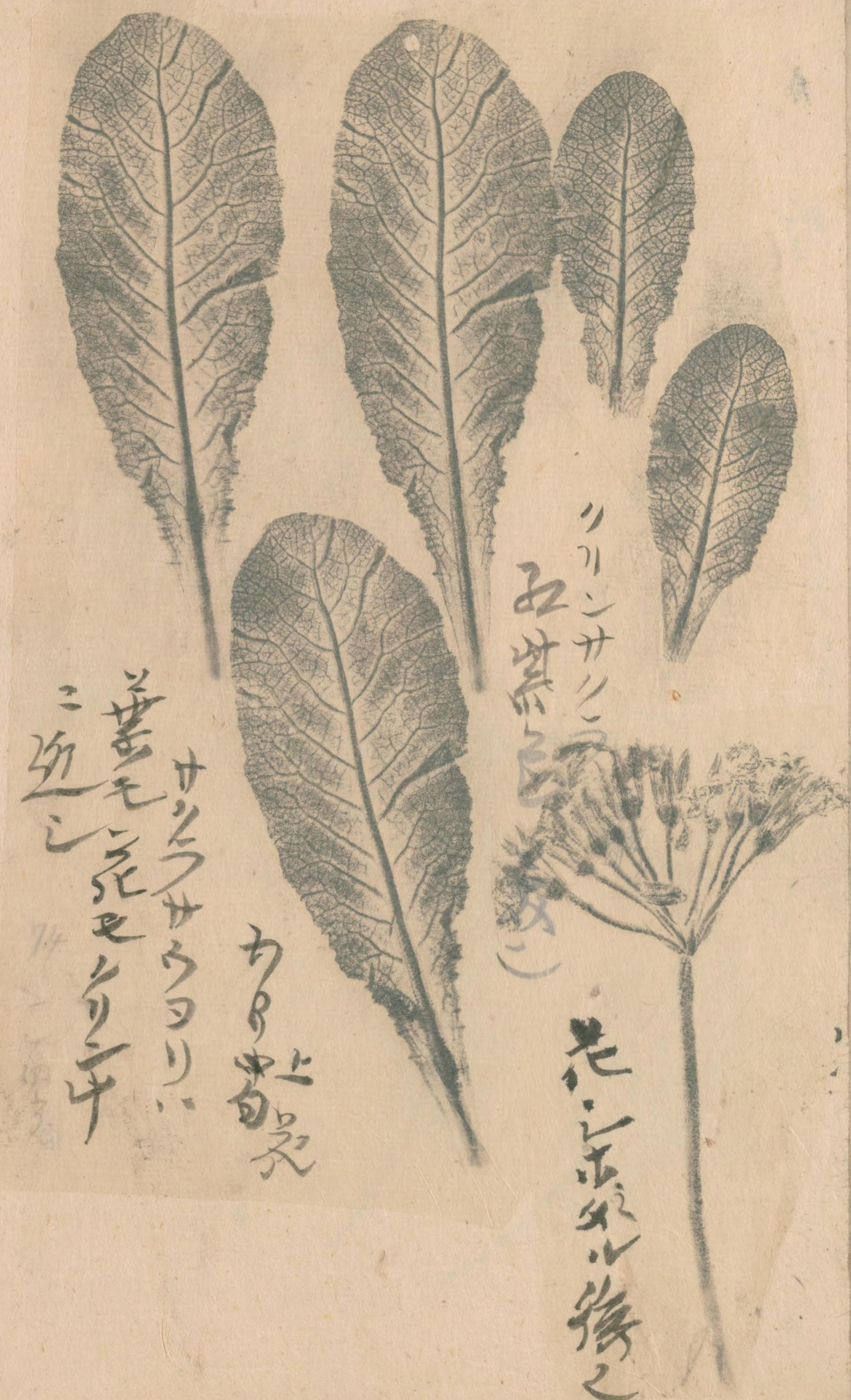
ガラス使用





クリンキザクラ

新苗発花



クリンサクラ

丑紫[illegible]

カラ中苗上発

サクラサウヨリハ
葉モ花モクリンサ
ニ近シ

花ハ三岐タル様之

○クリハラン

金星草

山中ニ生茎長サ七八寸葉濶サ　寸許長サ　許直上メ

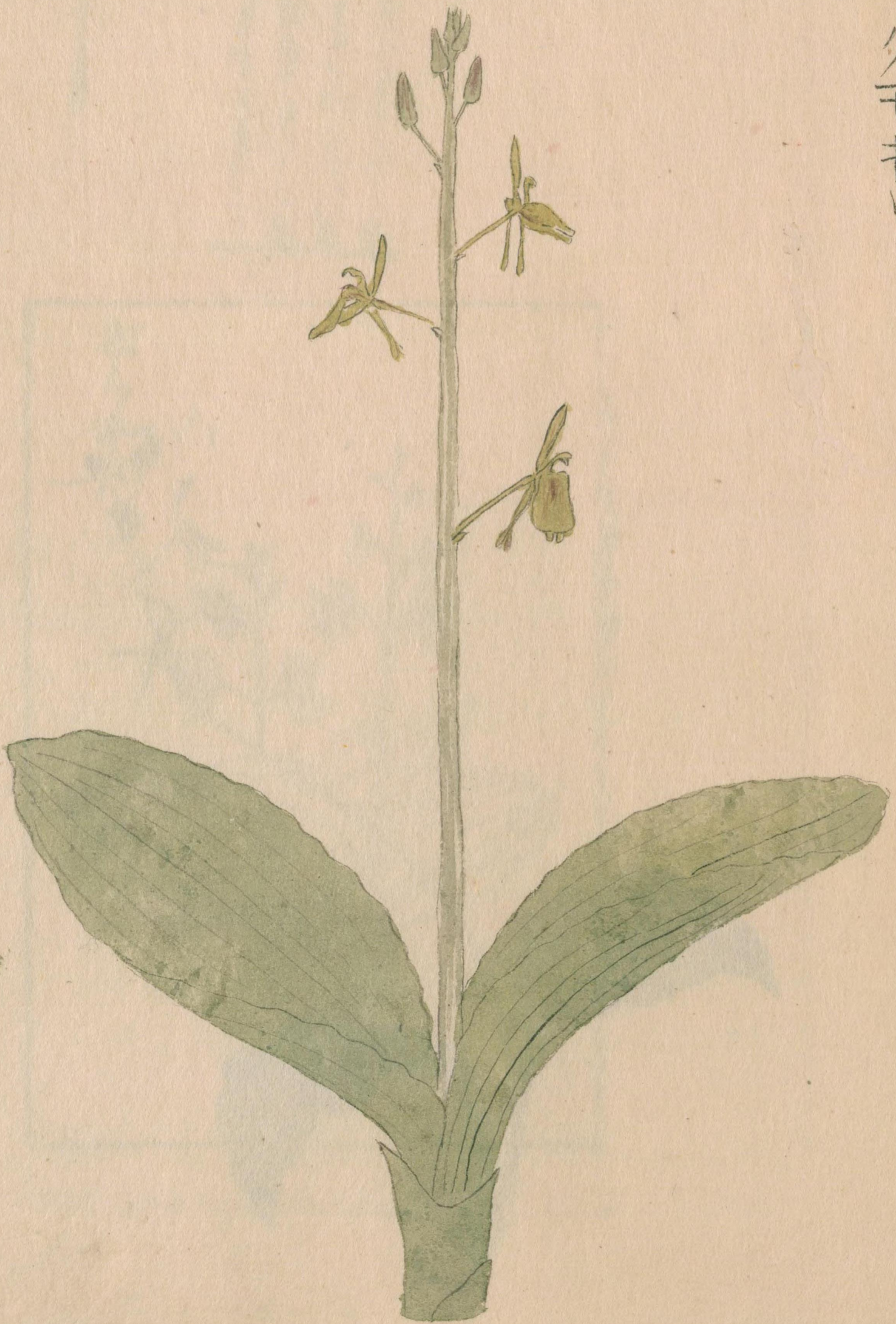
冬ニ凋マズ紋脈黒色硬ク背ニ金星アリ根ハ金ウラボシノ如ク帯

ニ延シ處々ニ一葉ヲ生根及茎ニハ茶褐色ノ毛アリ

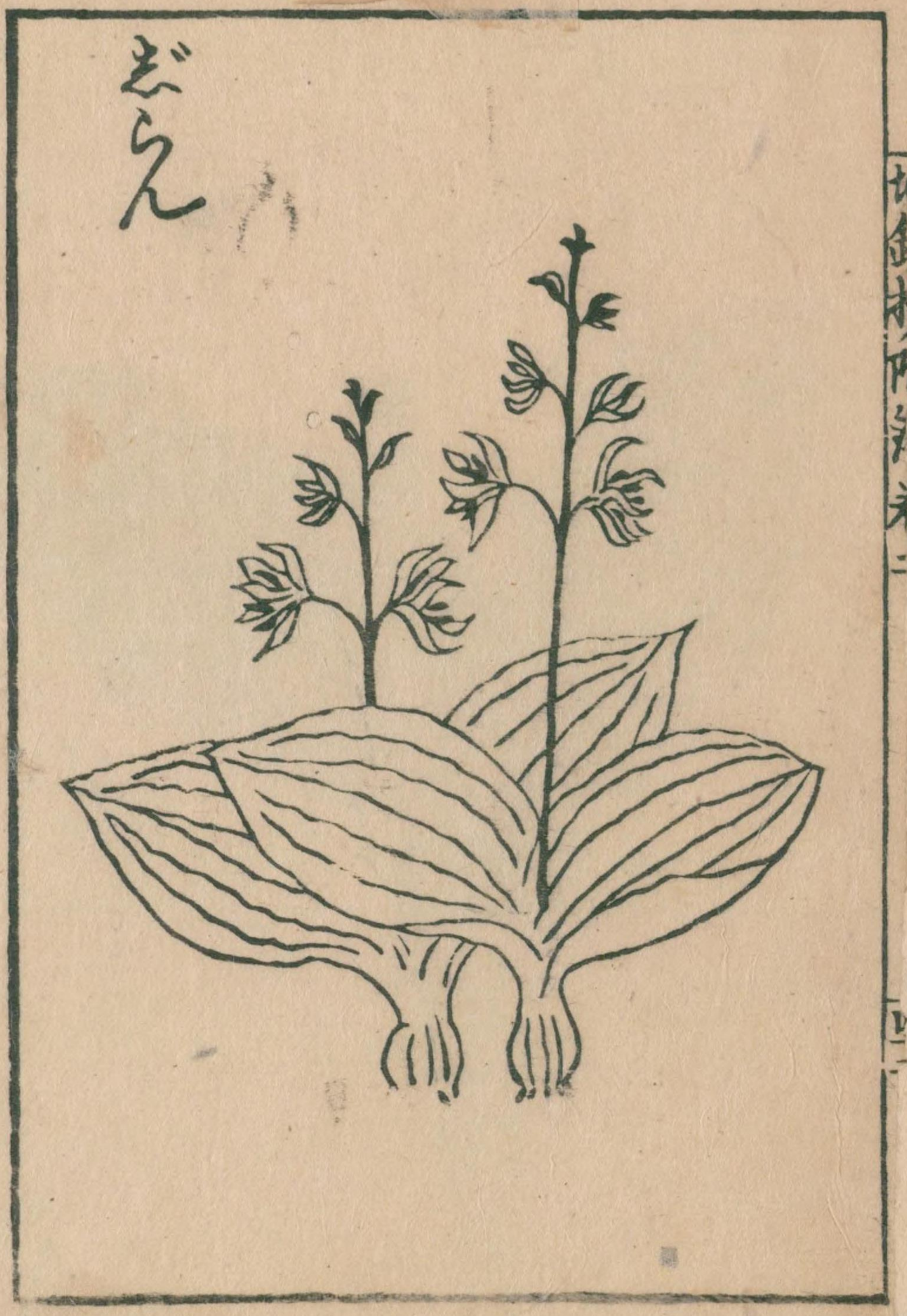
74
二一六

クモキリ

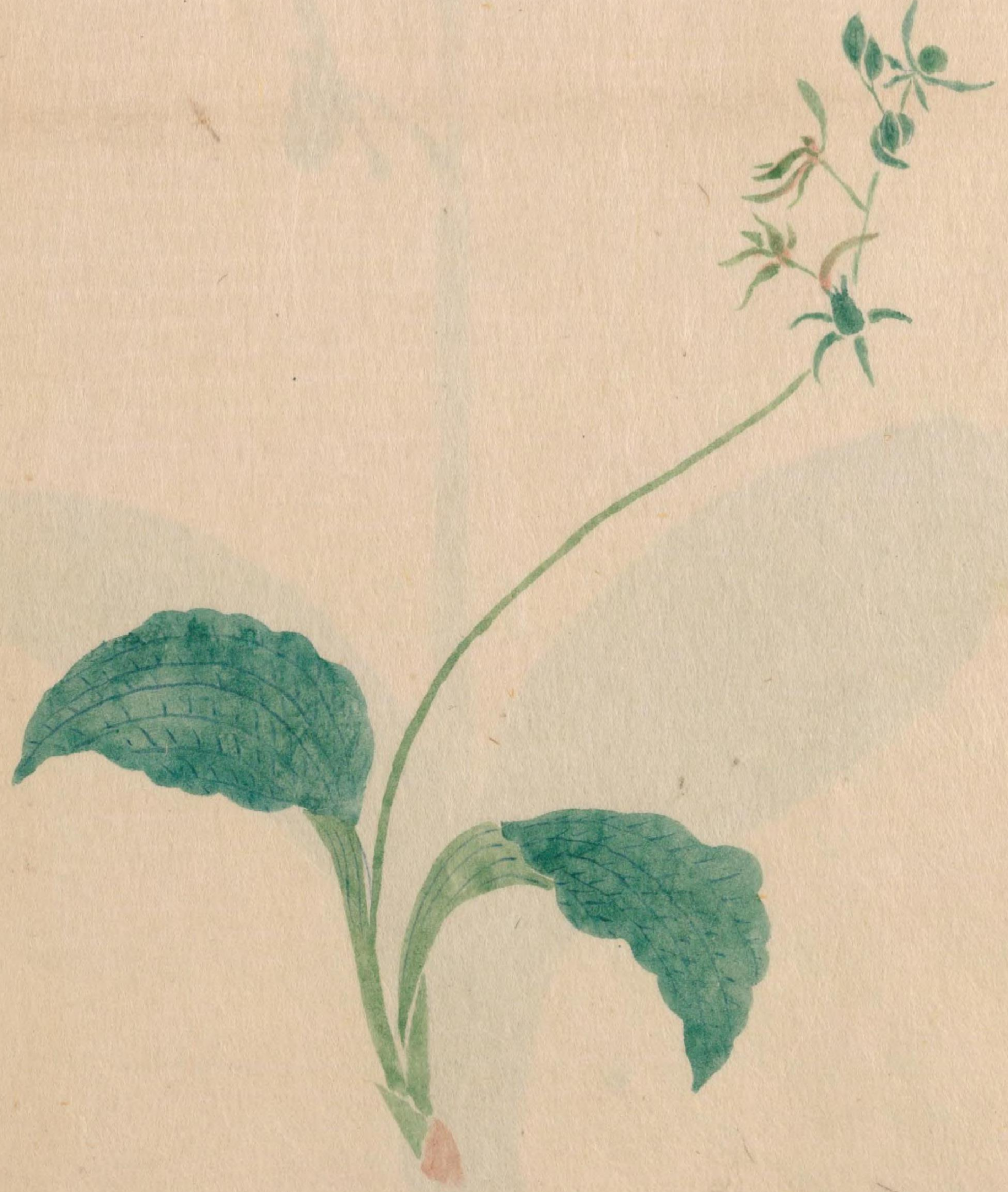
四一 クモキリサウ



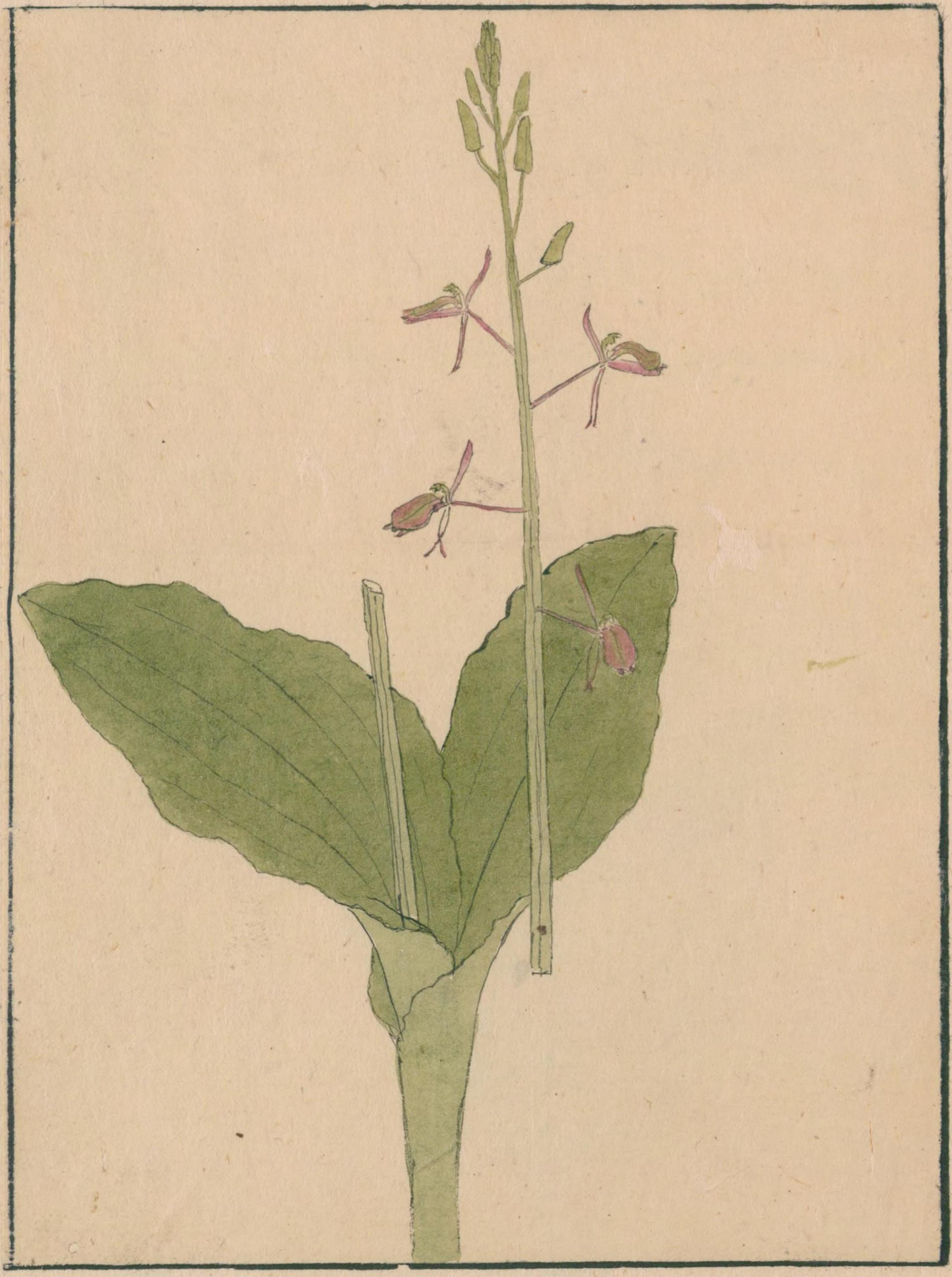
兒蘭（じらん）花小ほんしかうに付まろく内ふかくべに色葉二枚出て中より茎有り四月咲く小草なり

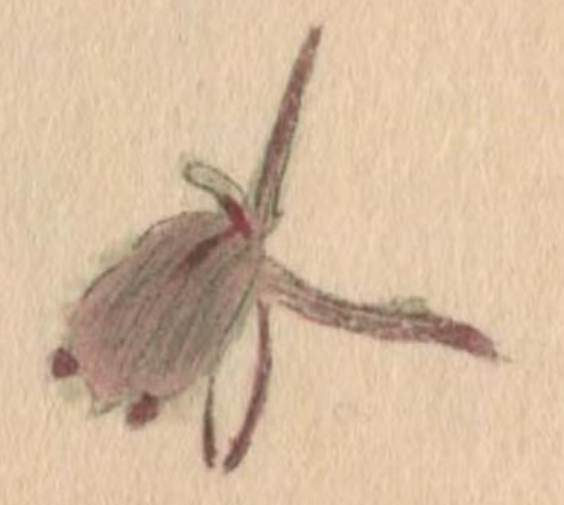


〃しらん



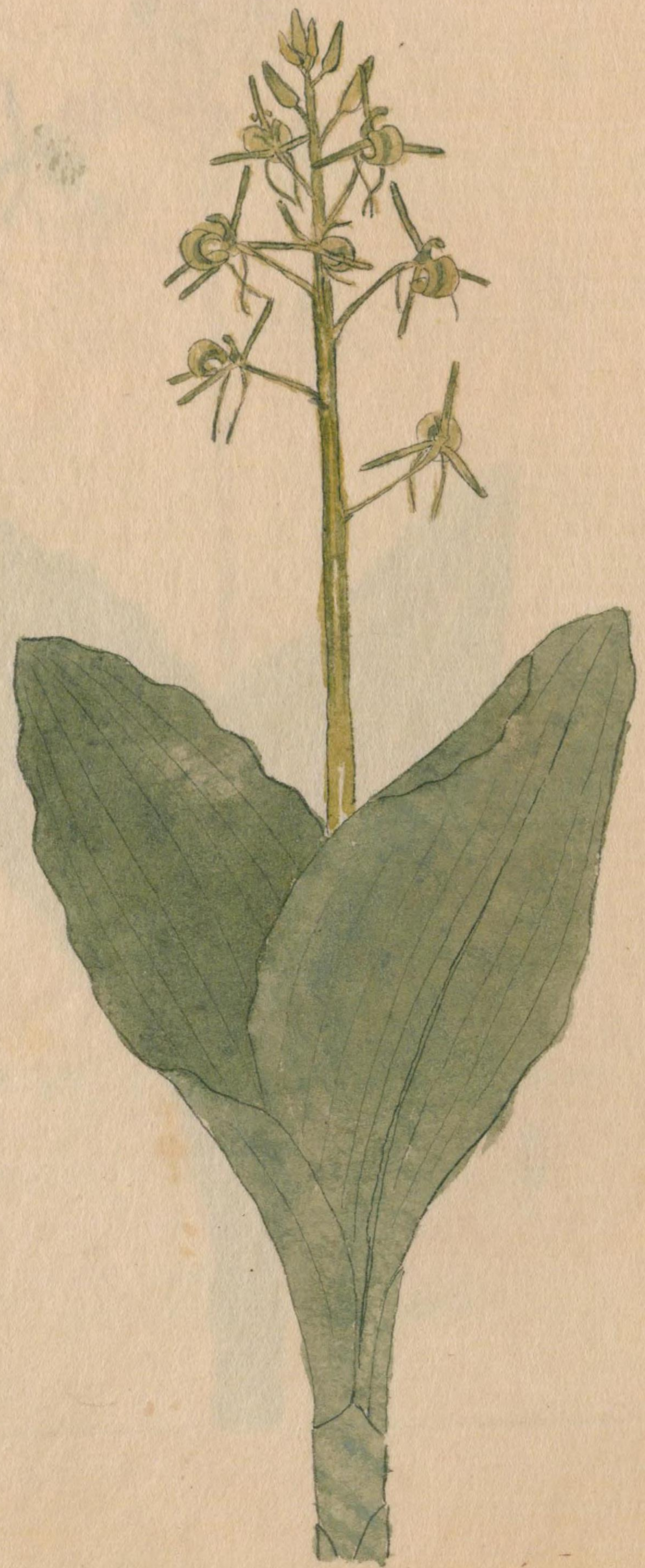
岩崎ノ日及川本図



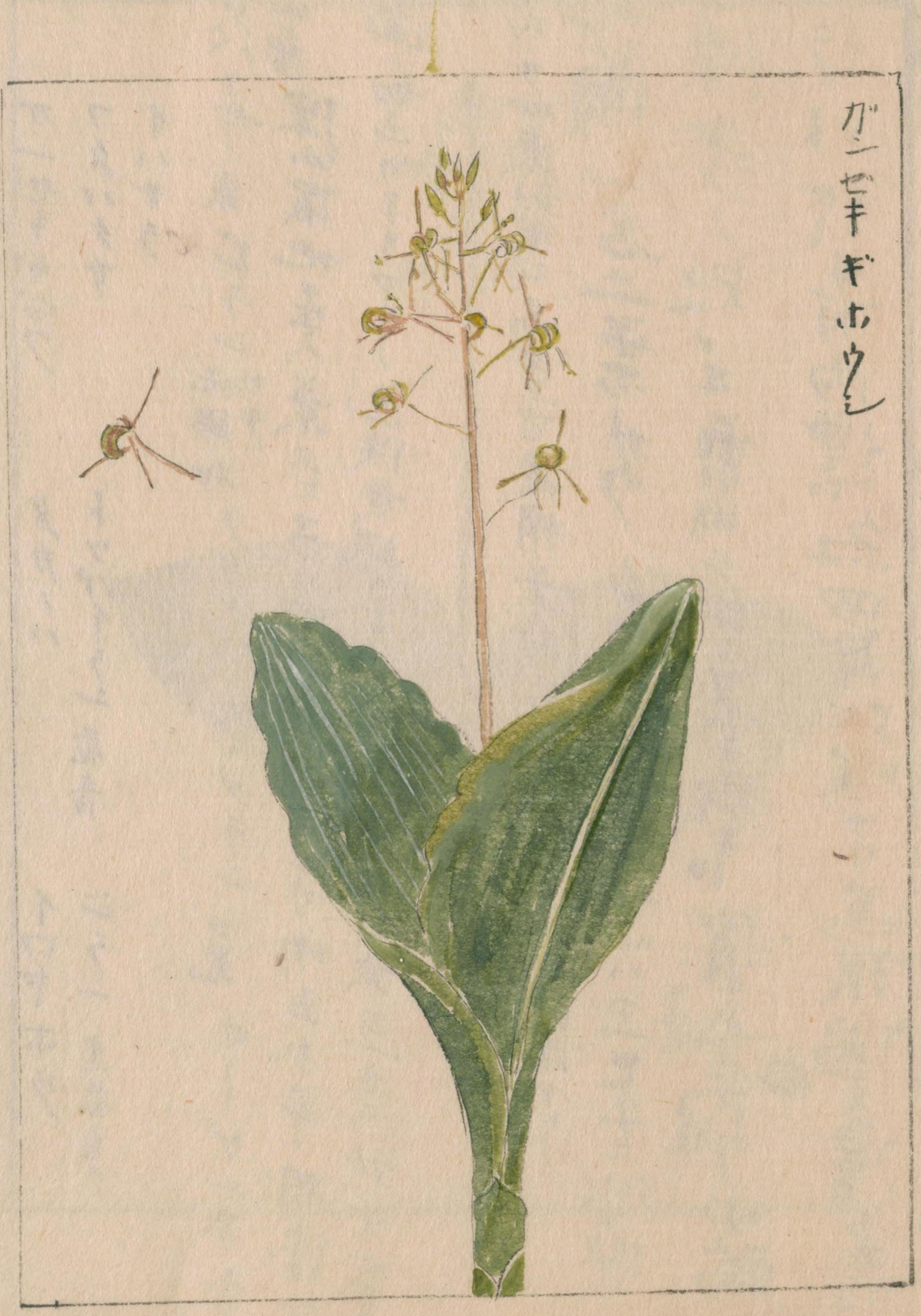


ガラス使用

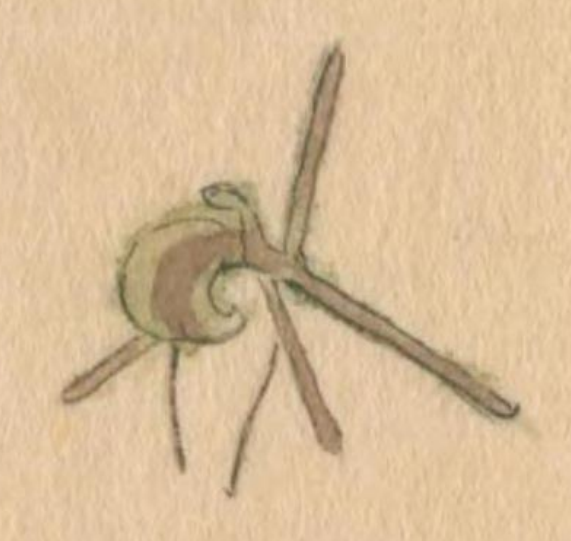
アヲグモ



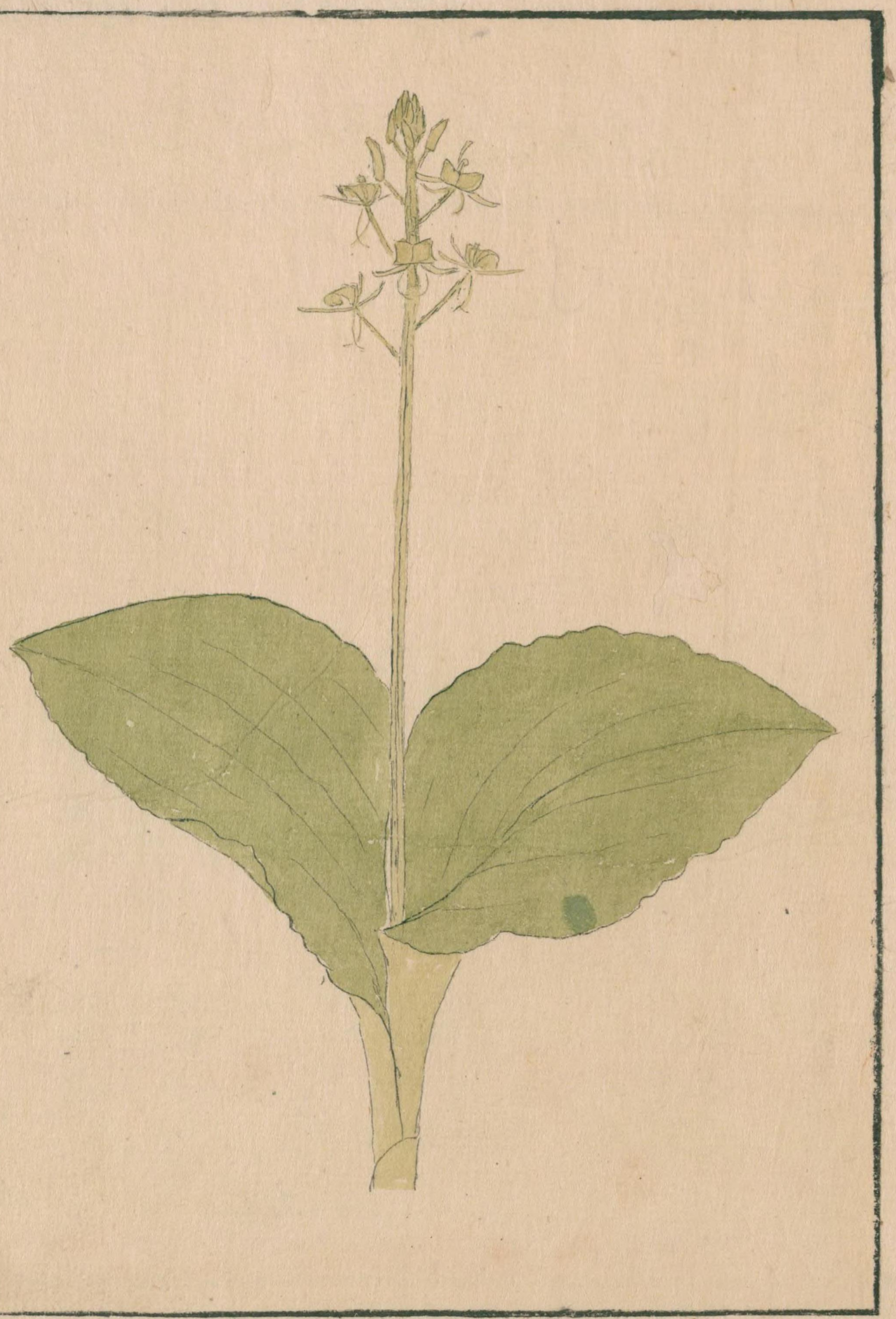
ガラス使用



ガンゼキギホウシ



ガラス使用



ガンゼキギボウ　タカノハ　イワギボウ
フタバクサ　トツパイラン花青　ジラン二黒花ノモノ
イハザラ
フタバクサ 京 ジラン 江戸 地錦艸 タカノハ スヽソラン 日光 ホーゲル子スト
和蘭 深山僻地ニ生ス葉エビ子ニ似テ小ク長サ二寸巾五分斗周邊ニ鋸
歯ノ如キウ子リアリ色淡黄緑ニシテ薄シ二葉又三葉互生ス秋中心ヨ

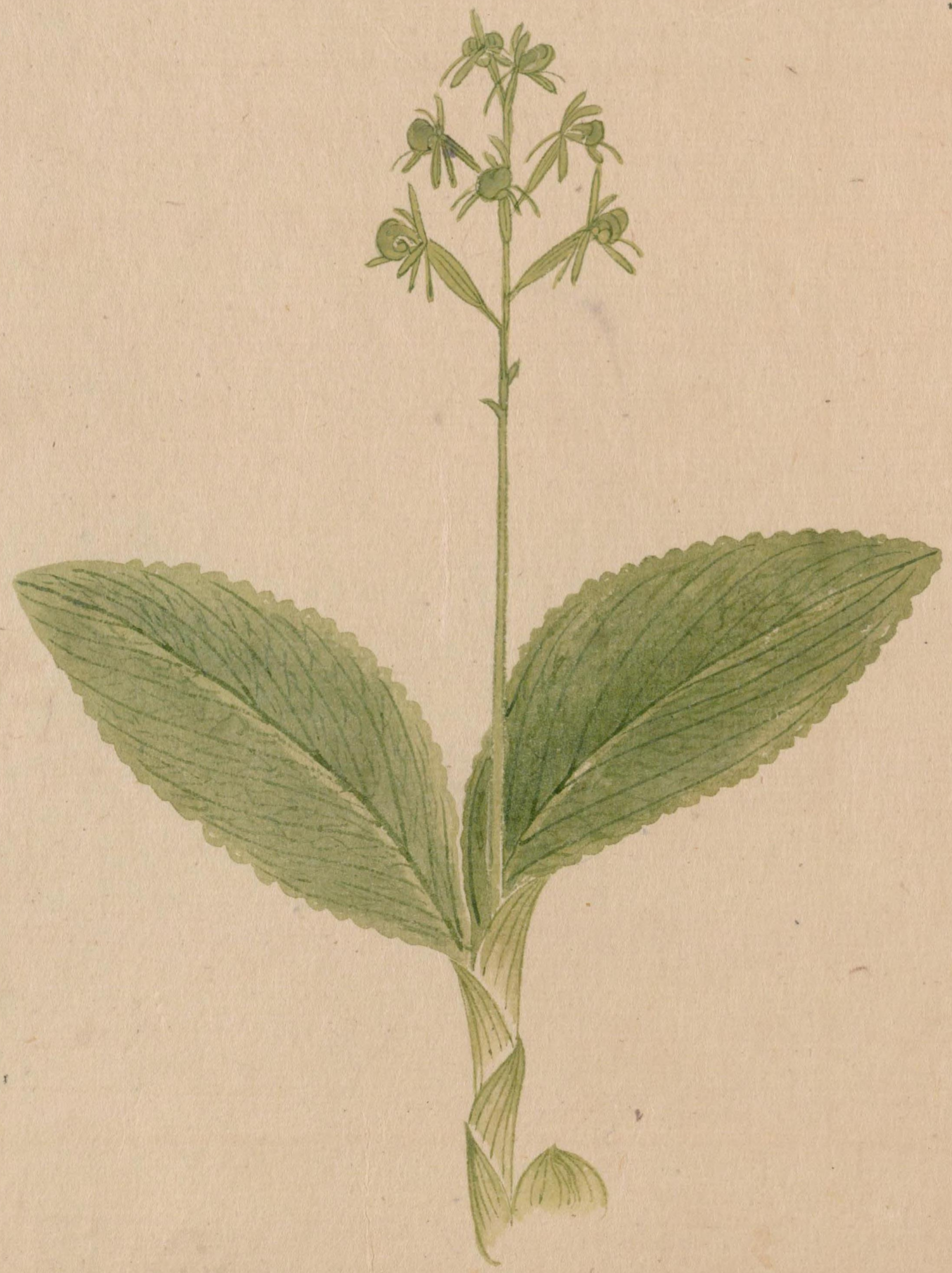
須報外ニシ

色

アツナ四葉対生シ高サ三寸支梢葉間ニ白色極メテ小ナル碎花アリ
兒蘭 一名二葉ササウ 名ノ如クサ 葉ハエビ子ニ似テ堅
條多ク短メニ葉出ツ中ニ茎ヲ抽キ梢ニ白キ三月花 小穂ヲ
ノモナリ花ニメ外淡シ青内濃紫四月比咲ナリ其根鬚ヲ去ル塵名恕ラ

ガラス使用

児蘭　東京



仮室小花図　巻不分　十八

74

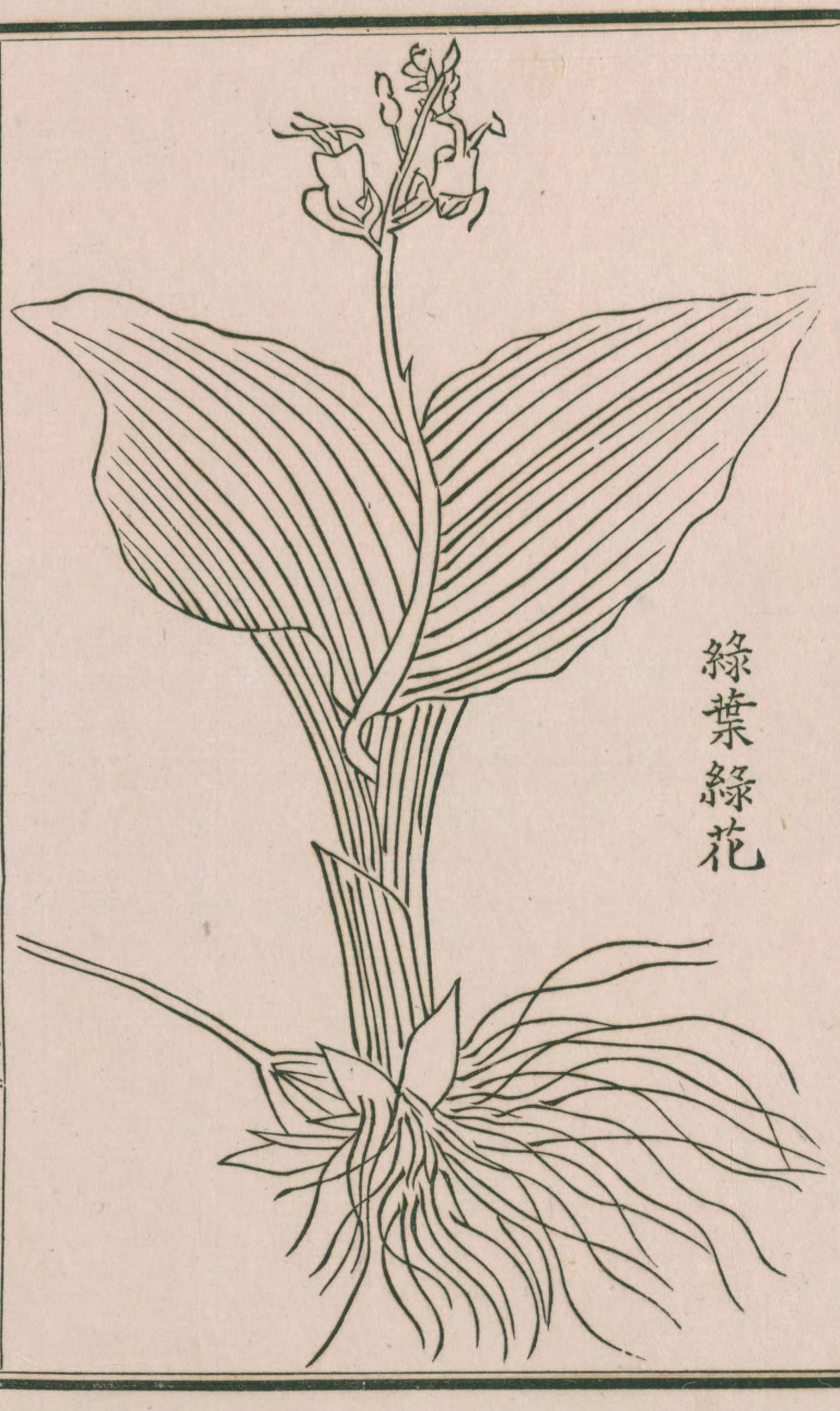
植物名實圖考　綠葉綠花　三十一

羣芳卷之二十九
奎文堂刊行

綠葉綠花

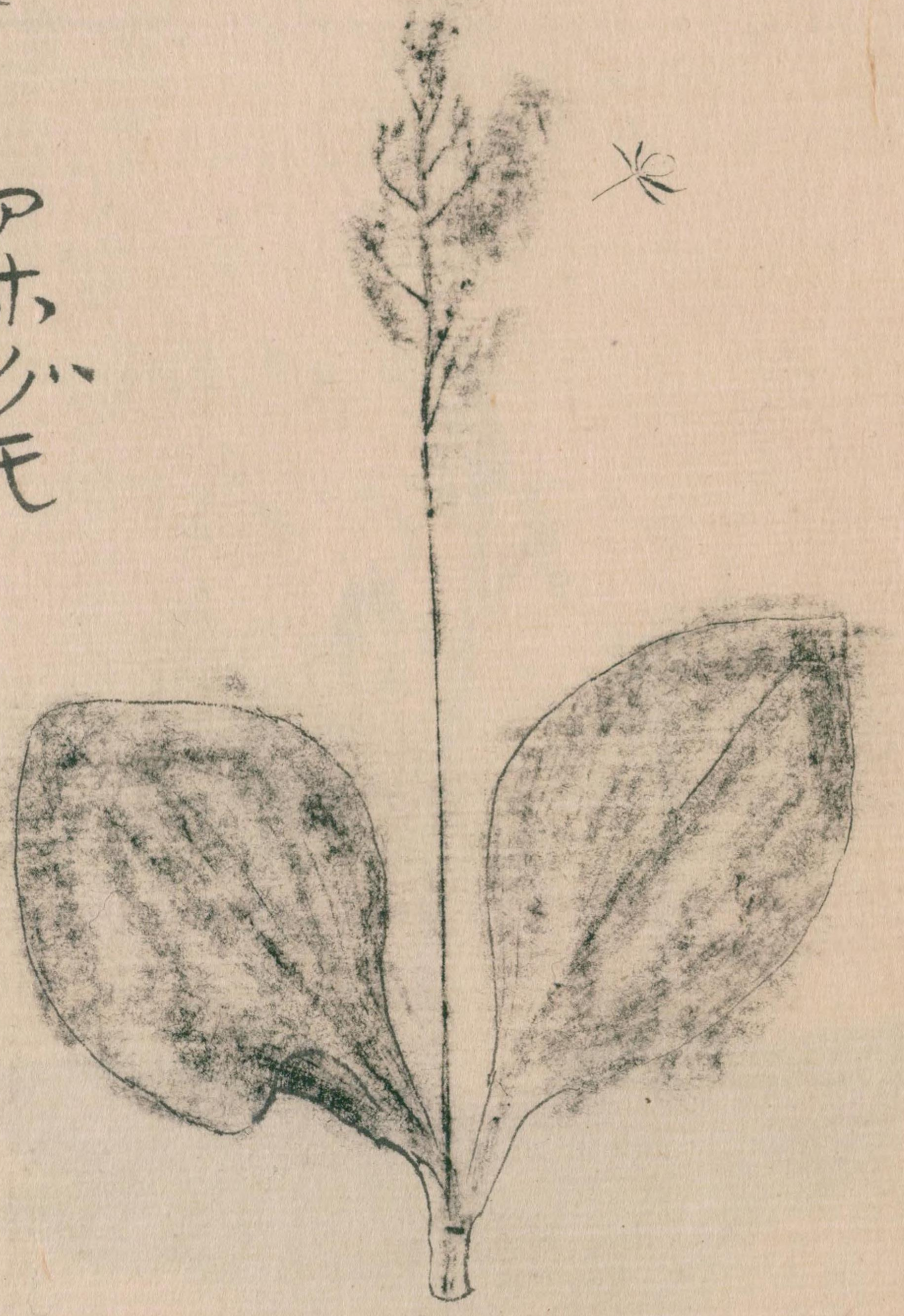
綠葉綠花、生雲南山中、綠葉對莖、如白及而短、抽矮莖、梢端開花、如羣蛙據草、綠背白足、臱臱欲墜、亦可名綠蟾蜍花、

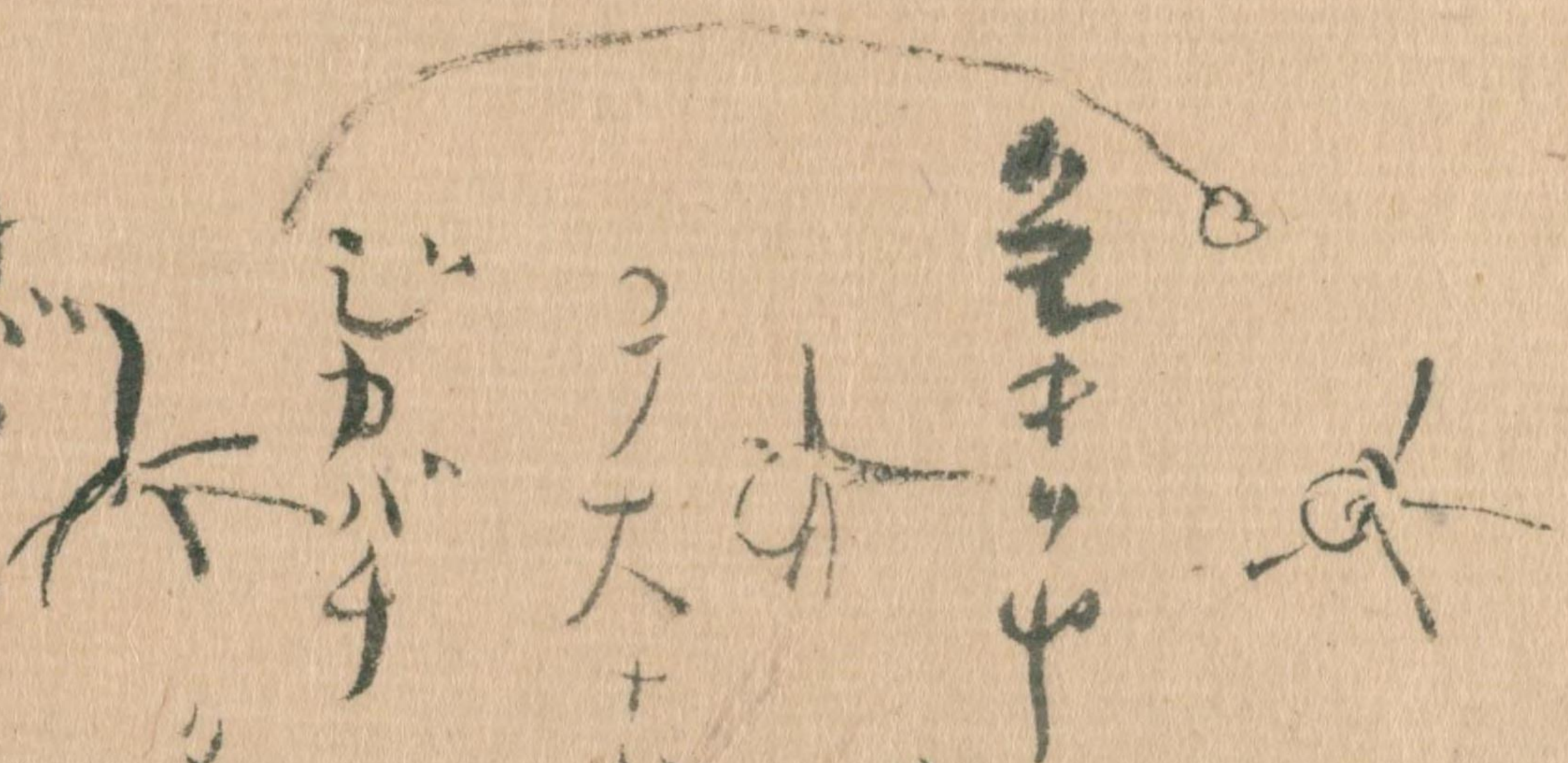
重修植物名實圖考卷之二十九終



り四一

アホノゲモ





ガンセキらう

タカノハ

フタバハチ

色モ（ホソリそカ）トロハニラン

色至ムラい

名キッサ

タカノハヨリ花大

コノ大ナルオスこゐこラン

ジガバチ　一名ムラン

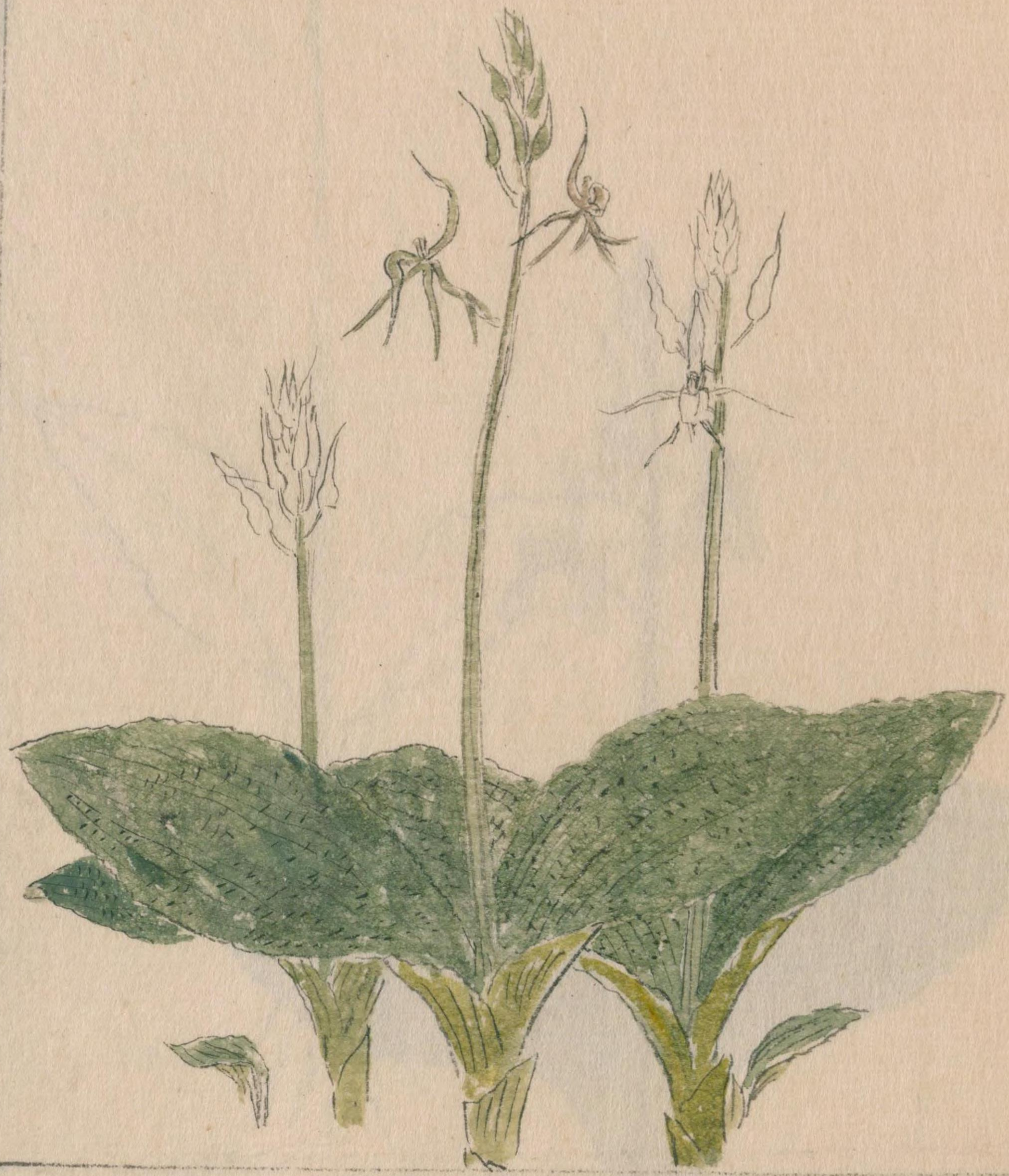
タカノハノ花細キ也

キバウホウラン

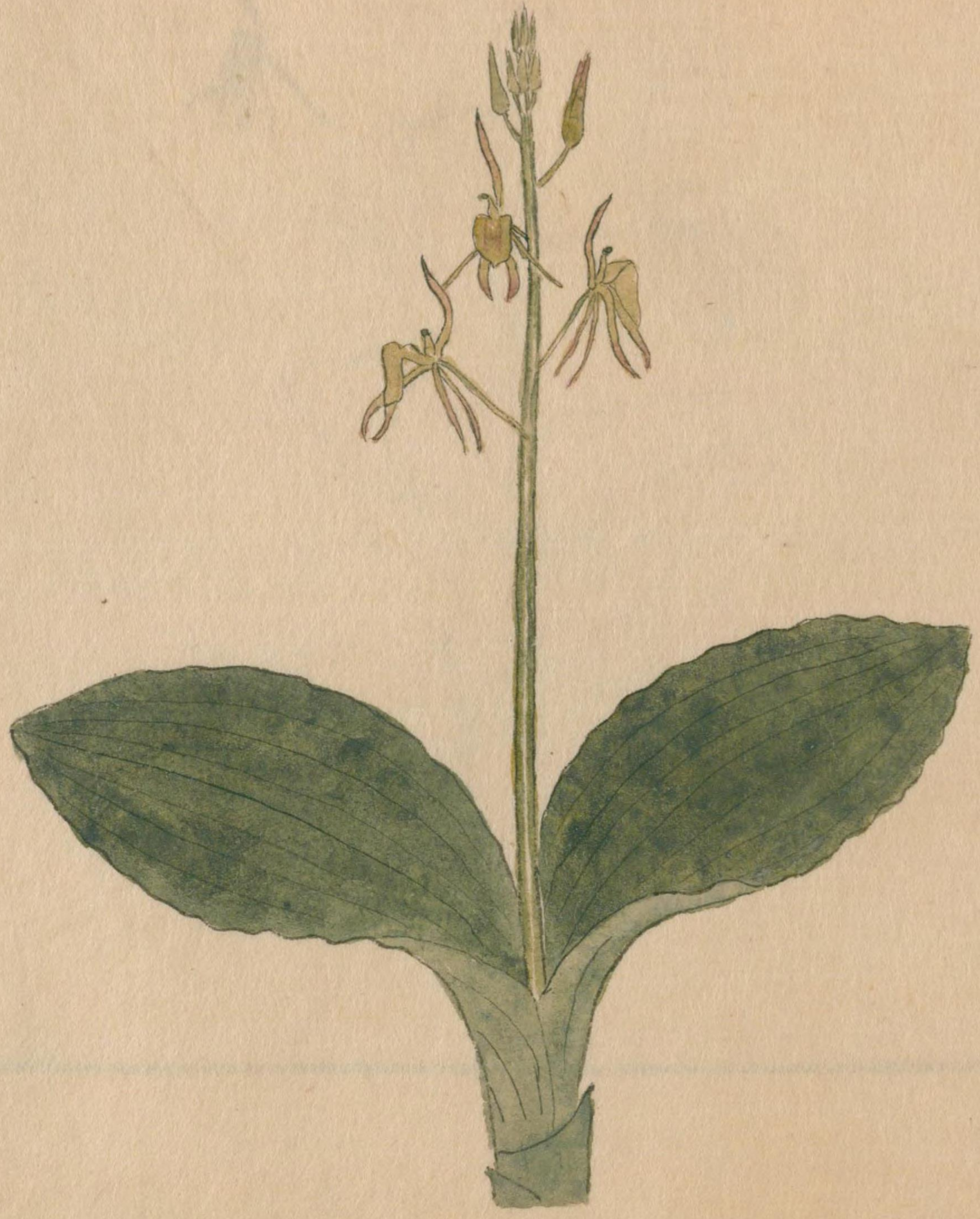
御岳山

ジガバチ

クモラン　東京花戸

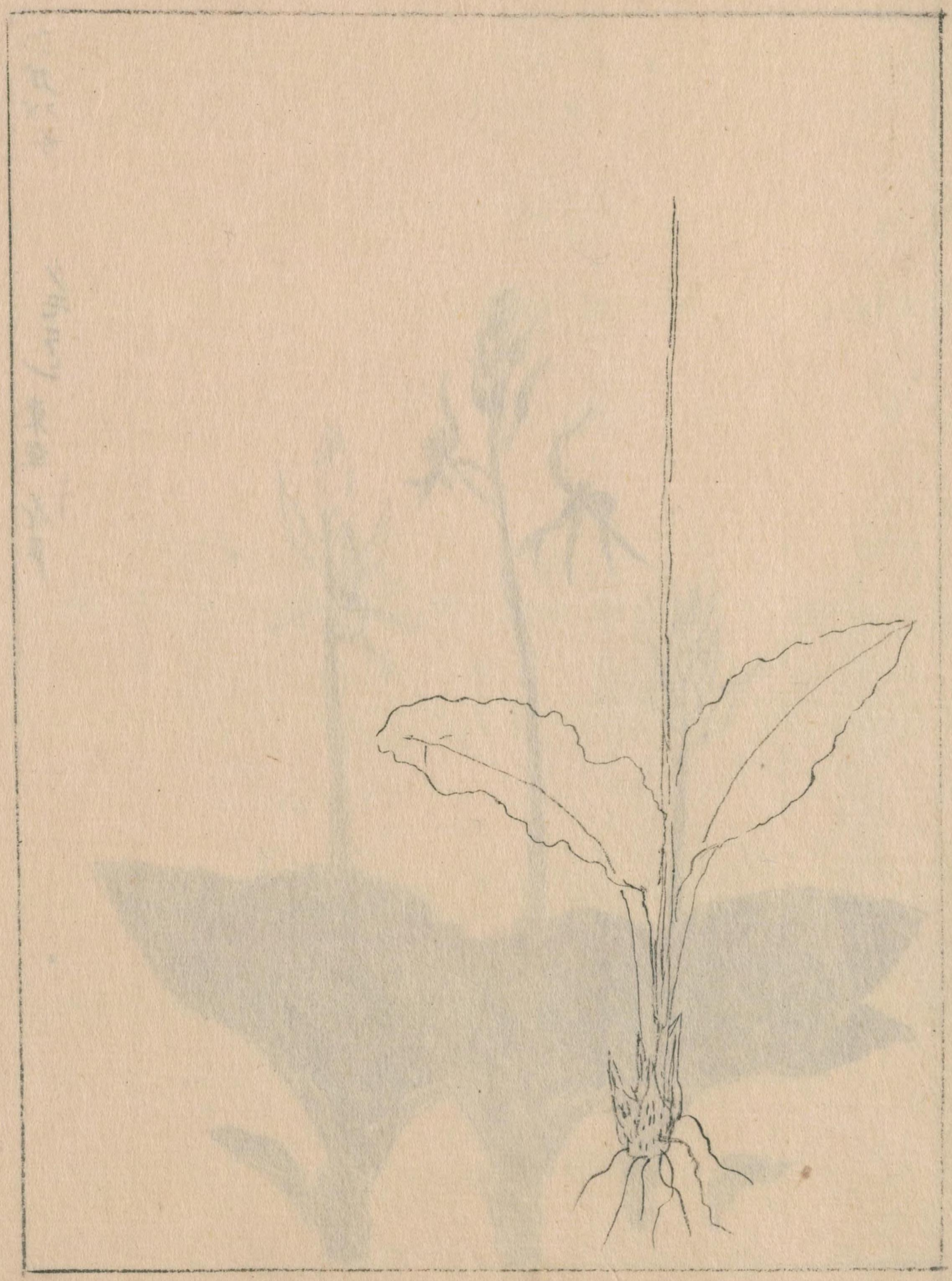


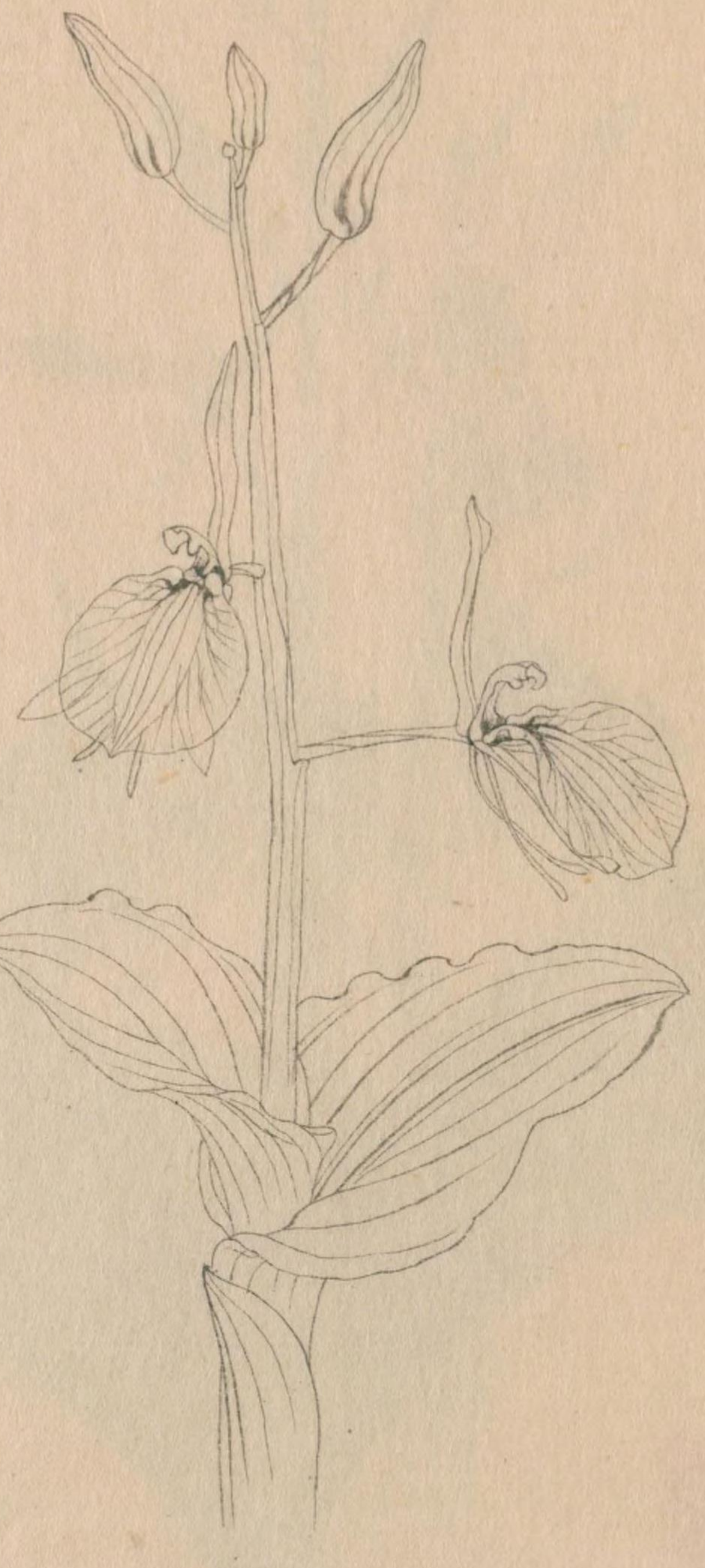
ヂガバチ

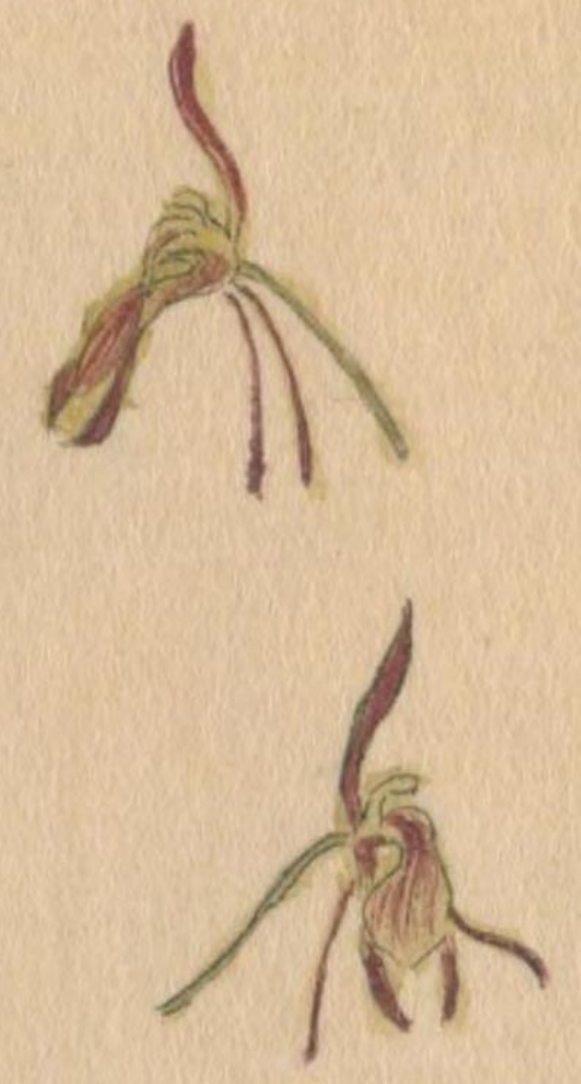


74

一三〇

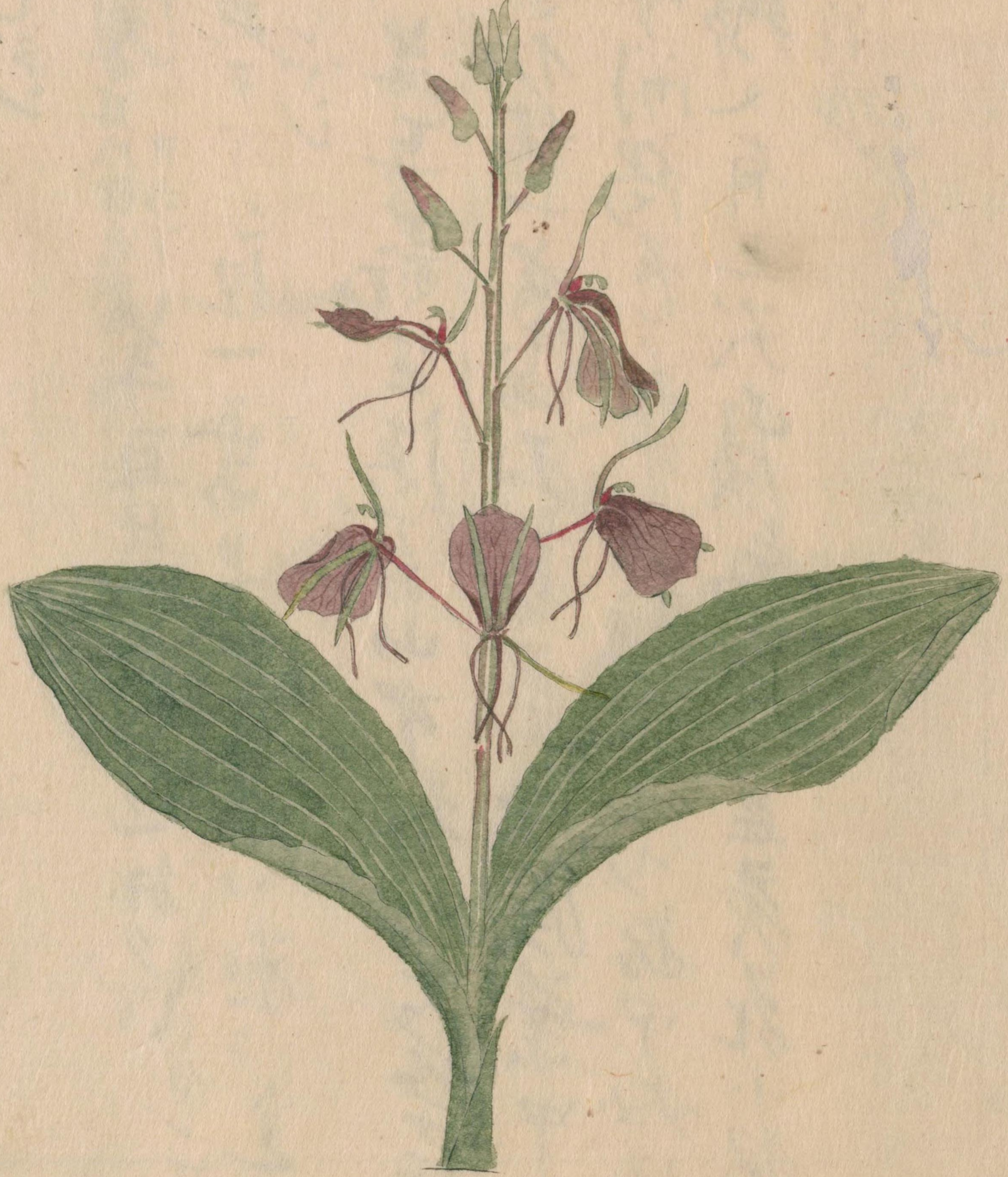


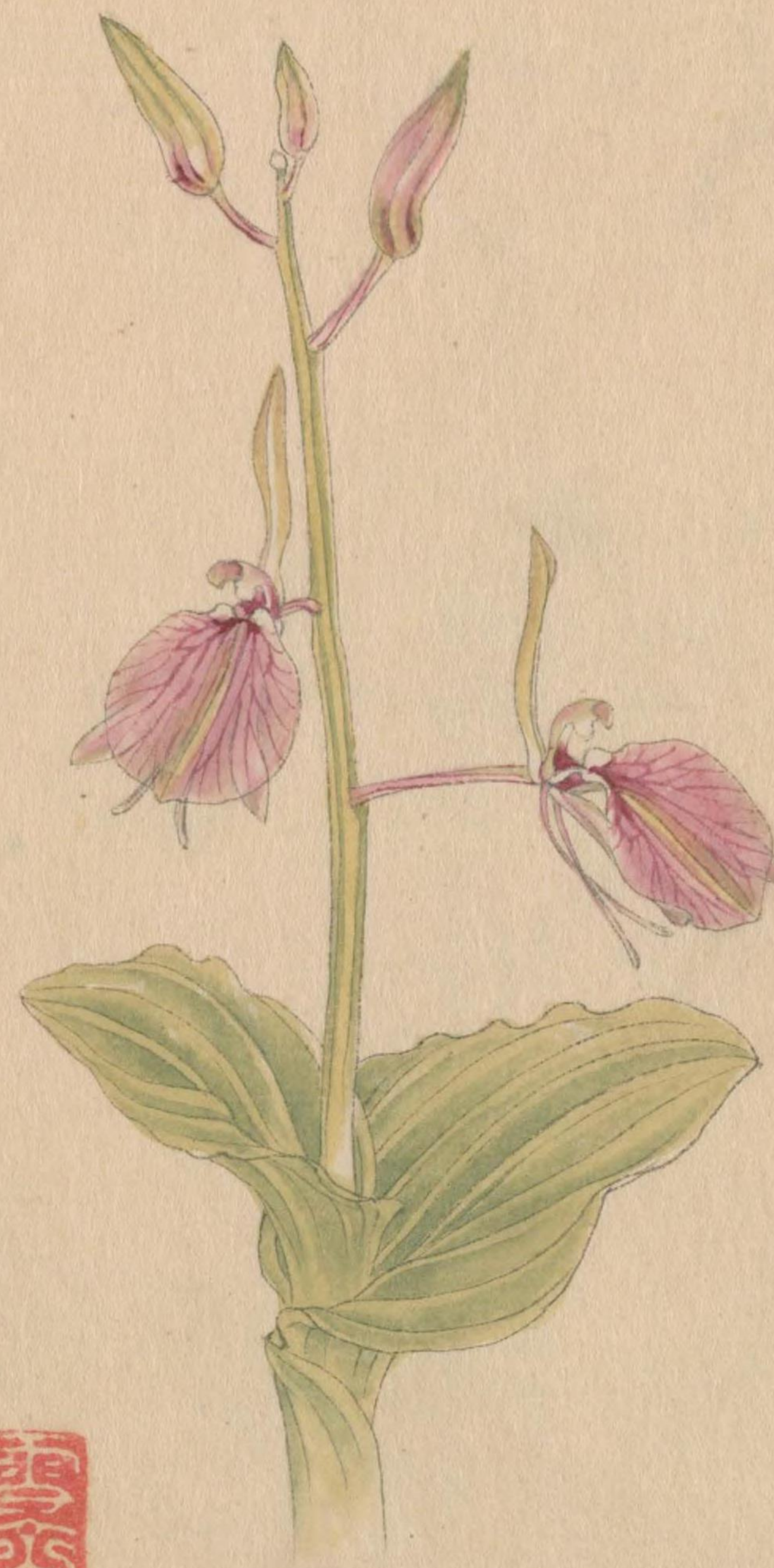




ガラス使用

スヾムシ



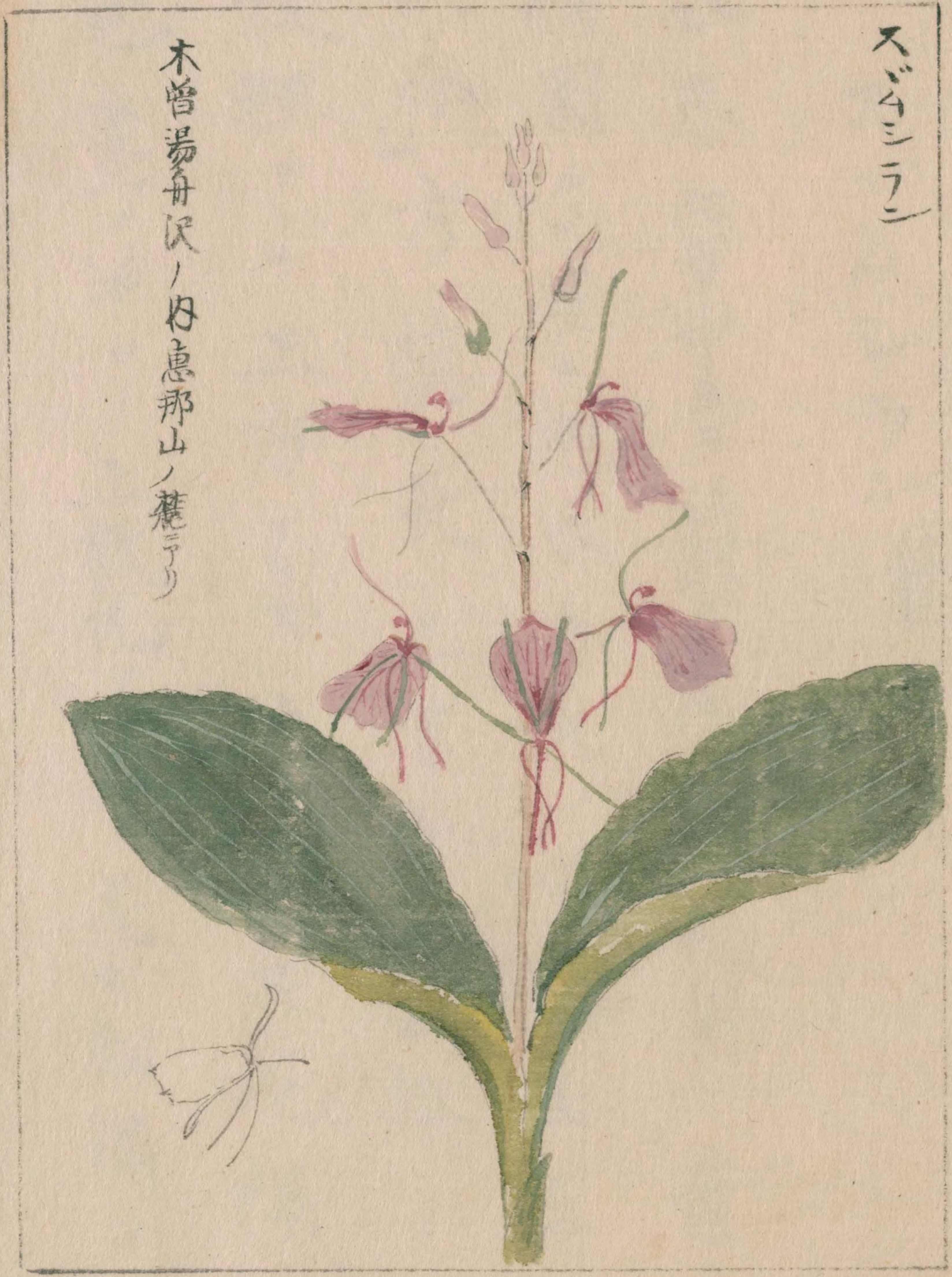


スゞムシラン

按ニ図（九八ノカランノ）羊耳蒜ノ図説能ク（スゞムシサウニ）合ス充テ可シ但一華ナルト異レモ是レハ栽ニ変シタルナルベシ

図云羊耳蒜生滇南山中独根大如蒜赭色初生一葉如玉簪葉即從葉中発葶開褐色花花止一瓣大如小指甲似以二尖瓣交又有三尖長鬚翹起蓋茂花小猶卉木之雅潔者

スゞムシラン　摂州妙見山


スゞムシラン
木曽湯舟沢ノ内恵那山ノ麓ニアリ

[illegible]

スゞムシラン　熊野產

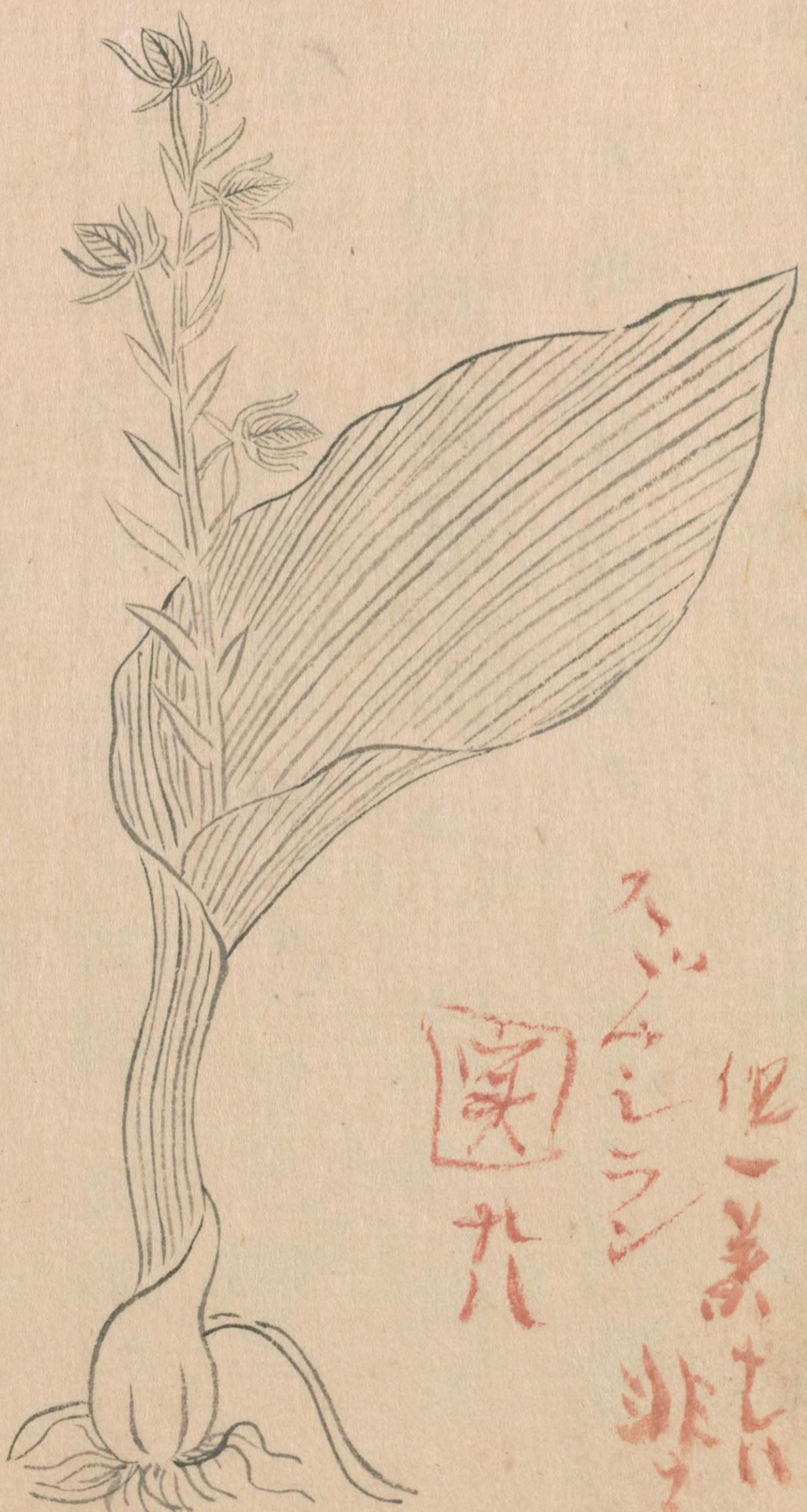
冬月窨中ニテ萌ス春初花開ク葉
楕圓ニシテ互ニ抱合ス長一寸餘幅五
六分「方莖長三寸餘四五條ノ
微理アリテ正方ナラズ　莖葉共淡綠
色　莖ノ半ヨリ上ニ數花ヲ附ク　花々相隔ツ

ガラス使用

[illegible]ノ
三四分 花梗長二三分 淡紫色ニメ紫色ノ
細條アリ 花瓣一片稍毛ルク圓潤ニメ淡紫
本ト全面ノ細紋理紫色ニ 大サ四分許 瓣ノ
根ニ一葉挺出ス長一分許 瓣ノ本ニ白色ニ[illegible]長
キ蕋三條アリ一條ハ上ヘ直立シ二條ハ相並テ
弁ノ~~本~~下ニアリテ弁ヲ兼ク 別ニ弁ノ本ニ二條ノ淡紫
色ノ細綵相叉ニテ垂ル 長四五分 蕾長クテ形
小キ蕃椒ノ如シ 長弐三分 初淡綠 次第ニ淡紫ニ

羊耳蒜

羊耳蒜生滇南山中獨根大如蒜赭色初生一葉如玉簪葉即從葉中發葶開褐色花中一辦大如小指甲夾以二尖辦又有三尖鬚翹起蓋黄花小獨蒜之種族



スヾムシラン

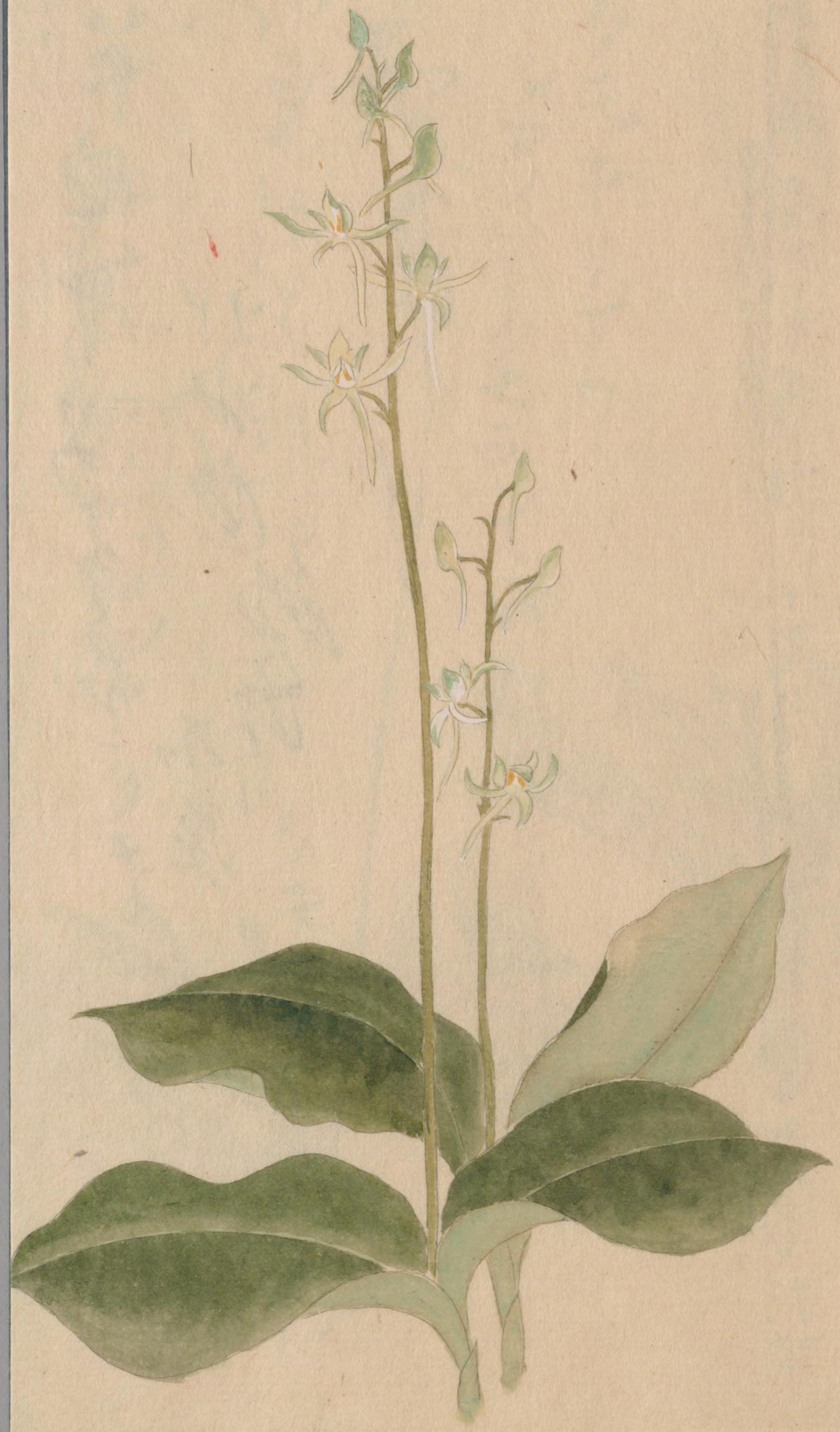
但一葉ナレハ非ナラン

図九八

一種

児蘭 秩父子權現山中生葉光澤アリ

卯ノ吉寫



74

一三八

ガラス使用

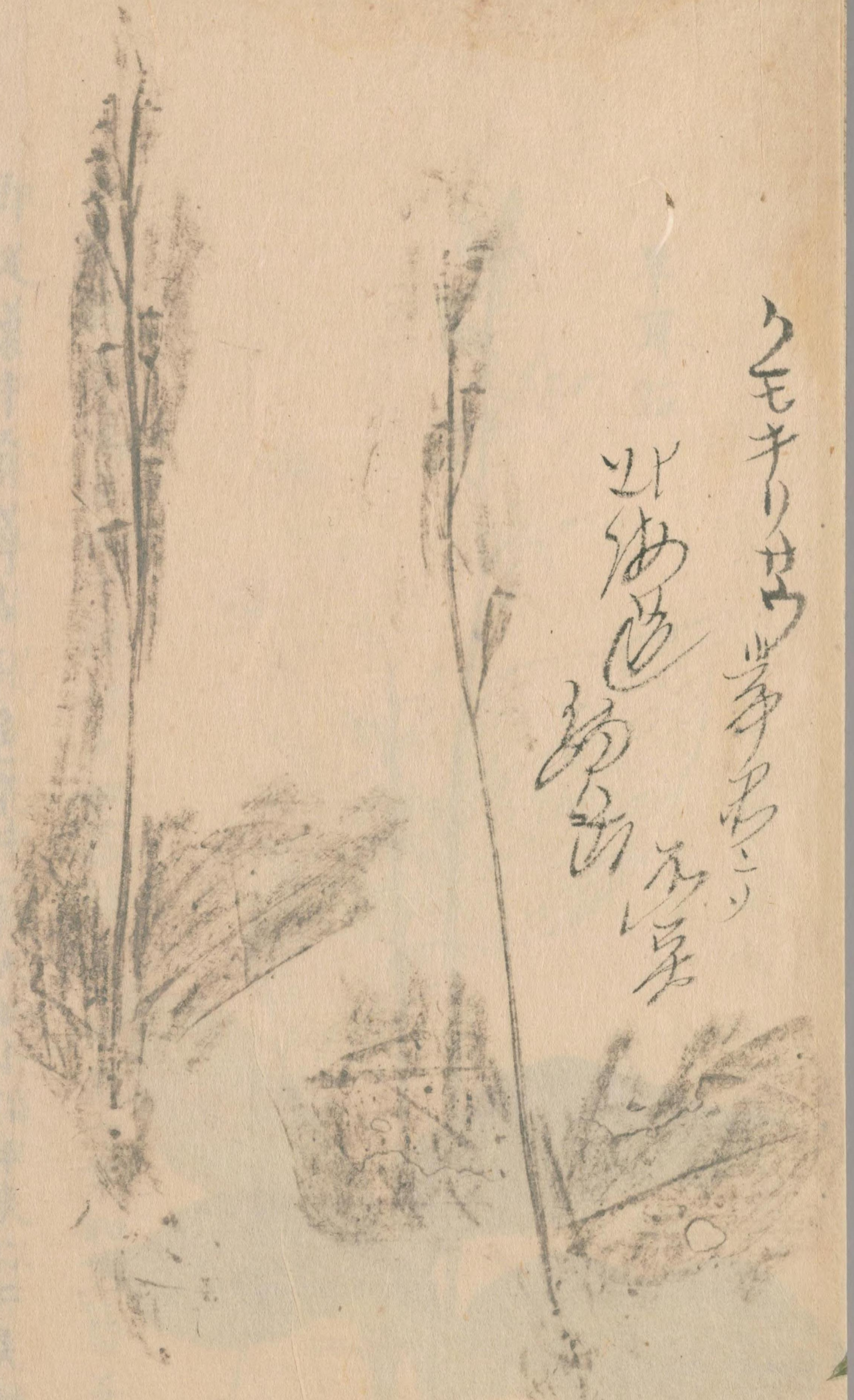
○クモキリサウ　クモキリラン

深山ニ生ス葉ガンゼキボウニ似テ小満前後夏至前ニ花大ニノ淡紫色

クモキリサウ
タカノハ　クモラン　越後ニテ称
四　フタバグサ

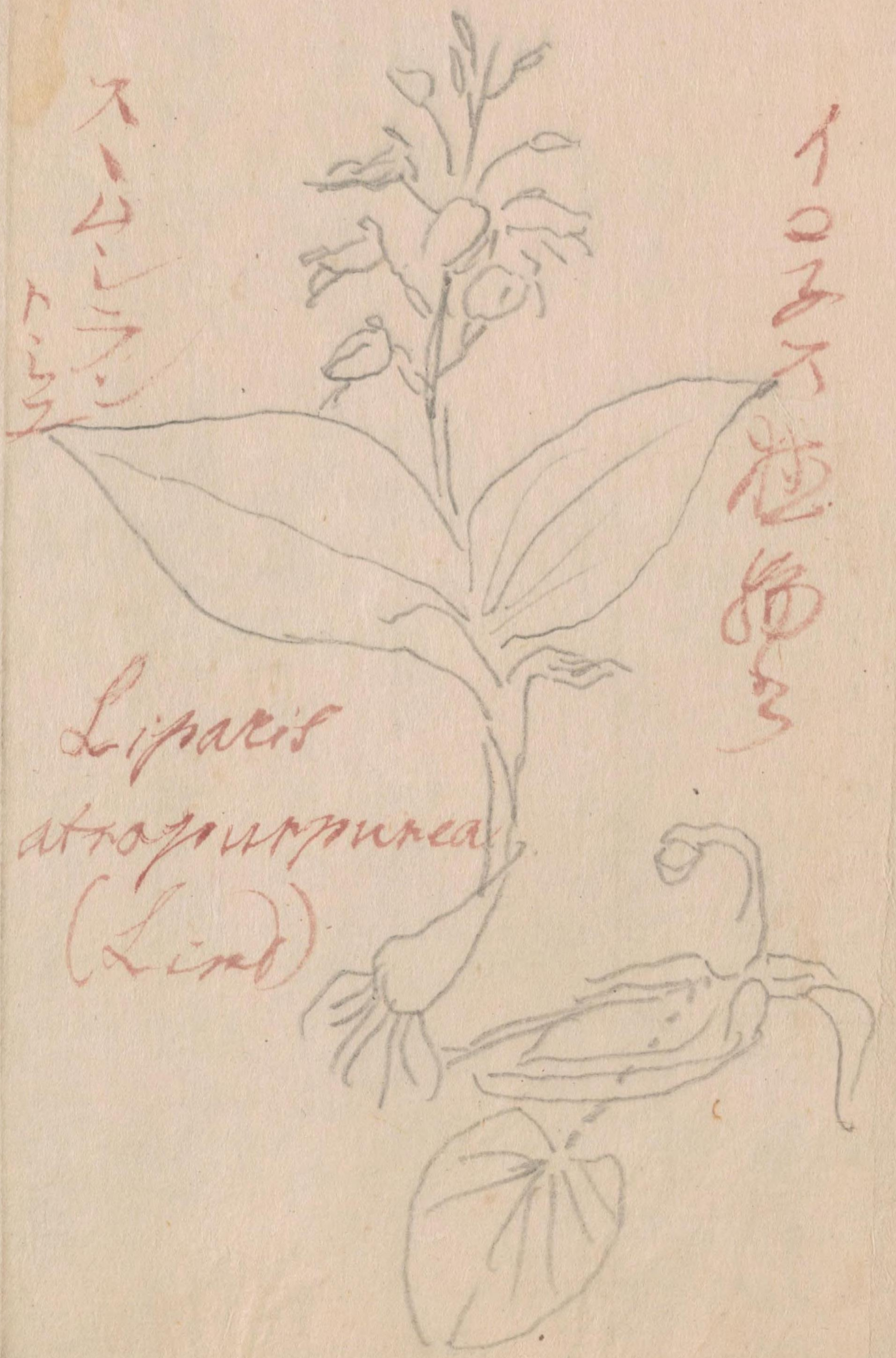
四
緑葉綴文図　廿九ノ三十二丁クモキリサウ

羊耳蒜図　廿八ノ廿三
クモキリサウ



クモキリサウ　峯岸ヨリ
北海道採　花ノ実

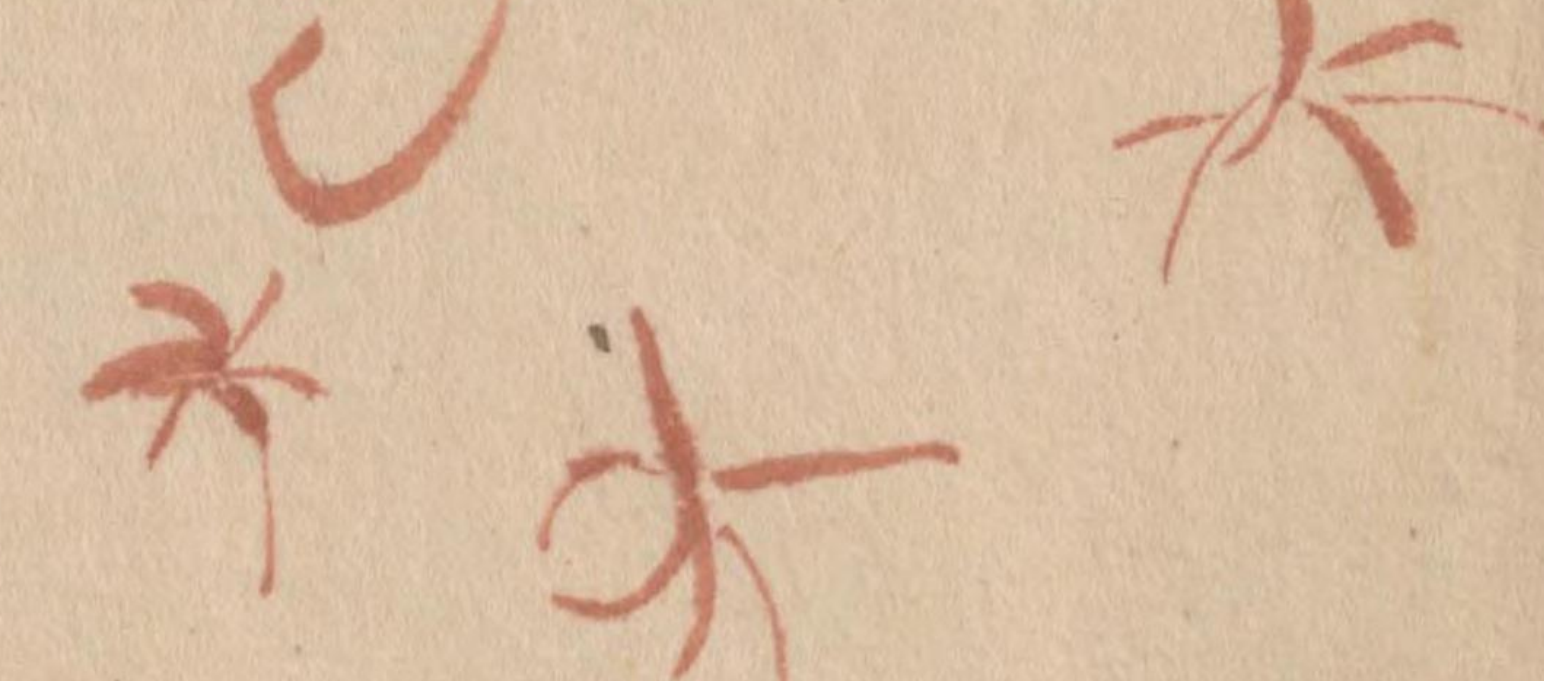
国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』 請求記号 本別6-9　ガラス使用


スヽムレラン
トゝラユ
イロヌ不遁繍る
Liparis atropurpurea (Lind)

一 ジガバチ　名ハソノ花形細キ為

一 ノモキリサウ　名ハハヨリ花大ナシ
コノ一段花大ナルヲスヾムシラント云

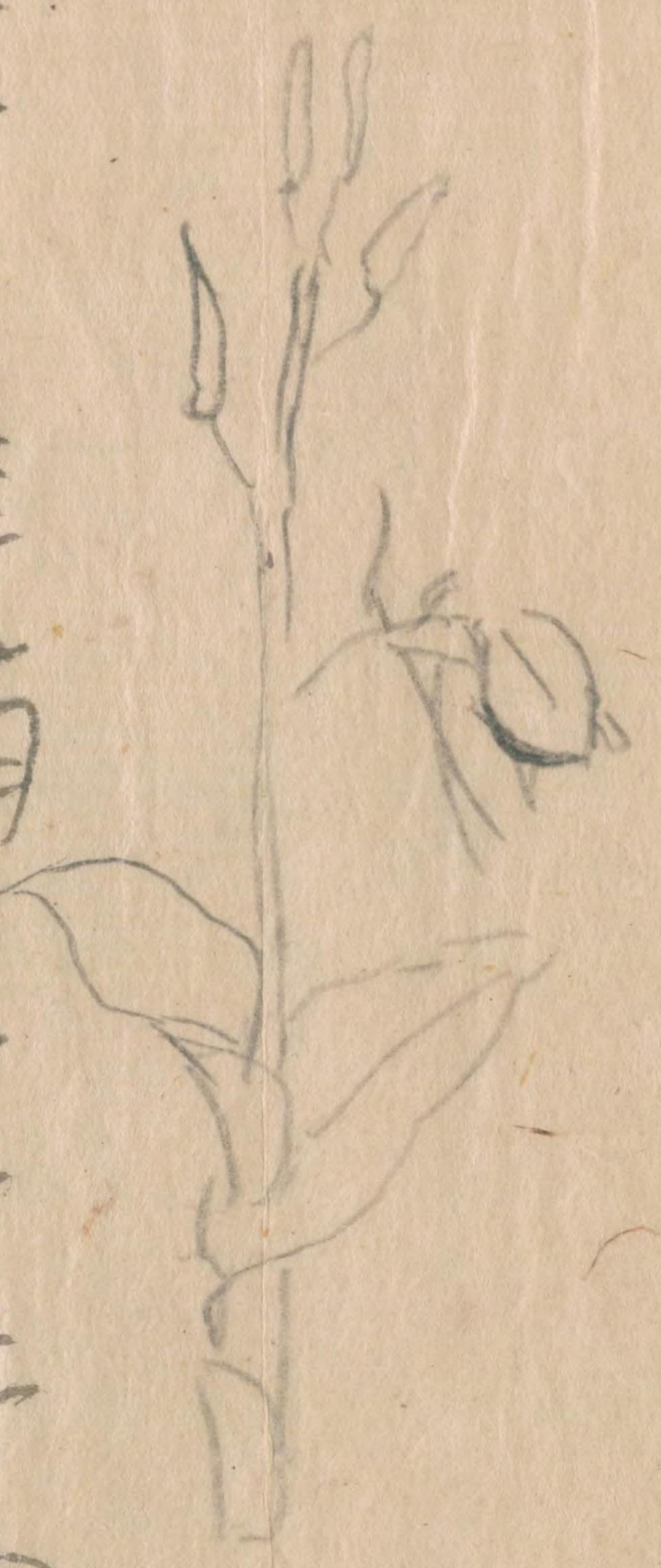
一 キバウラン　御岳山ニ産ス　花ナシ



スヾムシラン
一名羊耳蒜
国 檀八

コスヾムシ　此テス 丘ハ下ニ生
藤ヒテ移

スヾムシ蘭　無形花



一名月宮中ニテ苗ニ春秋茎ヲ抽テ
花開ク其花稍四ニシテ五ニ茎ヲ抱尽ス
毛一寸余中自立ス茎ハ下方茎出スモ
三寸葉ハ五茎ノ組現アリ　四月ナラズ葉

74
一四二

74
一四一
号

茎ノ尾 淡緑色茎ノ中ナルハ上ニ数花簇ノ
花ニ多三四分ヲ花梗セニ三分淡紫ニ
鮮ク毛ノ細キアリ花弁一片斜ニ垂レ円扁
ニシテ淡紫色ニ末ト全面ノ細紋緑紫色
ナリ大サ四分許弁ノ半ハ一茎ヲ抱キ出スモノ一ヲ
頂弁ノ末ニ白毛ノモナ 芭三分ナリ一分ニ上ヘ
互三二分許ヲ為テ弁ノ下ニテリ分レ弁ノ
末ニ二裂ノ淡紫色ノ細絲相交ニテ垂
モ四方ニ分レ蕊モ多ノ形ヲ十蘂抜ケ出シモニ

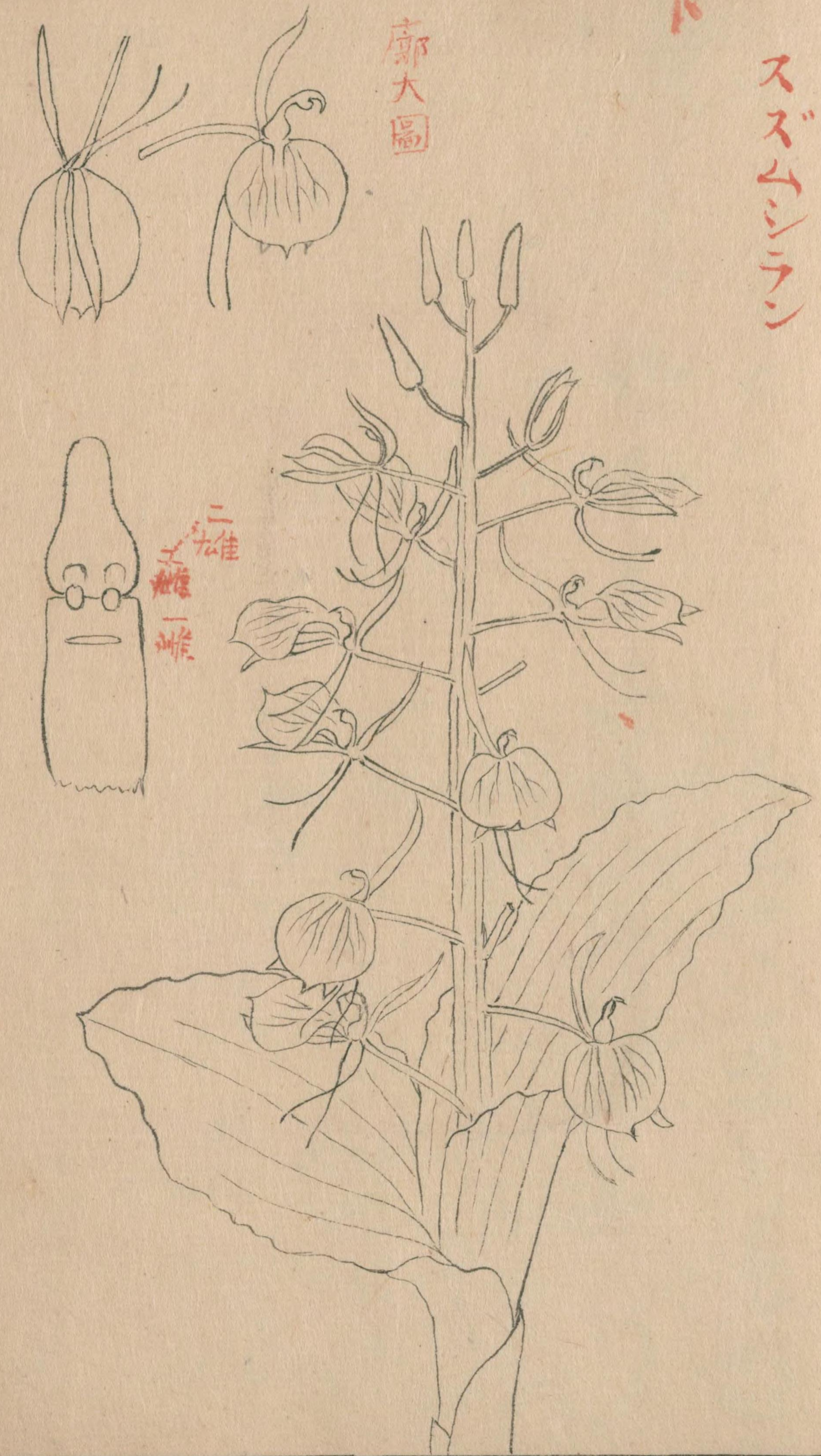
三分許 淡緑次第ニ淡紫色ニ変ス此
花形ニ依テ図名アリ花扇テ数日ヲ経
ノ他ノ図其ノ色ニ四ニ葉形ノ毛キリ牛
ニ能ク似 茎二葉ヲ茵蘭ノ茎多リ

自成所 記

板下 下

植物圖說 卷

花曉書屋藏


スズムシラン
廓大圖
二雄
之雌一雌

尾張伊藤圭介之記

ガラス使用

別 6
9
136

74
壱号

ガラス使用